

令和6年度第1回一関市協働推進会議

日時 令和6年6月13日（木）
午後2時～午後3時30分
場所 一関保健センター栄養指導室

次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 説明及び意見交換

(1) 令和5年度に協働で取り組んだ事業等の実施状況と評価について

(2) 令和6年度に協働で取り組む事業等の実施計画について

(3) 令和5年度元気な地域づくり事業の実施事業評価について

(4) その他

4 その他

5 閉 会

令和5年度に協働で取り組んだ事業等の実施状況と評価

協働のための人づくり

小節	基本方針	内容	令和5年度		協働で取り組んだ事業の評価	担当課等	
			計画	(R6.3.31現在)実績			
1 市民意識の啓発	1-① 地域の課題や将来像をお互いに共有し、役割を分担して取り組む、協働のまちづくりに関する総合的な情報提供を行います。 1-② 「自らがまちづくりの担い手である」という意識を高め、市民一人ひとりのまちづくりに関する自発的な関わりを促進します。	研修会の開催	協働推進に関する研修会を開催します。	<ul style="list-style-type: none"> 協働体職員等を対象とした協働推進に関する研修会を開催する。(まちづくり推進課、地域振興課) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域協働体職員等の階層別研修会を実施した。(まちづくり推進課) 大東高校出前講座における「協働のまちづくり」の講演(1/17)(大東支所地域振興課) 	<ul style="list-style-type: none"> 協働推進のために活動する職員や組織運営の向上に努める職員の育成に繋がった。(まちづくり推進課) 高校生が気軽に参加できるまちづくりの事例を紹介し、地域協働の意識醸成を図った。(大東支所地域振興課) 	まちづくり推進課 各支所地域振興課
		広報紙等の活用	<p>広報「いちのせき」で協働の取組などを掲載します。</p> <p>市民センターだより等を活用し、協働事業などをPRします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 協働ニュース「輪っしょい」の配布(まちづくり推進課) 市民センター報や地域協働体広報、市民センターだよりなど、各市民センター毎に広報誌を発行し、事業や地域情報に加えて協働事業、地域協働体の取組を周知(各協働体・市民センター) ニュースレター「アイデア」の発行(いちのせき市民活動センター、まちづくり推進課) 	<ul style="list-style-type: none"> 広報いちのせき11月号及び令和6年2月号に協働の取組を取り上げた(まちづくり推進課、広聴広報課) 市民センター報や地域協働体広報など、広報誌を発行し、市民センターの事業や地域情報に加えて協働事業、地域協働体の取組を周知した。(まちづくり推進課、いきがいつくり課、各支所地域振興課) 地域協働体独自でHPのほか、フェイスブック等のSNSを利用し、活動状況などをPRした。(地域各市民センター) ニュースレター「アイデア」を発行した。(いちのせき市民活動センター、まちづくり推進課) 地域情報誌「Charcas」を発行した。(藤沢町住民自治協議会) 自治会等広報コンクールを実施した。(藤沢町住民自治協議会) 	<ul style="list-style-type: none"> 広報を活用し全世帯にお知らせすることにより、協働の取組の啓発に繋がった。(まちづくり推進課) 市民センター報や地域協働体広報、市民センターだよりなど、各市民センターごとに編集した広報誌を発行し、市民センターの事業や地域情報に加えて協働事業、地域協働体の取組について、随時、周知することにより、協働の取組に関心を持ってもらうとともに、意識の醸成につながった。(まちづくり推進課、いきがいつくり課、地域各協働体・市民センター) 広報コンクールを実施することで、自治会等各団体がより住民自治活動に積極的に関与する意識の醸成に資した。(藤沢町住民自治協議会) 	広聴広報課 まちづくり推進課 各支所地域振興課
		ホームページなどの活用	市ホームページ、協働のホームページでの発信に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> 一関協働推進HP「輪っしょい！WEB」にて情報発信(まちづくり推進課) 藤沢情報通信センター(告知放送・データ放送)による情報発信。(藤沢支所地域振興課) 	<ul style="list-style-type: none"> 一関協働推進HP「輪っしょい！WEB」にて協働に係る取組の情報発信を行った。(まちづくり推進課) 市民センターなどで生涯学習活動を行う団体の社会教育関係団体登録を推進し市ホームページに掲載した(いきがいつくり課) 従来の告知放送、データ放送による情報発信に加え、昨年度新たに導入したデータ放送アプリの普及に努めた。(藤沢支所地域振興課) 	<ul style="list-style-type: none"> 市のホームページに情報を掲載する他、協働に特化したホームページの輪っしょいWEBを市HPとは別に開設し、情報発信しているが、アクセス数は伸びていない。(まちづくり推進課) 生涯学習活動・社会教育事業を行う団体の活動を奨励し、ホームページで団体を紹介により活動を支援した。(いきがいつくり課) 導入したアプリ「JC-Smart」は、令和5年度末現在で地域内人口比約7%の加入率になっている。(藤沢支所地域振興課) 	広聴広報課 まちづくり推進課 いきがいつくり課 各支所地域振興課
		図書資料等の活用	地域づくりに役立つ資料を収集、提供し、地域づくり、まちづくりを支援します。	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動センターに備える協働や地域づくりに関する各種資料や、NPO法人関係資料を充実し、多くの情報の確認を可能とする。(いちのせき市民活動センター、まちづくり推進課) 「和算家千葉胤秀」の紙芝居セットの貸出(博物館) 	<ul style="list-style-type: none"> いちのせき市民活動センターに事業を委託し、HPにおいて、市民活動団体やNPOの情報を紹介した。(まちづくり推進課) いちのせき市民活動センターに備える協働や地域づくりに関する各種資料や、NPO法人関係資料を充実し、多くの情報の確認を可能とした。(まちづくり推進課、いちのせき市民活動センター) 地域づくりブックリストの配布や企画展の開催、いちのせき電子図書館に郷土資料を公開を行うとともに、移動図書館車で市民センター等へ地域づくりに関する図書を配本、貸出を行った。(一関図書館) 紙芝居1件、DVD1件の貸出しを行った。(博物館) 	<ul style="list-style-type: none"> いちのせき市民活動センターホームページと市ホームページ、輪っしょいWEBとのリンクにより、情報発信の広がりに繋がった。(まちづくり推進課) いちのせき市民活動センターに、協働や地域づくりに関する各種資料や、NPO法人関係資料を備えることにより、支援体制の構築につながった。(まちづくり推進課、いちのせき市民活動センター) 各種取り組みにより、地域づくりを支援することができた。(一関図書館) 和算隆盛の地であった一関市の魅力を地域住民に発信し、地域への愛着が醸成された。(博物館) 	まちづくり推進課 各支所地域振興課
						各課等	

令和5年度に協働で取り組んだ事業等の実施状況と評価

協働のための人づくり

小節	基本方針	内容	令和5年度		協働で取り組んだ事業の評価	担当課等	
			計画	(R6.3.31現在)実績			
2 地域の 人材 育成	2-① 市民組織の中心的な役割を担う人材を、あらゆる機会を活用し育成します。 2-② 市民の誰もが学習できるような機会を確保、提供し、幅広い年代の参画につなげます。	市民組織のリーダー、サブリーダー、スタッフなどを対象とした研修会を開催します。	<ul style="list-style-type: none"> 市民センター職員等の研修会(まちづくり推進部、各支所地域振興課) 週イチ倶楽部サポーター養成講座・週イチ倶楽部サポーターフォローアップ研修会の実施(健康づくり課) 骨寺村荘園遺跡地元ガイド講座(骨寺荘園室) 大東町自治会等連絡協議会研修会(大東支所地域振興課) 大原地区自公連研修会(大原市民センター) 摺沢地区自公連研修会(摺沢市民センター) 地域づくりの集い開催(千厩支所地域振興課) 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会長サミットの開催(まちづくり推進課) 市民センター職員等の研修会を実施(いきがいづくり課) 市民センター職員や地域協働体の事務局・役員などを岩手県立生涯学習推進センター等で開催する地域協働や社会教育等の研修・講座に派遣した(いきがいづくり課) 週イチクラブサポーター養成及びフォローアップ研修会を2回開催 10/18、11/1(健康づくり課) 週イチ倶楽部応援事業に保健師等を派遣(東山地域8会場9回)(北部健康推進室/東山地域担当) 千厩町地域づくりサミット 9/28(千厩支所地域振興課) 地域づくりの集い 11/27(千厩支所地域振興課) 骨寺村荘園遺跡地元ガイド講座(骨寺荘園室) 大東町自治会等連絡協議会研修会の開催 6/16、11/21(大東支所地域振興課) 大原自治公民館等連合会研修会の開催 11/22(大原市民センター) 摺沢地区自治公民館等連絡協議会研修会の開催 10/20(摺沢市民センター) あすの川崎を築く住民活動推進会議・学級主事会議 5/23(川崎市民センター) 川の大楽校「地域経営コース」 8/8、1/18(川崎市民センター) 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会のなり手不足等の課題の抽出と課題解決に繋がる場を創出することで、今後の活動の一助となった。(まちづくり推進課) 指定管理の市民センターの職員が社会教育について学ぶ有効な機会となっている。(いきがいづくり課) 週イチ倶楽部サポーター養成及びフォローアップ研修会の実施により、介護予防に取り組む人材育成ができた(健康づくり課) 千厩地域の自治会長等20名が参加。ワークショップ形式による意見交換を行い、自治会運営に関する課題や悩み、実践事例を共有することにより、今後の活動の参考にすることができた。 千厩地域の地域協働体・自治会等各種団体関係者及び市職員など54名が参加。地元のまちづくり団体から地域おこしの実践例について発表していただき、地域資源を活用した事業の取り組みなど、先進事例を詳しく知る機会となった。 他地域のガイドの活動を学び、理解を深めることができた。(骨寺荘園室) 自治会長等を対象とした研修会を開催することで、地域課題に取り組むリーダーの人材育成につなげることができた。(大東支所地域振興課、大原市民センター、摺沢市民センター) 	各課等	
			リーダーなどを対象として、先進的な取組の研修視察を行います。	<ul style="list-style-type: none"> 行政區長等視察研修(まちづくり推進課、各支所地域振興課) 	<ul style="list-style-type: none"> 一関市行政区長会連絡協議会視察研修(宮城県大和町・南三陸町)を実施した(まちづくり推進課) 自治会長等先進地視察研修(8/24 紫波町・盛岡市)(藤沢町住民自治協議会) 	<ul style="list-style-type: none"> 視察研修を実施し近隣自治体の現状を把握することで、今後の活動の参考及びリーダーの育成につながった。 住民自治先進地での取組を視察し、今後の活動の参考に活かすこととしている。(藤沢町住民自治協議会) 	各課等
			地域協働体を対象として、市民組織の活動を専門的な知識でマネジメントするスタッフを養成します。	<ul style="list-style-type: none"> いちのせき市民活動センターと連携し、地域協働体の活動における支援や、研究の機会を提供(まちづくり推進課) 	<ul style="list-style-type: none"> いちのせき市民活動センターと連携し、地域協働体の活動における支援や、研究の機会を提供(まちづくり推進課) 	<ul style="list-style-type: none"> いちのせき市民活動センターと連携し、地域協働体の活動における支援や、研究の機会を提供することで、人材育成につながった。(まちづくり推進課) 	各課等
			市民誰もが参加できる協働のまちづくり講演会やまちづくりの集いなどを開催します。	<ul style="list-style-type: none"> いちのせき市民活動センターと連携し、協働に関わる各種講演会や、研修の機会を提供(まちづくり推進課) 	<ul style="list-style-type: none"> いちのせき市民活動センターと連携し、まちづくり入門講座やファシリテーション講座、ひと・まちミーティング、市民活動の始め方・閉じ方講座を開催した(まちづくり推進課) 地域づくりフォーラムを開催した(2/4)(藤沢町住民自治協議会、藤沢支所地域振興課) 	<ul style="list-style-type: none"> いちのせき市民活動センターと連携し、地域協働体の活動における支援や、研究の機会を提供することで、人材育成につながった。(まちづくり推進課) まちづくりに関する講演会や、各分野で活躍した地域住民の表彰を通して、住民のまちづくりへの関心がより高まった。(藤沢町住民自治協議会、藤沢支所地域振興課) 	各課等

令和5年度に協働で取り組んだ事業等の実施状況と評価

協働のための人づくり

小節	基本方針	内容	令和5年度		協働で取り組んだ事業の評価	担当課等	
			計画	(R6.3.31現在)実績			
		自治会など市民組織では、次のリーダーとなる人材を育てます。	<ul style="list-style-type: none"> いちのせき市民活動センターと連携し、自治会の活動における支援や、研修の機会を提供(まちづくり推進課) 一関市防災指導員(AID)養成講座(年6回、18時間)の開催(防災課) 	<ul style="list-style-type: none"> いちのせき市民活動センターと連携し、自治会長サミットを2回開催し、自治会の活動における支援や、研修の機会を提供した。(まちづくり推進課) 一関市防災指導員(AID)21名を養成(防災課) 社会教育主事講習受講者1人(いきがいつくり課) 	<ul style="list-style-type: none"> 現在のリーダー及び次世代を対象とした各種講座の実施など、継続して実施することにより、人材の育成につながっている。(まちづくり推進課) 一関市防災指導員(AID)の養成講習を開始した平成27年度から令和5年度まで184名を養成しており、一関市防災指導員(AID)が実施する訓練、講師等の活動によって地域防災力向上と防災意識啓発に有効であった。(防災課) 社会教育主事講習を受講する地域協働体を支援し、4人(R2=2人、R3=1人、R5=1人)が受講した。受講者は社会教育士として、地域課題の解決など住民の学びを支援している。また、地域協働体の初任者研修の講師となるなど人材育成にも取り組んでいる。(いきがいつくり課) 	各課等	
3 市 職 員 の 意 識 高 揚	3-① 協働のまちづくりに関する共通理解を図るとともに、課題解決に必要な力を向上させるため、職員研修に取り組みます。 3-② 一市民としてもまちづくり活動に参画します。	行動指針の徹底	協働をより具体的に推進するための職員行動指針を配布し、徹底します。	<ul style="list-style-type: none"> 新採用職員研修の資料として配布・説明(まちづくり推進課) 	<ul style="list-style-type: none"> 新採用職員研修の資料として職員行動指針を配布・説明(まちづくり推進課) 	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修の実施により、市職員の協働に対する意識付け、及び意識の高揚につながった。(まちづくり推進課) 	まちづくり推進課 各支所地域振興課
		協働のまちづくり研修会を開催します。	<ul style="list-style-type: none"> 新採用職員研修にて協働のまちづくり研修会を実施(まちづくり推進課)(総務部) まちづくり講演会の開催(市民センター) 	<ul style="list-style-type: none"> 新採用職員研修にて協働のまちづくり研修会を実施(まちづくり推進課) まちづくり講演会(市民センター)は未実施 	<ul style="list-style-type: none"> 市職員を対象とした協働のまちづくり研修会の実施により、一関市が取り組む協働への理解が深まり、協働に対する意識付けにつながった。(まちづくり推進課) 	各課等	
		「協働のまちづくり」についての派遣研修、伝講を行います。	<ul style="list-style-type: none"> 「住民協働による地域づくり」へ職員を派遣し研修を実施(まちづくり推進課、各支所地域振興課) 「地域運営組織の形成と運営」へ職員を派遣し研修を実施(まちづくり推進課、各支所地域振興課) 	<ul style="list-style-type: none"> 「地域運営組織の形成と運営」へ職員を派遣した。(まちづくり推進課) 	<ul style="list-style-type: none"> 協働のまちづくりに係る派遣研修、伝講に取り組むことで市職員の協働に対する理解が深まった。(まちづくり推進課) 	各課等	
		協働での取組事業発表会を開催します。	<ul style="list-style-type: none"> 協働で取り組んだ事業の発表の場を設けることにより、取組の広がりにつなげる。(まちづくり推進課) 	<ul style="list-style-type: none"> 協働で取り組んだ事業の発表の場を設け、取組の広がりにつなげた。(まちづくり推進課) 	<ul style="list-style-type: none"> 協働で取り組んだ事業の発表の場を設けることにより、取組の広がりにつながった。(まちづくり推進課) 	各課等	
		コミュニケーション能力等を養う研修を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ファシリテーション研修(上級職員・新任係長)(職員課) 接遇・コミュニケーション研修(職員課) 通信教育(職員課) 	<ul style="list-style-type: none"> 新任係長研修受講者数:31人 中堅職員研修(上級職員)受講者数:43人 新採用職員研修(接遇)受講者数:29人 ファシリテーション研修受講者:11人 コミュニケーション系通信教育受講者:16人 	<ul style="list-style-type: none"> 各種研修を実施し、市職員の意識高揚を図れた。 	職員課	

令和5年度に協働で取り組んだ事業等の実施状況と評価

協働のための環境づくり

小節	基本方針	内容	令和5年度		協働で取り組んだ事業の評価	担当課等
			計画	(R6.3.31現在)実績		
1 協働の主体の充実	<p>1-① 協働の主体となる持続可能な組織に向けて、若者など幅広い年代が参画しやすい仕組みづくりを進めます。</p> <p>1-② 市内の各地域や民間事業者(企業)などの様々な主体との交流や連携を進め、多様な人材が参画するまちづくりを進めます。</p>	自治会等地域型組織の体制の見直し	<ul style="list-style-type: none"> 各地域協働体及び協働体連絡組織における会議等への職員の参加(まちづくり推進課、各支所地域振興課) 職員研修への参加(まちづくり推進課、各支所地域振興課) 職員、地域協働体、市民活動センター3者によるチーム会議の開催(まちづくり推進課、各支所地域振興課) 地域協働体連絡会議及び地域協働体事務局職員会議の開催(大東支所地域振興課) 山吹城跡の早朝草刈作業の実施(大原自治公民館等連合会・大東支所地域振興課) 隔月で地域連携会議を開催(千厩支所地域振興課) 地域担当連絡会議への参加(川崎支所地域振興課) 川崎まちづくり協議会全体会への参加(川崎支所地域振興課) 藤沢町住民自治協議会とのチーム会議、理事会、総会、各部会への職員の出席(藤沢支所地域振興課) 藤沢町住民自治協議会の協働のまちづくり会議、地域づくりフォーラム、各地区の地域懇談会への参加(藤沢支所地域振興課) 	<ul style="list-style-type: none"> 各地域協働体の会議や職員研修等への職員の出席(まちづくり推進課、いきがいづくり課、各支所地域振興課) まちづくり推進課、いきがいづくり課、市民活動センターが合同で市民センターを訪問し情報交換する「チーム会議」を通じて地域課題の共通認識を図った。(まちづくり推進課、いきがいづくり課、各支所地域振興課) 地域連携会議(4月～2月6回)と地域協働推進チーム会議(5月～1月5回)の開催(千厩支所地域振興課) 地域協働体連絡会議(10/30、3/21)及び地域協働体事務局職員会議(10/11、2/7)の開催(大東支所地域振興課) 山吹城跡の早朝草刈作業の実施(大原自治公民館等連合会、大東支所地域振興課)6/11,10/15 藤沢町住民自治協議会とのチーム会議が6回、同理事会が11回開催され、毎回支所からも参加した。また、総会及び協働のまちづくり会議に参加し、住民自治協議会からの提言を受領し、提言事項に対する行政の取組状況をフィードバックしている。(※ 地域づくりフォーラムについては「ひとづくり」項目で記載)(藤沢支所地域振興課) 地域担当連絡会議への参加(12回)(川崎支所地域振興課) 川崎まちづくり協議会全体会への参加(5回)(川崎支所地域振興課) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域協働体と市との情報交換や情報共有の場を設けることで、地域課題の共有及び協働体の運営の充実につながった。(まちづくり推進課、いきがいづくり課、各支所地域振興課) 隔月実施の地域連携会議(4月～2月6回)や地域協働推進チーム会議(5月～1月5回)により、各地域協働体と市との情報共有と意見交換を行い、連携しながら事業を進めることができた。(千厩支所地域振興課) 地域協働体連絡会議等の開催により、各協働体が抱える課題や情報を共有し、それぞれの事業運営や組織体制の見直しに活かすことができた。(大東支所地域振興課) 山吹城跡、大原寺の草刈作業を協力して行うことで、地域の歴史や史跡をみんなで守る意識の醸成が図られた。(大原自治公民館等連合会、大東支所地域振興課) 住民自治協議会からの提言事項に対し、取組状況をフィードバックすることで、相互理解と次年度のより効率的な取り組みへ繋げることができた。(藤沢支所地域振興課) 職員、地域協働体、市民活動センター3者による会議等を継続して取り組むことにより、地域協働体の課題にも寄り添うことができた。(川崎支所地域振興課) 	各課等
		男女共同参画に配慮します。	<ul style="list-style-type: none"> 各委員の選出や懇談会等の会議の出席者の案内に際し、男女共同参画に配慮する。(各課) 	<ul style="list-style-type: none"> 一関市協働推進会議16名のうち、女性委員が7名(まちづくり推進課) 一関市観光審議会委員10名のうち、女性委員が4名(観光物産課) 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な角度から、協働に対して、意見を得ることにつながった。(まちづくり推進課) 各委員の視点で、様々な意見を得ることができた。(観光物産課) 	各課等
		地域協働体の運営の充実	人口減少社会に備え、地域協働体による市民センター単位の広域地域づくりを充実させます。	<ul style="list-style-type: none"> 職員、地域協働体、市民活動センター3者によるチーム会議の開催(まちづくり推進課、各支所地域振興課) 	<ul style="list-style-type: none"> 職員、地域協働体、市民活動センター3者によるチーム会議の開催(まちづくり推進課、いきがいづくり課、各支所地域振興課、いちのせき市民活動センター) 地域連携会議(4月～2月6回)と地域協働推進チーム会議(5月～1月5回)の開催(千厩支所地域振興課) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域協働体と市との情報交換や情報共有の場を設けることで、地域課題の共有及び協働体の運営の充実につながった。(まちづくり推進課、いきがいづくり課、各支所地域振興課) 隔月実施の地域連携会議(4月～2月6回)や地域協働推進チーム会議(5月～1月5回)により、各地域協働体と市との情報共有と意見交換を行い、連携しながら事業を進めることができた。(千厩支所地域振興課)
企業の地域活動への参加等	企業市民として公共的、公益的な活動への参加を促進します。	<ul style="list-style-type: none"> 協働推進基本計画に沿って、企業の地域活動への参画の推進(まちづくり推進課) 美化活動の実施 一斉清掃(春・秋)、きれいなまちをめざし隊の実施(生活環境課・各支所市民福祉課) 	<ul style="list-style-type: none"> 美化活動の実施 一斉清掃(春・秋)、きれいなまちをめざし隊の実施(生活環境課・各支所市民福祉課) 一関東工業団地企業連絡協議会「春・秋の一斉清掃」(工業労政課) 	<ul style="list-style-type: none"> 春と秋の一斉清掃にあわせ、企業、事業者による清掃活動に協力いただいた。(生活環境課・各支所市民福祉課) 市、県においても職員による清掃活動を実施した。(生活環境課・各支所市民福祉課) 一関東工業団地企業連絡協議会において、一関東工業団地内の一斉清掃を春・秋に行った。(工業振興課) 	各課等	

令和5年度に協働で取り組んだ事業等の実施状況と評価

協働のための環境づくり

小節	基本方針	内容	令和5年度		協働で取り組んだ事業の評価	担当課等
			計画	(R6.3.31現在)実績		
	市民ニーズの把握と施策への反映	<p>情報の提供、共有により市民ニーズの把握に努め、施策に反映します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域協働体・市民センター合同連絡調整会議のほか、市との意見交換会の実施(まちづくり推進課・いきがいつくり課) 市民センターへの随時訪問の実施(まちづくり推進課・いきがいつくり課) 各地域協働体の会議へ出席(まちづくり推進課、いきがいつくり課、支所地域振興課) 職員、地域協働体、市民活動センター3者によるチーム会議による支援協力(まちづくり推進課、各支所地域振興課) 隔月で地域連携会議を開催(千厩支所地域振興課) 藤沢町住民自治協議会とのチーム会議、理事会、総会、各部会への職員の出席(藤沢支所地域振興課) 藤沢町住民自治協議会の協働のまちづくり会議、地域づくりフォーラム、各地区の地域懇談会への参加(藤沢支所地域振興課) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域協働体・市民センター合同連絡調整会議(4月)、市民センター所長会議(12月)のほか、市との意見交換会の実施(まちづくり推進課・いきがいつくり課) 市民センターへの随時訪問の実施(まちづくり推進課・いきがいつくり課、各支所地域振興課) 各地域協働体の会議等への職員の出席(まちづくり推進課・いきがいつくり課、各支所地域振興課) 市民センターと支所との連絡会議(4回)、チーム会(各4回)開催(東山支所地域振興課) 地域連携会議(4月～2月6回)と地域協働推進チーム会議(5月～1月5回)の開催(千厩支所地域振興課) 藤沢町住民自治協議会とのチーム会議が6回、同理事会が11回開催され、毎回支所からも参加し、地域協働体における課題等を把握した。また、総会及び協働のまちづくり会議に参加し、住民自治協議会からの提言を受領し、提言事項に対する行政の取組状況をフィードバックしている。(※ 地域づくりフォーラムについては「ひとづくり」項目で記載)(藤沢支所地域振興課) 	<ul style="list-style-type: none"> 市民センターを活動拠点とする地域協働体と合同連絡会議や訪問を通じて意見交換を行った(いきがいつくり課) 隔月実施の地域連携会議(4月～2月6回)や地域協働推進チーム会議(5月～1月5回)により、各地域協働体と市との情報共有と意見交換を行い、連携しながら事業を進めることができた。(千厩支所地域振興課) 地域協働体の総会等の会議に職員が出席することにより、各協働体の課題や運営方針等について確認することができ、その後の助言等に活かすことができた。(大東支所地域振興課) 住民自治協議会からの提言事項に対し、取組状況をフィードバックすることで、相互理解と次年度のより効率的な取り組みへ繋げることができた。(藤沢支所地域振興課) 	各課等
		<p>新たな市民ニーズに対応した行政サービスの提供に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 元気な地域づくり事業など、協働で取り組む事業の実施により、市民ニーズに沿った事業の展開を図る。(まちづくり推進課) 	<ul style="list-style-type: none"> 元気な地域づくり事業など、協働で取り組む事業の実施により、市民ニーズに沿った事業の展開を図った。(まちづくり推進課) 	<ul style="list-style-type: none"> 元気な地域づくり事業など、協働で取り組む事業の実施により、市民ニーズに沿った事業の展開を図られた。(まちづくり推進課) 	各課等

令和5年度に協働で取り組んだ事業等の実施状況と評価

協働のための環境づくり

小節	基本方針	内容	令和5年度		協働で取り組んだ事業の評価	担当課等
			計画	(R6.3.31現在)実績		
2 協働を進めるための場づくり	2-① 自治会等の集会施設整備に努めます。 2-② 地域協働体が地域の円卓会議の役割を担い、活発な意見交換ができるよう推進します。	自治会の活動の拠点となる集会施設を整備充実します。	<ul style="list-style-type: none"> 自治会等活動費総合補助金により、集会施設の改修等を希望する自治会に対して補助金を交付(全地域) 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会等活動費総合補助金により、集会施設の改修等を希望する自治会に対して補助金を交付した。(まちづくり推進課、各支所地域振興課) 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会等活動費総合補助金により、集会施設の改修等を希望する自治会に対して支援し、施設の充実につながった。(まちづくり推進課、各支所地域振興課) 	まちづくり推進課 各支所地域振興課
		活動拠点の整備充実 市民の学習支援、情報提供の拠点となる施設を整備充実します。	<ul style="list-style-type: none"> 各年度に予算を確保し、各施設の修繕、改修工事を実施し市民活動に利用する市の施設の整備充実を図る(いきがいつくり課) 市民ニーズの把握に努めながら、公共施設の計画的な改修等を行う。(全地域) 	<ul style="list-style-type: none"> 各年度に予算を確保し、各施設の修繕、改修工事を実施し市民活動に利用する市の施設の整備充実を図った。(いきがいつくり課、各支所地域振興課) 	<ul style="list-style-type: none"> 各年度に予算を確保し、各施設の修繕、改修工事を実施し市民活動に利用する市の施設の整備充実を図った。(いきがいつくり課) 市民ニーズの把握に努めながら、大規模修繕のほか、計画的に改修工事を実施することができ、利便性の向上に繋げることができた。(いきがいつくり課、各支所地域振興課) 市民の活動拠点の環境改善が図られ、活発な地域づくり活動に繋がった。(いきがいつくり課、各支所地域振興課) 	各課等
		地域活動に参加する機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> 地域協働体が担う円卓会議の役割を活かし、その中で活発な意見交換を行いながら、地域活動に参加する機会を多く提供できるよう努める。(各地域協働体、各市民センター) 	<ul style="list-style-type: none"> 各種事業を行う際、地域の皆さんに参加してもらえるよう話し合いを行い、事業を実施した。(各地域協働体) 	<ul style="list-style-type: none"> 各種事業の実施により地域活動に参加する機会の創出や、協働を進めるための場づくりにつながった。 	各課等

令和5年度に協働で取り組んだ事業等の実施状況と評価

協働のための仕組みづくり

小節	基本方針	内容	令和5年度		協働で取り組んだ事業の評価	担当課等	
			計画	(R6.3.31現在)実績			
1 情報 の共有 と意見 の反映	1-① 行政情報を可能な限りわかりやすく各種媒体を活用して提供に努めるとともに、市民の意見や提言について施策等への反映に努めます。	電子メール等による意見集約	<ul style="list-style-type: none"> パソコン、携帯電話の電子メールでの市民の意見等の集約を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページに問い合わせフォームを設定し、市民等からの意見等を受け付け、担当課等に回付する。(広聴広報課) 市長へひとことによる意見等集約(秘書課) 一ノ関駅東口工場跡地に関する専用コメントフォームによる意見集約を実施する(プロジェクト推進室) 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページに問い合わせフォームを設定し、市民等からの意見等を受け付けた。各課へのスムーズな問い合わせができるよう、ページのレイアウトを変更した(広聴広報課) 一ノ関駅東口工場跡地に関する専用コメントフォームによる意見集約の実施(プロジェクト推進室) 	<ul style="list-style-type: none"> 各課に直接問い合わせができるようになった(広聴広報課) 9件の意見が寄せられ、多様な市民等の意見を聴取することができた(プロジェクト推進室) 	広聴広報課 秘書課
		モニター制度などで意見等の集約を行います。	<ul style="list-style-type: none"> 広報モニターの設置(10人)(広聴広報課) 	<ul style="list-style-type: none"> 広報モニターの設置(8人)(広聴広報課) 	<ul style="list-style-type: none"> 広報モニターを設置(上限10人)し、広報いちのせき及び一関市ホームページなどについて意見を聴取し、市民に親しまれる広報づくりの一助とした(広聴広報課) 	広聴広報課	
	1-② 市民と行政は、意見交換の機会確保に努め、幅広い年代の市民同士での情報提供、意見交換に努めます。	市民が参画する市の各種計画づくりにあたっては、ワークショップ等を開催します。	<ul style="list-style-type: none"> 一ノ関駅東口工場跡地の利活用を考える市民ワークショップを実施し、当該跡地の利活用に関する市民意向を把握する(プロジェクト推進室) 各種計画策定時において、市民の参画によるワークショップの手法による情報の提供、共有の機会をつくり、多くの市民ニーズの把握ができるよう努める。(まちづくり推進課) 先導的な取組による施設保有見直しに係るワークショップ(藤沢地域対象施設全体)の開催(藤沢支所地域振興課) 	<ul style="list-style-type: none"> 一ノ関駅東口工場跡地の利活用に係る市民ワークショップを3回開催し、45名の市民に参加いただいた。(プロジェクト推進室) 施設保有の見直しの方向性について、個別地区3か所と全地区を対象とした1か所で合計4回の懇談会を実施した。(藤沢支所地域振興課) 	<ul style="list-style-type: none"> 一ノ関駅東口工場跡地周辺の概況や利活用構想などの情報を共有したうえでグループワークを行い、参加者から多様な意見を聴取することができた。(プロジェクト推進室) 4回の懇談会で延べ50人の地域住民代表と意見交換を行い、次年度以降に話し合いを継続することとした。(藤沢支所地域振興課) 	各課等	
ワークショップ等の開催とメンバー公募	ワークショップは、公募などのメンバーで構成し、幅広い意見の集約に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> 一般公募や団体推薦を組み合わせ、多様な観点から多くの市民意見をいただく(プロジェクト推進室) まちづくりスタッフバンクの活用が進むよう人材の発掘にも取り組む。(まちづくり推進課) 一関地区かわまちづくり協議会委員18名のうち2名をまちづくりスタッフバンクから選任(継続)し協議会を2回/年開催予定(建設部都市整備課) 大東みらいづくり協議会を定期的(実施時期は調整)に開催予定(大東支所産業建設課) 	<ul style="list-style-type: none"> 一般枠(15人)、学生枠(12人)、団体推薦(19人)をテーマ別に組み合わせ、6グループによるグループワークを実施した。(プロジェクト推進室) 一関地区かわまちづくり協議会では、各団体から推薦された委員の意見を反映させながら、市民目線での計画作成ができた。(建設部都市整備課) 大東みらいづくり協議会を4月27日に設立し年度末までに、役員会を7回と全体会を7回開催。部会単位ではそれぞれりんご部会7回、米・しいたけ部会4回、販促部会2回のほか資源量調査として1/9～2/29に延べ49名の生産者からヒアリングを実施した。(大東支所産業建設課) 	<ul style="list-style-type: none"> 一般公募と団体推薦を組み合わせることで、多様な観点から幅広い意見を聴取することができた。(プロジェクト推進室) 一関地区かわまちづくり協議会では、各団体から推薦された委員の方々の意見を反映させながら、市民目線での計画作成ができたものとして評価する。(建設部都市整備課) 大東みらいづくり協議会では令和5年4月27日に公募による会員16名で設立され、地域資源の発掘や賦存量の調査を行い、地域資源を使用した新商品の開発を行った。(大東支所産業建設課) 	各課等		
各審議会委員の公募等	市の各種審議会委員は、法令で定めのない限り公募や地域代表等の委員で構成します。	<ul style="list-style-type: none"> 各種審議会委員の選任時においては、地域や各分野からの推薦や、公募によるメンバーの選任が行われるよう、仕組みの継続に取り組む。(まちづくり推進課) 一関市総合計画審議会委員に公募による委員(6名)を委嘱する。(政策企画課) 環境審議会委員13名のうち3名をまちづくりスタッフバンクから選任(継続)(生活環境課) 景観審議会委員15名のうち2名をまちづくりスタッフバンクから選任(継続)(建設部都市整備課) 一関市藤沢情報通信センター放送番組審議会委員を、藤沢町住民自治協議会からの推薦により選任。(藤沢支所地域振興課) 都市計画審議会委員15名のうち1名をまちづくりスタッフバンクから選任(継続)(建設部都市整備課) 	<ul style="list-style-type: none"> 一関市協働推進会議委員を、各地域や各分野から選任するとともに、まちづくりスタッフバンクからも選任した。(まちづくり推進課) 環境審議会委員13名のうち3名をまちづくりスタッフバンクから選任(継続)(生活環境課) 令和5年度は、都市計画審議会が開催されなかった。(建設部都市整備課) 景観審議会では、市民目線で景観賞の選考に意見をいただき、専門家の意見と合わせ賞の選考をすることが出来た。(都市整備課) 市民センター運営協議会の委員を、各地域協働体からの推薦により選任。(大原市民センター) 藤沢情報通信センター放送番組審議会委員5名のうち退任した3名について、藤沢町住民自治協議会からの推薦に基づき新たに委嘱した。(藤沢支所地域振興課) 	<ul style="list-style-type: none"> 計画を策定するにあたり、様々な角度から、協働に対して、意見を得ることにつながった。(まちづくり推進課) 環境報告書の作成にあたり、市民の目線・視点に基づいた意見を反映させることができた。(生活環境課) これまでの経験や知識に基づいた的確な質問により議論が深まるとともに、市民の目線・視点に基づいた意見を反映することができたものと評価する(都市整備課) 市民センター運営について、地域選出委員の観点から、適切な意見や助言をいただいた。(大原市民センター) 藤沢情報通信センター放送番組審議会を2回開催し、より効果的な情報発信に向けて、視聴者目線の意見・助言が挙げられた。(藤沢支所地域振興課) 	各課等		

令和5年度に協働で取り組んだ事業等の実施状況と評価

協働のための仕組みづくり

小節	基本方針	内容	令和5年度		協働で取り組んだ事業の評価	担当課等
			計画	(R6.3.31現在)実績		
	パブリックコメントの実施	市の各種計画等の策定にあたっては、市民の意見を反映するため、パブリックコメントを実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 各種計画策定時において、広く市民の意見を伺うパブリックコメントが実施されるよう、仕組みの継続に取り組む。(まちづくり推進課) 	<ul style="list-style-type: none"> 第3次協働推進計画及び地域公共交通計画の策定において、パブリックコメントを実施(まちづくり推進課) 一関市高齢者福祉計画(令和6年度～令和8年度)、第2期一関市成年後見制度利用促進計画、一関市再犯防止推進計画の策定においてパブリックコメントを実施(長寿社会課) 	<ul style="list-style-type: none"> パブリックコメントを実施し、意見を広く募ったが、出された意見は少なく、パブリックコメントの認知度の低さを感じた。(まちづくり推進課) 	各課等
	個別施策に係る地域説明会の実施	市の個別施策について、市民との共通理解、意見交換等のため、地域説明会を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 事業に取り組む際、地域説明会、住民懇談会などを開催し、共通理解と十分な意見交換のもとに進められるよう、仕組みの継続に取り組む。(まちづくり推進課) 先導的取り組みによる施設保有の見直しに係る住民説明会(若者会議)の実施(スポーツ振興課) 川崎地域デマンド型乗合タクシー本格運行開始に伴う住民説明会(川崎支所地域振興課) 先導的な取組による施設保有見直しに係るワークショップ(藤沢地域対象施設全体)の開催(藤沢支所地域振興課) 	<ul style="list-style-type: none"> 協働推進計画及び地域公共交通計画策定に向けて、住民懇談会を開催(まちづくり推進課、各支所地域振興課) 東山地域デマンド型乗合タクシー試験運行説明会の開催(6回)(東山支所地域振興課) 先導的取り組みによる施設保有の見直しに係る住民説明会や関係団体との懇談会を計3回開催し、延べ26名が参加した。(スポーツ振興課) 先導的な取組による施設保有の見直しに係る指定管理者との懇談会の実施(大東支所地域振興課、興田地区振興会)10/5 地域協働推進計画及び公共交通計画見直しに係る住民懇談会を開催した。(千厩支所地域振興課)8/25:磐清水地区8/29:千厩地区9/6:奥玉地区9/19:小梨地区 自治会等活動費総合補助金事業説明会(2回)(川崎支所地域振興課) 川崎地域デマンド型乗合タクシー本格運行開始に伴い、希望者へ個別説明会を開催(1/18、1/29、2/2)(川崎支所地域振興課) 先導的取り組みによる施設保有の見直しに係る「室根地区各地区会館管理運営及び譲渡に係る説明会」を開催。また、室根地域20自治会と意見交換会を行った。(20回超)併せてアンケート調査も実施した。(室根支所地域振興課) 施設保有の見直しの方向性について、個別地区3か所と全地区を対象とした1か所で合計4回の懇談会を実施した。(藤沢支所地域振興課) 	<ul style="list-style-type: none"> 計画策定にあたり住民懇談会を開催し、様々な意見をいただいたことで、より現状に即した計画を策定することができた。(まちづくり推進課) 市の方針に対する理解が深まり、参加者から多様な意見を聴取することができた。(スポーツ振興課) 伊勢館公園野球場・テニスコートの施設保有の見直し方針について市の考えを説明し、意見交換を行い、今後も協議、検討していくことを確認することができた。(大東支所地域振興課、興田地区振興会) 説明会を開催し、共通理解を図りながら事業に取り組んだ。(川崎支所地域振興課) 意見交換会を小さく開催することで細かな意見を聴くことができた。(室根支所地域振興課) 4回の懇談会で延べ50人の地域住民代表と意見交換を行い、次年度以降に話し合いを継続することとした。(藤沢支所地域振興課) 	各課等
	まちづくり懇談会の開催	市民や市民組織の関係者などが一堂に集い、まちづくりについて話し合うまちづくり懇談会を開催します。	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり懇談会開催(広聴広報課、まちづくり推進課、支所地域振興課) 	<ul style="list-style-type: none"> 全地域でまちづくり懇談会を開催(広聴広報課、まちづくり推進課、支所地域振興課) まちづくり懇談会開催 11/2(千厩支所地域振興課) 	<ul style="list-style-type: none"> 出席者から積極的な発言をいただき、今後のまちづくりにつながる懇談会となった。(広聴広報課、まちづくり推進課、支所地域振興課) まちづくり懇談会 11/2(千厩支所地域振興)支所各課職員、地域協働体職員、町内事業所の従業員、農業経営者など様々な職種の方に参加していただいた。若者定住と住みたくなるまちづくりなどについて活発に発言をいただき、今後の施策の参考となった。 	各課等

令和5年度に協働で取り組んだ事業等の実施状況と評価

協働のための仕組みづくり

小節	基本方針	内容	令和5年度		協働で取り組んだ事業の評価	担当課等	
			計画	(R6.3.31現在)実績			
		市民組織による地域課題の集約、要望取りまとめ	組織的に地域課題を集約し、解決策を考えます。	<ul style="list-style-type: none"> ・移動市長室の実施(秘書課、まちづくり推進課、支所地域振興課) ・まちづくり懇談会開催(広聴広報課、まちづくり推進課、支所地域振興課) ・本寺地区地域づくり計画の策定(骨寺荘園室) 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動市長室の実施(秘書課、まちづくり推進課、支所地域振興課) ・全地域でまちづくり懇談会を開催(広聴広報課、まちづくり推進課、支所地域振興課) ・移動市長室の開催 7/13(千厩支所地域振興課) ・まちづくり懇談会開催 11/2(千厩支所地域振興課) ・まちづくり推進課、いきがいづくり課、市民活動センターが合同で市民センターを訪問し情報交換する「チーム会議」を通じて地域課題の共通認識を図った。(いきがいづくり課) ・室根町自治会連合会の取り組みとして、各地区ごとの課題を出し合い、連合会の会議で特に室根地域の課題として取り上げた7項目を提言としてまとめた。(室根支所地域振興課) ・本寺地区地域づくり計画の策定については取り組みできなかった。(骨寺荘園室) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域からの意見を聞く場として、まちづくりに関する懇談会の場を設け、地域の団体等からの意見、ニーズの把握につながった。(まちづくり推進課) ・移動市長室の実施 7/13(千厩支所地域振興課) 町内の社会福祉法人に勤務する外国人従業員から日常生活や仕事上での困り事などを、施設の管理者等からは外国人を雇用する上で配慮が必要な点などについて話していただいた。労使双方の立場から意見を聞くことができ、今後の施策の参考となった。 ・各地域における多様な仕事と生活について、市長と地域の方々が直接懇談を行うことにより、今後地域力を高める事業であった。(大東支所地域振興課) 	各課等
			行政に対し要望等を行う場合は、意見集約の方法、経過を加えて具体的に提案します。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域協働体が意見集約した地域課題解決のための提言、要望としてとりまとめ、提出する取組を継続する。(各地域協働体) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域協働体が意見集約した地域課題解決のための提言、要望としてとりまとめ、提出する取組を継続。(各地域協働体) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題解決のための提言や要望について、地域協働体が意見集約し提出する仕組みが構築された。(各地域協働体) 	各課等 各地域協働体
2 行政等の支援策	2-① 市民組織が行う公共的、公益的活動について、行政等は人、物、お金の支援を行います。	自治会等の活動や地域づくり活動に対して、補助金等を交付します。	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会等活動費総合補助金、地域おこし事業費補助金、地域づくり交付金の交付 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会等活動費総合補助金、地域おこし事業費補助金、地域づくり交付金の交付。(まちづくり推進課、各支所地域振興課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会等活動費総合補助金(自治会向け)、地域おこし事業費補助金(団体向け)、地域づくり交付金(地域協働体向け)により、活動を支援することで、地域づくりにつながっている。(まちづくり推進課、各支所地域振興課) 	まちづくり推進課 各支所地域振興課	
			<ul style="list-style-type: none"> ・防犯灯設置等補助金(生活環境課・支所市民福祉課) ・資源リサイクル事業費(生活環境課・支所市民福祉課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯灯設置等補助金(生活環境課・支所市民福祉課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会等が管理する防犯灯の維持管理や、新規設置などの経費を支援し地域の防犯活動を支援した。 ・有価物集団回収の実施により市民の意識醸成が図られ、リサイクルの推進に繋がった。(生活環境課) 	生活環境課	
			<ul style="list-style-type: none"> ・商店街活性化事業補助金(商政課) ・商店街にぎわい創出事業補助金(商政課) ・商店街街路灯電気料補助(商政課) ・商店街街路灯修繕等補助(商政課) ・商店街低炭素街路灯導入促進補助(商政課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街活性化事業補助金(商政課) ・商店街にぎわい創出事業補助金(商政課) ・商店街街路灯電気料補助(商政課) ・商店街街路灯修繕等補助(商政課) ・商店街低炭素街路灯導入促進補助(商政課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所が行う事業に対し補助金を交付することにより、地域経済の安定的発展を促すことが出来た。 ・商店街組合等が行う事業に対し補助金を交付することにより、商業者の意識の高揚とその意欲を培い、地域消費者に支持される賑わいのある商店街の想像と地域経済の活性化を図ることが出来た。 ・商店会等が維持管理する商店街街路灯の電気料及び修繕費等に対し補助金を交付することにより、商店街の振興を図ることが出来た。 ・これまで管理者不在となっていた地主町街路灯について、地域の連携により地元主導で管理組合を設立。街路灯のLED化する経費や電気料金については市が補助を行うことで、地域課題であった地主町地区の街路灯の不点灯という問題解決につながった。 	商政課	

令和5年度に協働で取り組んだ事業等の実施状況と評価

協働のための仕組みづくり

小節	基本方針	内容	令和5年度		協働で取り組んだ事業の評価	担当課等
			計画	(R6.3.31現在)実績		
			<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主防災組織結成報奨金(2万円上限) ・ 自主防災組織活動助成金(15万円上限)(防災課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主防災組織結成報奨金(2万円上限):1団体 ・ 自主防災組織活動助成金(15万円上限):3団体(防災課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主防災組織結成報奨金について、令和元年度から令和5年度までの5か年において、令和2年度を除き、毎年度交付しており、平常時や災害時の活動計画策定など地域防災力向上に有用な補助金であった。(防災課) ・ 自主防災組織活動助成金について、令和元年度から令和5年度までの5か年において、計7団体に交付し、防災資機材等が整備され、地域防災力の向上と防災意識啓発に非常に有効な補助金であった。(防災課) 	消防本部防災課
		地域活動に必要な備品の整備やコミュニティセンター建築の助成金などの活用を積極的に促します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業の採択における優遇措置につながる「元気なコミュニティ特選団体」の推薦(まちづくり推進課、各支所地域振興課) ・ コミュニティ助成事業補助金の情報提供、並びに交付(まちづくり推進課、各支所地域振興課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティ助成事業補助金の情報提供、並びに交付(まちづくり推進課、各支所地域振興課)採択:2団体 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活動に係る支援策として活用されているコミュニティ助成事業補助金について、広く周知し、交付対象団体への採択につながった。(まちづくり推進課) 	まちづくり推進課 各支所地域振興課
		地域づくりアドバイザーの指導助言を受ける講師等派遣費用の助成金の活用を奨励します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 随時情報提供を実施(まちづくり推進課、各支所地域振興課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 随時情報提供を実施(まちづくり推進課、各支所地域振興課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ いちのせき市民活動センターが担う中間支援と支援内容が重複していることから、アドバイザーの派遣の活用は行わなかった。(まちづくり推進課) 	まちづくり推進課 各支所地域振興課
		各種財団のまちづくり助成金情報を提供します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 随時情報提供を実施(まちづくり推進課、各支所地域振興課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 随時情報提供を実施(まちづくり推進課、各支所地域振興課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活動に係る支援策として活用されているコミュニティ助成事業補助金について、広く周知し、交付対象団体への採択につなげることができている。(まちづくり推進課) 	まちづくり推進課 各支所地域振興課
	市職員の派遣等	市民組織の要請に応じて、職員を説明員や講師として派遣します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種団体の要請に応じその都度職員を派遣して説明や情報提供を行い、行政内部でも情報共有を図る。(まちづくり推進課) ・ 消費生活出前講座講師派遣(生活環境課) ・ 老人クラブ、自治会等への交通指導員派遣(生活環境課) ・ ごみ分別説明会への職員派遣(生活環境課・支所市民福祉課) ・ 週イチ倶楽部応援事業に保健師等を派遣(健康づくり課・東部・北部健康推進室) ・ 団体等が行うスポーツ関連事業にスポーツ推進委員を派遣(スポーツ振興課) ・ 鳥獣被害対策について、地域ぐるみで捕獲の補助活動を行う集落に対して講師を派遣する。(林政推進課) ・ 市民団体への講師派遣の実施(博物館) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 週イチ倶楽部応援事業で保健師等を27回派遣、新規4団体の立ち上げと既存の団体の活動支援を行った。(健康づくり課) ・ 一関地区まちづくり協議会等へ講師を派遣した。(博物館) ・ 団体等が行うスポーツ関連事業にスポーツ推進委員を派遣。147回(スポーツ振興課) ・ 消費生活出前講座講師派遣(32回)(生活環境課) ・ 老人クラブ、自治会等への交通指導員派遣(14回)(生活環境課) ・ ごみ分別説明会への職員派遣(12回)(生活環境課・干麻支所市民福祉課) ・ 鳥獣被害対策について、地域ぐるみで捕獲の補助活動を行う集落に対して講師を派遣した。(林政推進課) ・ 大東高校に対し講座の開設希望があった分野について、講師として職員を派遣。(大東支所産業建設課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 週イチ倶楽部応援事業に保健師等を派遣し、週イチ倶楽部新規4団体の立ち上げにつながり、介護予防い取り組む地域が増加した。(健康づくり課、東部・北部健康推進室) ・ 市民団体からの要望に応じて講師を派遣し、地域の歴史や展示資料について、理解を深めることができた。(博物館) ・ 団体等が行う健康づくりやレクリエーション行事などにスポーツ推進委員を派遣し実技指導等を行うことで、市民の健康づくりやニュースポーツの普及に役立てることができた。(スポーツ振興課) ・ 市民からの要望に応じて消費生活出前講座に講師として相談員を派遣し、市民の消費生活に対する意識向上が図られた。(生活環境課) ・ 老人クラブ、自治会等からの要望に応じて交通指導員を派遣し、交通安全教室や講話を通して市民の交通安全に対する意識の向上が図られた。(生活環境課) ・ ごみ分別説明会を実施することにより、正しい分別の周知に繋がった。(生活環境課・支所市民福祉課) ・ 鳥獣被害対策について、地域ぐるみで捕獲の補助活動を行う集落の取組の導入につなげることができた。(林政推進課) ・ 要望に応じて講師を派遣し、大東地域のまちづくりや子育て支援について理解を深めるための支援を行った。(大東支所産業建設課) 	各課等

令和5年度に協働で取り組んだ事業等の実施状況と評価

協働のための仕組みづくり

小節	基本方針	内容	令和5年度		協働で取り組んだ事業の評価	担当課等	
			計画	(R6.3.31現在)実績			
		共催事業など協働事業の形態に応じて、支援する職員を派遣します。	<ul style="list-style-type: none"> 共催で取り組む事業においても、職員の派遣を行い、各種団体との協働による事業展開に結びつける。(まちづくり推進課) 小中学校での「ことばの先人」出前講座の実施(博物館) 学校・市民センター事業への講師派遣(博物館) 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校5校(中里・南・赤荻・萩荘・興田)にて「ことばの先人」出前講座を実施した。(博物館) 花泉高等学校、老松市民センター等に講師を派遣した。(博物館) 市が共催する一関高専主催の親子リサイクル体験教室に職員2名を派遣(生活環境課) 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の要望に応じて講師を派遣し、ことばに関わる先人についての理解を深めることができた。(博物館) 市民センター等の要望に応じて講師を派遣し、地域の歴史や展示資料について、理解を深めることができた。(博物館) 共催事業においても職員を派遣することにより、市が取り組む「小型家電リサイクル」の周知を図ることができた。(生活環境課) 	各課等	
			<ul style="list-style-type: none"> 協働推進職員行動指針の周知で市職員の協働に対する意識付けを継続し、職員の自発的な市民組織への参画につなげる。(まちづくり推進課) 地域協働推進担当職員を指名し、各地区懇談会等へ派遣する。(藤沢支所地域振興課) 	<ul style="list-style-type: none"> 協働推進職員行動指針の周知で市職員の協働に対する意識付けを継続し、職員の自発的な市民組織への参画につなげた。(まちづくり推進課) 支所内各課長、課長補佐を対象に担当地区を分担したものの、各地区で実施した懇談会が施設保有の見直しに係る内容のみであったため、地域振興課のみで対応した。(藤沢支所地域振興課) 	<ul style="list-style-type: none"> 協働推進職員研修会の実施のほか、協働推進職員行動指針の周知で市職員の協働に対する意識付けを継続してきたことにより、協働のまちづくりへの理解が深まっており、職員の自発的な市民組織への参画が行われている。(まちづくり推進課) 施設保有見直しに係る住民との懇談会は今年度も予定しており、課題の共有のため地区担当職員も同行させることを検討する。(藤沢支所地域振興課) 	まちづくり推進課 各支所地域振興課	
		ファシリテーター、サポーター等の派遣	市民組織の話し合い支援のため、市民活動センター等でファシリテーター、サポーター等を派遣します。	<ul style="list-style-type: none"> いちのせき市民活動センターの話し合い支援業務(ファシリテーター等の派遣)を依頼できる仕組みを継続(まちづくり推進課) 	<ul style="list-style-type: none"> いちのせき市民活動センターの話し合い支援業務(ファシリテーター等の派遣)を依頼できる仕組みを継続(まちづくり推進課) 	<ul style="list-style-type: none"> いちのせき市民活動センターの話し合い支援業務(ファシリテーター等の派遣)を依頼できる仕組みにより、充実した話し合いと課題解決に結びついている。(まちづくり推進課) 	まちづくり推進課 各支所地域振興課
		資材等の供給	道路整備などを地域で行う場合、資材等の供給を行います。	<ul style="list-style-type: none"> 行政区や地域組織などからの「原材料支給」の要望により支給対応を行い、それぞれの取組を支援(道路管理課) 	<ul style="list-style-type: none"> 行政区や地域組織などからの「原材料支給」の要望により支給対応を行い、それぞれの取組を支援した。(道路管理課) 	<ul style="list-style-type: none"> 行政区や地域組織などからの「原材料支給」の要望により支給対応を行い、それぞれの取組を支援することができた。(道路管理課) 	各課等
の3 中 間 市 民 支 援 活 動 セ ン ター 等	3-① いちのせき市民活動センターなどを中間支援組織として位置付け、行政との役割分担を行い、組織相互の連携促進と市民組織の活動を支援します。	市民活動センター等による支援	市民組織に対し、自主活動や地域おこし事業等の中間支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> いちのせき市民活動センターの中間支援業務を依頼できる仕組みを継続(まちづくり推進課) 	<ul style="list-style-type: none"> いちのせき市民活動センターの市民活動相談支援業務(助言・情報提供)により、市民組織の活動や事業について内容の充実などに結びついている。(まちづくり推進課) 	まちづくり推進課 各支所地域振興課	
			市民活動の先導を担い、協働のまちづくりの支援をする市民活動センターの事業を充実します。	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動推進事業を委託し、 市民活動団体からの相談受付及び支援 ファシリテーター、サポーター等を派遣 市民活動講座の開催 情報発信 などの各事業を実施(まちづくり推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動推進事業を委託し、 市民活動団体からの相談受付及び支援 ファシリテーター、サポーター等を派遣 市民活動講座の開催 情報発信 などの各事業を実施(まちづくり推進課)	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動推進事業を委託することで、 市民活動団体からの相談受付及び支援 ファシリテーター、サポーター等を派遣 市民活動講座の開催 情報発信 などの幅広い充実した支援につながっている。(まちづくり推進課)	まちづくり推進課 各支所地域振興課

令和5年度に協働で取り組んだ事業等の実施状況と評価

協働のための仕組みづくり

小節	基本方針	内容	令和5年度		協働で取り組んだ事業の評価	担当課等
			計画	(R6.3.31現在)実績		
4 事業形態の選択活用	4-① 協働による事業形態は、相乗効果が最も見込まれるものを選択して、その機能が十分に生かされるよう努めます。	共催 主催者の一員として、単に経済的な役割分担に止まらず、人的な役割分担も担いながら、円滑な事業の実施に努めることにより、信頼関係の構築に結びつきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共催で取り組む事業においても、職員も共に役割を担いながら円滑な事業の実施に努め、各種団体との協働による事業展開に結びつける。(まちづくり推進課) ・ 市民団体が開催するがん撲滅に向けたチャリティーイベント(リレー・フォー・ライフ)に実行委員として参加(健康づくり課) ・ 6月と10月に、厳美をきれいにする会と共催し、厳美公園清掃活動を実施(建設部都市整備課) ・ 4月28日に、厳美小学校の児童とともに、厳美公園内に桜の植樹を行う活動を実施(建設部都市整備課) ・ 令和6年3月に厳美中学校の生徒とともに厳美公園内に桜の植樹を行う活動を実施予定(建設部都市整備課) ・ すりさわ七夕交流会(摺沢市民センター) ・ まちづくり講演会(浜民市民センター) ・ 森は海の恋人植樹祭(6/11)室根町第12区自治会・NPO法人森は海の恋人主催。当日に行事運営に参加。(室根支所産業建設課) ・ 室根高原クリーン作戦(7/25)一関市観光協会室根主催。室根小学校児童の送迎や他の参加者とともに清掃活動に参加。(室根支所産業建設課) ・ JR東日本、一関機関区OB会の協力と一般参加者を募り、SL清掃イベントを実施(一関図書館) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ R5.10.14(土)SI清掃イベント実施 ・ JR東日本、一関機関区OB会、一般参加者合わせて約60人参加(一関図書館) ・ 市民団体が開催するがん撲滅に向けたチャリティーイベント(リレー・フォー・ライフ)に実行委員として参加。 ・ イベント当日は市職員が従事しとウオークリレーに参加。イベント当日以外には職員がリレー・フォー・ライフのポロシャツを着用し、市民団体や医療介護関係者など信頼関係を継続した。(健康づくり課) ・ 清掃活動により、地域との信頼関係が構築され、公園の美化・維持・管理が円滑に進められた。(都市整備課) ・ 地域の小学生とともに植樹活動を行い、景観の保全(桜の名所の保全)を図った。(都市整備課) ・ 中学生とともに行う植樹は実施しなかった。(都市整備課) ・ すりさわ七夕交流会(摺沢市民センター)※交流会中止、七夕飾りのみ実施。 ・ 森は海の恋人植樹祭の実施(6/11)(室根支所産業建設課) ・ 室根高原クリーン作戦の実施(7/25)(室根支所産業建設課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車両の保全維持はもとより、「SLのある図書館」として地域内外への認知度の向上につながった。(一関図書館) ・ 市民団体が開催するがん撲滅に向けたチャリティーイベント(リレー・フォー・ライフ)に実行委員会として参加。 ・ イベント当日は市職員が従事とウオークリレーに参加。イベント当日以外には職員がリレー・フォー・ライフのポロシャツを着用し、市民団体や医療介護関係者など信頼関係を継続できた。(健康づくり課) ・ 清掃活動により、地域との信頼関係が構築され、公園の美化・維持・管理が円滑に進められたものと評価する。(都市整備課) ・ 地域の小学生とともに植樹活動を行うことにより、地元へ愛着を持つきっかけとなるとともに、景観の保全(桜の名所の保全)が図られたものと評価する。(都市整備課) ・ 森は海の恋人植樹祭は、室根山つつじまつりと日程が重複したため最低限ではあったが、当日の行事運営に参画し、全国的に認知されている事業の成功に努めた。(室根支所産業建設課) ・ 室根高原クリーン作戦は、室根小学校児童の送迎を担うとともに、清掃活動に参加し、美化清掃活動と自然保護思想の啓発を行うことができた。(室根支所産業建設課) 	各課等
			<ul style="list-style-type: none"> ・ 室根山山開き(4/16)一関市観光協会室根主催。事前準備と当日の行事運営に参加。(室根支所産業建設課) ・ 室根山つつじまつり(5/20~6/4)一関市観光協会 室根主催。期間中の土日における駐車場整理業務等に従事。(室根支所産業建設課) ・ 室根山つつじまつり食堂復活事業(5月下旬)一関市室根市民センター青年ふれあい塾主催。事業計画の話し合いから参加。(室根支所産業建設課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 室根山山開き(4/16)(室根支所産業建設課) ・ 室根山つつじまつり(5/20~6/4)(室根支所産業建設課) ・ 室根山つつじまつり食堂復活事業(5/27・28) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 室根山山開きは、一関市観光協会室根の呼びかけにより、室根山周辺の地域、宮城県気仙沼市などから開会行事や安全祈願祭などに集まり、登山を楽しむことができた。また、地域のシンボル室根山を見直す機会となった。(室根支所産業建設課) ・ 室根山つつじまつりは、一関市観光協会室根と協力し、取り組んだ。ツツジ群生地の環境整備のための「みんなのツツジ協力金」(募金活動)を試験的に取り組み、集まった募金は、ツツジ群生地の環境整備に充てた。(室根支所産業建設課) ・ 室根山つつじまつり食堂復活事業は、室根山つつじまつりの期間中の5/27と28に青年ふれあい塾や室愉会などの青年組織が取り組み、室根山の物産販売を通じて室根地域の魅力発信を行うことができた。(室根支所産業建設課) 	各課等
			後援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報の活用や掲示物による周知など、後援団体として可能な支援を考え取り組むことにより、事業の成功に結びつける。(まちづくり推進課) ・ 第6回ジュニアエコノミーカレッジinいちのせき(商政課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第6回ジュニアエコノミーカレッジinいちのせき(商政課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の子供たちに本事業を通して、会社の立上げから商品の仕入れや販売、そして納税、決算発表などの企業活動を実体験してもらい、ビジネスの仕組みについて学習しながら「自主性」「協調性」「創造性」を磨き、最終的には「判断する(決める)」ことを学び、将来の起業家を育成する事業として取り組めた。

令和5年度に協働で取り組んだ事業等の実施状況と評価

協働のための仕組みづくり

小節	基本方針	内容	令和5年度		協働で取り組んだ事業の評価	担当課等
			計画	(R6.3.31現在)実績		
	実行委員会	より多くの協働の主体が結集し、これまで実施できなかった事業の実現に結びつけます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実行委員会形式では、さまざまな主体で構成する形で、多様な意見を反映することができることから、職員も共に役割を担いながら円滑な事業の実施に努め、各種団体との協働による事業展開に結びつける。(まちづくり推進課) ・ 磐井河原いものこ会実行委員会(生産流通課) ・ いちのせき賑わい「ど市」実行委員会(商政課) ・ いちのせき産業まつり実行委員会(商政課) ・ 一関夏まつり実行委員会(観光物産課) ・ 一関・平泉バルーンフェスティバル実行委員会(観光物産課) ・ 一関の物産と観光展実行委員会(観光物産課) ・ 一関の物産と観光展実行委員会一関地域プロジェクト委員会(観光物産課) ・ 来て・見て・発見一関おもしろ館実行委員会(観光物産課) ・ 全国地ビールフェスティバル一関実行委員会(観光物産課) ・ 一関地方物産振興協会(観光物産課) ・ 全国もちフェスティバル実行委員会(観光物産課) ・ 須川山岳遭難対策委員会(観光物産課) ・ 花泉まつり実行委員会(産業建設課) 	<ul style="list-style-type: none"> ○一関地域 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一関夏まつり実行委員会(観光物産課) ・ 一関・平泉バルーンフェスティバル実行委員会(観光物産課) ・ 一関の物産と観光展実行委員会(観光物産課) ・ 一関の物産と観光展実行委員会一関地域プロジェクト委員会(観光物産課) ・ 来て・見て・発見一関おもしろ館実行委員会(観光物産課) ・ 全国地ビールフェスティバル一関実行委員会(観光物産課) ・ 一関地方物産振興協会(観光物産課) ・ 全国もちフェスティバル実行委員会(観光物産課) ・ 須川山岳遭難対策委員会(観光物産課) ・ いちのせき賑わい「ど市」実行委員会(商政課) ・ いちのせき産業まつり実行委員会(商政課) ・ 磐井河原いものこ会実行委員会(生産流通課) ○花泉地域 <ul style="list-style-type: none"> ・ 花泉まつり実行委員会(花泉支所産業建設課) ○大東地域 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大原だるま祭り実行委員会8/15 ・ 大原地区文化祭実行委員会11/4.5 ・ 大原地区新年交賀会実行委員会1/6 ・ 一関・大東大原水かけ保存会2/11 ・ 摺沢地区文化祭実行委員会(摺沢市民センター) ・ 摺沢地区新年交賀会実行委員会(摺沢市民センター) ・ 洪民地区文化祭実行委員会(洪民市民センター) ・ 洪民地区新年交賀会実行委員会(洪民市民センター) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ さまざまな主体で構成する形で、多様な意見を反映し、職員も共に役割を担いながら、円滑な事業実施及び各種団体との協働による事業展開に結びつけることができた。(観光物産課) ・ 実施主体である商店街組合のほか、市や商工会議所等が実行委員会に参加し、協働により実施することが出来た。 ・ 一関銀座会が実施する「福の市」といちのせき産業まつり商工祭を同日に開催したことで相乗効果が図られた。 ・ 磐井河原いものこ会は、地場農産物(里芋、ねぎ等)の消費拡大、PRを目的に、JALいわて平泉、いわて・南沢里芋生産組合等と2回実行委員会を開催し、意見をいただいて実施した。多くの方(1,036人)に参加いただき、地場産品の普及を図ることができた。(生産流通課) ・ さまざまな主体で構成する形で、会議やワークショップにより多様な意見を反映し、職員も共に役割を担いながら、協働による円滑な事業の実施に努めた。(花泉支所産業建設課) ・ 文化祭は各団体の活動の成果を発表する場を設けて多くの方に観賞していただくことで、今後の創作意欲につながった。(摺沢市民センター) ・ 新年交賀会を4年ぶりに開催し、多くの住民が交流することができた。(摺沢市民センター) ・ 大原だるま祭りは当番生の減少に伴い2学年合同での開催 ・ 地区文化祭は各団体の活動の成果を発表する場を設けて多くの方に鑑賞していただくことで、今後の創作意欲につながった。 ・ 地区新年交賀会はコロナ明け、地区の皆さんが多く参加し、地区民の一体感を共有することができた。 	各課等

令和5年度に協働で取り組んだ事業等の実施状況と評価

協働のための仕組みづくり

小節	基本方針	内容	令和5年度		協働で取り組んだ事業の評価	担当課等
			計画	(R6.3.31現在)実績		
			<ul style="list-style-type: none"> ・大原だるま祭り実行委員会 ・大原地区文化祭実行委員会 ・大原地区新年交賀会実行委員会 ・大東大原水かけ保存会 ・摺沢地区文化祭実行委員会(摺沢市民センター) ・摺沢地区新年交賀会実行委員会(摺沢市民センター) ・渋民地区文化祭実行委員会(渋民市民センター) ・渋民地区新年交賀会実行委員会(渋民市民センター) ・むろね七夕夏まつり実行委員会(室根支所産業建設課) ・室根高原牧場まつり実行委員会(大東支所産業建設課・室根支所産業建設課) ・夏まつり実行委員会(川崎支所産業建設課) ・北上川流域交流Eポート大会実行委員会(川崎支所地域振興課) 	<ul style="list-style-type: none"> ○千厩地域 ・夏まつり実行委員会(産業建設課) ○東山地域 ・唐梅館絵巻実行委員会 ・商店街賑わいづくり実行委員会 ○室根地域 ・むろね七夕夏まつり実行委員会(室根支所産業建設課) ・むろね七夕夏まつり2024の開催(7/8) ・室根高原牧場まつり実行委員会(大東支所産業建設課・室根支所産業建設課) ・室根高原牧場まつりの開催(9/17) ○川崎地域 ・北上川流域交流Eポート大会実行委員会(地域振興課) ○藤沢地域 ・藤沢野焼祭実行委員会(産業建設課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・一関・大東大原水かけ祭りはコロナ明け通常開催し、市のHPでチラシやポスターの掲載ができたことにより、地域が活気づいた。 ・実行委員会を部会制とすることで、地域の祭りという意識を高め、関係団体の創意と主体性が図られる組織体制で運営することができた。(千厩支所産業建設課) ・むろね七夕夏まつりは、まつりの企画会議を構成する50代までの若い意見を取り入れながら新企画の「むろね七夕夏まつり2023」が開催することができ、住民の意見を聞きながらイベントに取り組む体制を整えることができた。(室根支所産業建設課) ・室根高原牧場まつりは、室根総合開発(株)が中心となり、いわて平泉農協、風薫る丘みちのく乗馬クラブ等の構成団体と2支所の産業建設課で連携し、室根山観光施設等の利用増進に向けた取り組みを行うことができた。(大東支所産業建設課、室根支所産業建設課) ・主体となる団体が集まることにより特色ある企画・活動に繋がっている。(川崎支所地域振興課) ・藤沢野焼祭実行委員会の、構成は主体となる団体が集まっている。役割を分担することで特色ある企画、活動に繋がっている。 	
	委託	いわゆる「丸投げ」とならないよう協働の主体としての責任を果たしながら委託することにより、効率的できめ細やかなサービスの提供に結びつけます。	<ul style="list-style-type: none"> ・業務を委託する中でも確認をおこない、協働の主体としての責任を果たしながら進めることにより、効率的できめ細やかなサービスの提供に結びつける。(まちづくり推進課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員、地域協働体、市民活動センター3者によるチーム会議の実施により、委託業務の確認や情報共有を図った。(まちづくり推進課、いきがいきづくり課、各支所地域振興課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務を委託する中でも、確認をおこない、協働の主体としての責任を果たしながら進めることにより、効率的できめ細やかなサービスの提供に結びつけることができている。(まちづくり推進課) 	各課等
	補助	単なる財政援助を目的とせず、補助事業であるからこそ実施可能な事業内容とすることにより、大きな成果の達成に結びつけます。	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会等活動費総合補助金、地域おこし事業費補助金、地域づくり交付金の交付(まちづくり推進課、各支所地域振興課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会等活動費総合補助金、地域おこし事業費補助金、地域づくり交付金を交付し、地域づくりを支援した。(まちづくり推進課、各支所地域振興課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・単なる財政援助を目的とせず、ありがたい姿の実現に向け地域団体のニーズに沿った支援につなげ、大きな成果の達成に結びつけることができている。(まちづくり推進課) 	まちづくり推進課 各支所地域振興課
	協定、アドプト	協定の相手方となる協働の主体が能動的に取り組むことができる約束を取り交わすことにより、確実な事業の実施に結びつけます。 アドプト制度では、道路や公園などの公共材を地域資源と捉えて、親身になって育てることにより、長期的な取組に結びつけます。	<ul style="list-style-type: none"> ・アドプト協定による資材の供給(生活環境課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・アドプト協定団体へ資材の供給 2件(生活環境課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の清掃活動の推進に繋がった。(生活環境課) 	各課等

令和5年度に協働で取り組んだ事業等の実施状況と評価

協働のための仕組みづくり

小節	基本方針	内容	令和5年度		協働で取り組んだ事業の評価	担当課等
			計画	(R6.3.31現在)実績		
		<p>情報提供、意見交換</p> <p>情報提供は、誰に伝えたいのか対象を的確に捉えて行い、意見交換は、相手の考えを否定する発言よりも、改善提案となるよう努めることにより、建設的で中身の濃いものに結びつけます。</p>	<p>・ 情報発信においては、常にその精度の向上を意識して行い、的確な情報提供に努め、意見交換においても傾聴で相手の考えを聞きながら中身の濃い意見を交わすことができるよう職員研修での学びを活かす。(まちづくり推進課)</p> <p>・ 報道機関へのプレスリリース、市フェイスブック、一関ケーブルテレビ、FMあすもなどを活用し、補助金や事業に関する情報提供(生活環境課)</p> <p>・ 藤沢情報通信センター(告知放送・データ放送)による情報発信に努める。(藤沢支所地域振興課)</p>	<p>・ 情報発信においては、常にその精度の向上を意識して行い、的確な情報提供に努めた。(まちづくり推進課)</p> <p>・ 報道機関へのプレスリリース、一関ケーブルテレビ、公式ラインLINE、FMあすもなどを活用し、補助金や事業に関する情報提供(生活環境課)</p> <p>・ 藤沢情報通信センターによる情報発信を積極的に実するとともに、新たに導入したアプリ(JC-smart)の普及に務めた。(藤沢支所地域振興課)</p>	<p>・ 情報発信においては、常にその精度の向上を意識して行い、的確な情報提供に努めてきた。意見交換においても傾聴で相手の考えを聞きながら中身の濃い意見を交わすことができるよう職員研修での学びを活かすことができている。(まちづくり推進課)</p> <p>・ 広く情報発信することに繋がった。(生活環境課)</p> <p>・ 告知放送、データ放送により行政や地域の情報を地域内に安定して情報発信することができた。今後はアプリの活用を更に普及させていく。(藤沢支所地域振興課)</p>	各課等
		<p>政策提言</p> <p>個人的な考えよりも、むしろ地域で集約された考えや具体的な代替案を示すことにより、多くの市民の共感を呼ぶことに結びつけます。</p>	<p>・ 地域協働体との話し合いなど、地域に入り数多くの意見交換を行い、話し合いの継続により地域住民の共感を得ながら進める。(まちづくり推進課)</p>	<p>・ 各種計画策定にあたり、地域に入り数多くの意見交換を行った。(まちづくり推進課)</p>	<p>・ 地域に入り数多くの意見交換を行うことで、政策や取り組みのあり方を、身近に捉えていただけた。(まちづくり推進課)</p>	各課等
5 地域協働の仕組みづくり	<p>5-① 地域協働体を中心とした市民主体の地域協働の仕組みづくりを促進し、地域の活性化を図ります。</p> <p>5-② 市民センターを地域づくりの拠点として位置付け、地域の活力の創出につなげます。</p>	<p>元気な地域づくり</p> <p>地域ごとに、市民と市職員がアイデアを出し合い、協働で取組めます。</p>	<p>・ いちのせき元気な地域づくり事業を実施(まちづくり推進課、各支所地域振興課)</p> <p>一関 10事業 花泉 6事業 大東 11事業 千厩 6事業 東山 7事業 室根 8事業 川崎 8事業 藤沢 6事業</p>	<p>・ いちのせき元気な地域づくり事業(65事業)の実施(各地域)</p> <p>一関 9事業 花泉 7事業 大東 12事業 千厩 6事業 東山 9事業 室根 8事業 川崎 8事業 藤沢 6事業</p>	<p>・ それぞれの地域の特性を活かして、市民と市職員がアイデアを出し合いながら元気な地域づくり事業に取り組み、数多くの事業を市と地域で協働企画することで、地域の活性化につながった。(まちづくり推進課、各支所地域振興課)</p>	各課等 ※とりまとめ まちづくり推進課 各支所地域振興課
		<p>自治会等の組織づくり</p> <p>人口減少に備えた地域運営をするために、自治会等の再編や統合を支援します。</p>	<p>・ 人口減少に備えた地域運営をするために、自治会活動の支援するとともに、自治会等の再編や統合についても相談に応じるなど支援します。(まちづくり推進課)</p>	<p>・ 自治会活動に関する多様な相談に応じた。(まちづくり推進課、各支所地域振興課)</p>	<p>・ 自治会等の多様な相談に応じることで、地域の活力の創出につながった。(まちづくり推進課)</p>	まちづくり推進課
		<p>地域協働体の運営支援</p> <p>人口減少に備えた地域運営をするために、地域協働体の再編や統合を含めて支援します。</p>	<p>・ 地域づくり計画に基づく活動への支援協力(まちづくり推進課、各支所地域振興課)</p> <p>・ 地域づくり計画見直しにかかる支援協力(まちづくり推進課、各支所地域振興課)</p> <p>・ 市職員、地域協働体、市民活動センター3者で構成するチーム会議による支援協力(まちづくり推進課、各支所地域振興課)</p> <p>・ 地域協働体未設置の狐禅寺地区については、動向を把握しながら組織づくりについて支援を継続(まちづくり推進課)</p> <p>・ 隔月で地域連携会議を開催(千厩支所地域振興課)</p>	<p>・ 地域づくり計画に基づく活動への支援協力(まちづくり推進課、各支所地域振興課)</p> <p>・ 市職員、地域協働体、市民活動センター3者で構成するチーム会議による支援協力(まちづくり推進課、いきがいつくり課、各支所地域振興課)</p> <p>・ 地域協働体未設置の狐禅寺地区については、動向を把握しながら組織づくりについて支援を行った(まちづくり推進課)</p>	<p>・ 毎月実施の地域連携会議(千厩 4月～1月 10回)やチーム会議により、各地域協働体と市との情報共有と意見交換を行い、連携しながら事業を進めることができた。(まちづくり推進課、各支所地域振興課)</p> <p>・ 狐禅寺地区の動向を注視し、支援を継続する。(まちづくり推進課)</p>	まちづくり推進課 各支所地域振興課

令和5年度に協働で取り組んだ事業等の実施状況と評価

協働のための仕組みづくり

小節	基本方針	内容	令和5年度		協働で取り組んだ事業の評価	担当課等
			計画	(R6.3.31現在)実績		
市民センターの管理運営等		市民センターを、地域住民の活動の拠点とします。	<ul style="list-style-type: none"> 市民センターは地域住民の学びの場としての機能に加えて、地域が主体となって地域課題の解決に向けた取組を進められるよう、地域づくりの活動拠点としての機能の充実を図る。(いきがいつくり課、各支所地域振興課) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民の学びの場としての機能に加えて、地域が主体となって地域課題の解決に向けた取組を進められるよう、地域づくりの活動拠点としての機能の充実を図った。(いきがいつくり課、各支所地域振興課) 	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習等の学びと地域づくりを一体的に行う体制により、より地域が使いやすく、多様な活動ができる施設として運営された。(いきがいつくり課、各支所地域振興課) 	まちづくり推進課 いきがいつくり課 各支所地域振興課 各市民センター
		地域協働体は、市民センターの管理運営を担うと共に協働のまちづくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> 地域協働体が市民センターの管理運営を行うことは、市民主体の地域づくり活動を促進するうえでより効果的であることから、段階的・年次計画的に地域管理を進める。 指定管理へ移行に向けた地域協働体との協議の実施 市民センターの指定管理の状況 <ul style="list-style-type: none"> 一関 10施設 花泉 7施設 大東 3施設 千厩 4施設 東山 3施設 室根 1施設 川崎 1施設 藤沢 1施設 	<ul style="list-style-type: none"> 地域協働体が市民センターの管理運営を行うことは、市民主体の地域づくり活動を促進するうえでより効果的であることから、段階的・年次計画的に地域管理を進める。 指定管理5年を経過する涌津・花泉・老松・日形・猿沢の市民センターについて、地域協働体との指定管理を更新した。(いきがいつくり課) 市民センターの指定管理状況 <ul style="list-style-type: none"> 一関 10施設 花泉 7施設 大東 3施設 千厩 4施設 東山 3施設 室根 1施設 川崎 1施設 藤沢 1施設 指定管理化に向け支援(一関1施設、大東3施設) 	<ul style="list-style-type: none"> 市民センター34施設のうち30施設(令和5年度まで)が指定管理に移行した。 5施設について、指定管理5年間を経て更新した。(いきがいつくり課) 	まちづくり推進課 いきがいつくり課 各支所地域振興課 各市民センター
		行政は、施設管理に必要な費用を負担し、協働のまちづくりに必要な費用を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> 市民センターの施設管理に必要な費用を負担し、協働のまちづくりを支援する。(30施設)(いきがいつくり課、支所地域振興課) 	<ul style="list-style-type: none"> 市民センターの施設管理に必要な費用を負担し、協働のまちづくりを支援した。(30施設)(いきがいつくり課、支所地域振興課) 	<ul style="list-style-type: none"> 施設管理に必要な費用を負担し、協働のまちづくりを支援した。(いきがいつくり課) 	まちづくり推進課 いきがいつくり課 各支所地域振興課 各市民センター

令和6年度に協働で取り組む事業等の実施計画

協働のための人づくり

小節	基本方針	内容		令和6年度	担当課等
				計画	
1 市民意識の啓発	1-① 地域の課題や将来像をお互いに共有し、役割を分担して取り組む、協働のまちづくりに関する総合的な情報提供を行います。 1-② 「自らがまちづくりの担い手である」という意識を高め、市民一人ひとりのまちづくりへの自発的な関わりを促進します。	研修会の開催	協働推進に関する研修会を開催します。	・協働体職員等を対象とした協働推進に関する研修会を開催する。(まちづくり推進課、地域振興課)	まちづくり推進課 各支所地域振興課
		広報紙等の活用	広報「いちのせき」で協働の取組などを掲載します。	・輪っしよいを広報誌内で毎月コーナーとして掲載し、目に触れる機会を増やし、意識づけを行う。(広聴広報課、まちづくり推進課)	広聴広報課 まちづくり推進課 各支所地域振興課
			市民センターだより等を活用し、協働事業などをPRします。	・市民センター報や地域協働体広報、市民センターだよりなど、各市民センターごとに広報誌を発行し、市民センターの事業や地域情報に加えて協働事業、地域協働体の取組について周知する。(いきがづくり課) ・ニュースレター「アイデア」を発行する。(いちのせき市民活動センター、まちづくり推進課) ・地域情報誌「Charcas」の発行。(藤沢町住民自治協議会、藤沢支所地域振興課) ・広報コンクールの実施(藤沢町住民自治協議会、藤沢支所地域振興課)	いきがづくり課 各市民センター 藤沢支所地域振興課
		ホームページなどの活用	市ホームページ、協働のホームページでの発信に努めます。	・一関協働推進HP「輪っしよい！WEB」にて情報を発信する。(まちづくり推進課)	まちづくり推進課 いきがづくり課 各支所地域振興課
			ボランティア団体やNPO等のまちづくり情報とのリンクを進めます。	・市民活動推進事業を委託し、いちのせき市民活動センターのHPで、各市民活動団体やNPOの情報を紹介する。(まちづくり推進課)	まちづくり推進課 各支所地域振興課
図書資料等の活用	地域づくりに役立つ資料を収集、提供し、地域づくり、まちづくりを支援します。	・いちのせき市民活動センターに協働や地域づくりに関する各種資料や、NPO法人関係資料を備え、多くの情報の収集を可能にする。(いちのせき市民活動センター、まちづくり推進課) ・市民センターなどで社会教育に関する事業を行う団体の社会教育関係団体登録を推進し市ホームページに掲載する。(いきがづくり課) ・地域づくりブックリストの配布や企画展の開催、いちのせき電子図書館への郷土資料の公開、移動図書館車で市民センター等へ地域づくりに関する図書を配本、貸出を行う。(一関図書館) ・「和算家千葉胤秀」の紙芝居セットを貸し出す。(博物館)	各課等		

令和6年度に協働で取り組む事業等の実施計画

協働のための人づくり

小節	基本方針	内容	令和6年度	担当課等	
			計画		
2 地域の 人材 育成	2-① 市民組織の中心 的な役割を担う 人材を、あらゆる 機会を活用し 育成します。 2-② 市民の 誰もが学習で きるような機会 を確保、提供 し、幅広い年 代の参画につ なげます。	リーダー、サ ブリーダー等 の養成	市民組織のリーダー、サブリーダー、スタッフなどを対象とした研修会を開催します。	<ul style="list-style-type: none"> ・市民センター職員等の研修会(まちづくり推進部、各支所地域振興課) ・週イチ倶楽部サポーター養成及びフォローアップ研修会の実施(健康づくり課) ・骨寺村荘園遺跡地元ガイド講座(骨寺荘園室) ・大東町自治会等連絡協議会研修会(大東支所地域振興課) ・大原地区自公連研修会(大原市民センター) ・摺沢地区自公連研修会(摺沢市民センター) 	各課等
			リーダーなどを対象として、先進的な取組の研修視察を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・行政区長等視察研修(まちづくり推進課) 	各課等
			地域協働体を対象として、市民組織の活動を専門的な知識でマネージメントするスタッフを養成します。	<ul style="list-style-type: none"> ・いちのせき市民活動センターと連携し、地域協働体の活動における支援や、研究の機会を提供する。(まちづくり推進課) ・社会教育主事講習受講支援 計画3人 	各課等
			市民誰もが参加できる協働のまちづくり講演会やまちづくりの集いなどを開催します。	<ul style="list-style-type: none"> ・いちのせき市民活動センターと連携し、協働に関わる各種講演会や、研修の機会を提供する。(まちづくり推進課) ・地域づくりフォーラムの開催(藤沢町住民自治協議会、藤沢支所地域振興課) 	各課等
			自治会など市民組織では、次のリーダーとなる人材を育てます。	<ul style="list-style-type: none"> ・いちのせき市民活動センターと連携し、自治会の活動における支援や、研修の機会を提供します。(まちづくり推進課) ・一関市防災指導員(AID)養成講座(年6回、計18時間)の開催(防災課) 	各課等
			まちづくりスタッフバンクへの登録や、パブリックコメントにより市政への参画を促し、人材育成につなげます。	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりスタッフバンクへの登録や、パブリックコメントにより市政への参画に係る周知に努めます。(まちづくり推進課) 	各課等

令和6年度に協働で取り組む事業等の実施計画

協働のための人づくり

小節	基本方針	内容		令和6年度	担当課等
				計画	
3 市 職 員 の 意 識 高 揚	3-① 協働のまちづくりに関する共通理解を図るとともに、課題解決に必要な力を向上させるため、職員研修に取り組みます。	行動指針の徹底	協働をより具体的に推進するための職員行動指針を配布し、徹底します。	・新採用職員研修で職員行動指針を説明し、協働のまちづくりに関する共通理解を図る。(まちづくり推進課)	まちづくり推進課 各支所地域振興課
			協働のまちづくり研修会を開催します。	・全職員を対象とした協働のまちづくり研修会を実施する。(まちづくり推進課)	
	3-② 一市民としてもまちづくり活動に参画します。	研修会等の開催	「協働のまちづくり」についての派遣研修、伝講を行います。	・市町村職員中央研修所へ市職員を派遣し知識の習得を図る。(まちづくり推進課)	各課等
			協働での取組事業発表会を開催します。	・協働で取り組んだ事業の発表の場を設けることにより、取組の広がりにつなげる。(まちづくり推進課)	各課等
			コミュニケーション能力等を養う研修を行います。	・ファシリテーション研修(上級職員・新任係長)(職員課) ・接遇・コミュニケーション研修(職員課) ・通信教育(職員課)	職員課
			職員意識調査の実施	職員意識調査を実施します。	・市職員を対象に協働のまちづくり職員意識調査を実施する。(まちづくり推進課)

令和6年度に協働で取り組む事業等の実施計画

協働のための環境づくり

小節	基本方針	内容	令和6年度	担当課等	
			計画		
1 協働の主体の充実	1-① 協働の主体となる持続可能な組織に向けて、若者など幅広い年代が参画しやすい仕組みづくりを進めます。 1-② 市内の各地域や民間事業者(企業)などの様々な主体との交流や連携を進め、多様な人材が参画するまちづくりを促進します。	自治会等地縁型組織の体制の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域協働体及び協働体連絡組織における会議等への職員の参加(まちづくり推進課、各支所地域振興課) ・職員研修への参加(まちづくり推進課、各支所地域振興課) ・職員、地域協働体、市民活動センター3者によるチーム会議の開催(まちづくり推進課、各支所地域振興課) ・地域協働体連絡会議及び地域協働体事務局職員会議の開催(大東支所地域振興課) ・山吹城址の早期草刈作業の実施(大原自治公民館等連合会、大東支所地域振興課) 	各課等	
			男女共同参画に配慮します。	<ul style="list-style-type: none"> ・各委員の選出や懇談会等の会議の出席者の案内に際し、男女共同参画に配慮する。(各課) 	各課等
		地域協働体の運営の充実	人口減少社会に備え、地域協働体による市民センター単位の広域地域づくりを充実させます。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員、地域協働体、市民活動センター3者によるチーム会議の開催(まちづくり推進課、各支所地域振興課) 	各課等
		交流の場の充実	幅広い年代が参画しやすい環境づくりに取り組みます。	幅広い年代が参画しやすい環境づくりに取り組みます。	地域協働体
		企業の地域活動への参加等	企業市民として公共的、公益的な活動への参加を促進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・美化活動の実施 一斉清掃(春・秋)、きれいなまちをめざし隊の実施(生活環境課・各支所市民福祉課) ・一関東工業団地企業連絡協議会「春・秋の一斉清掃」への参加(工業振興課) 	各課等

令和6年度に協働で取り組む事業等の実施計画

協働のための環境づくり

小節	基本方針	内容		令和6年度	担当課等
				計画	
		市民ニーズの把握と施策への反映	情報の提供、共有により市民ニーズの把握に努め、施策に反映します。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域協働体・市民センター合同連絡調整会議のほか、市との意見交換会を実施する。(まちづくり推進課・いきがづくり課) ・市民センターへの随時訪問の実施(まちづくり推進課・いきがづくり課) ・各地域協働体の会議へ出席(まちづくり推進課、いきがづくり課、支所地域振興課) ・職員、地域協働体、市民活動センター3者によるチーム会議による支援協力(まちづくり推進課、各支所地域振興課) ・市民センターを活動拠点とする地域協働体と合同連絡会議や訪問を通じて意見交換を行う。(いきがづくり課) ・協働のまちづくり会議開催(藤沢町住民自治協議会、藤沢支所地域振興課) 	各課等
				新たな市民ニーズに対応した行政サービスの提供に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・元気な地域づくり事業など、協働で取り組む事業の実施により、市民ニーズに沿った事業の展開を図る。(まちづくり推進課)
2 協働を進めるための場づくり	2-① 自治会等の集会施設整備に努めます。	活動拠点の整備充実	自治会の活動の拠点となる集会施設を整備充実します。	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会等活動費総合補助金により、集会施設の改修等を希望する自治会に対して補助金を交付する。(まちづくり推進課、地域振興課) 	まちづくり推進課 各支所地域振興課
	2-② 地域協働体が地域の円卓会議の役割を担い、活発な意見交換ができるよう推進します。		市民の学習支援、情報提供の拠点となる施設を整備充実します。	<ul style="list-style-type: none"> ・各年度に予算を確保し、各施設の修繕、改修工事を実施し市民活動に利用する市の施設の整備充実を図る。(いきがづくり課) 【川崎地域】 川崎市民センター照明LED化改修 川崎市民センター誘導灯更新 【大東地域】 摺沢市民センター <ul style="list-style-type: none"> ・大東コミュニティセンター電動式移動観覧席改修工事 ・猿沢市民センター ・大東農村環境改善センター空調設備整備工事 ・大東農村環境改善センター地下タンク廃止 ・渋民市民センター ・渋民市民センター屋根改修工事 ・曾慶市民センター ・大東曾慶地区センター照明LED化改修 	各課等
	地域活動に参加する機会の提供		地域活動に参加する機会づくりを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域協働体が担う円卓会議の役割を活かし、その中で活発な意見交換を行いながら、地域活動に参加する機会を多く提供できるよう努める。(各地域協働体、各市民センター) 	各課等 地域協働体

小節	基本方針	内容		令和6年度	担当課等
				計画	
1 情報の共有と意見の反映	1-① 行政情報を可能な限りわかりやすく各種媒体を活用して提供に努めるとともに、市民の意見や提言について施策等への反映に努めます。 1-② 市民と行政は、意見交換の機会確保に努め、幅広い年代の市民同士での情報提供、意見交換に努めます。	電子メール等による意見集約	パソコン、携帯電話の電子メールでの市民の意見等の集約を行います。	・ホームページの問い合わせフォームを改良し、担当課に直接つなぐ仕組みの検討を続ける。(広聴広報課) ・一関駅東口工場跡地に関する専用コメントフォームによる意見集約を実施する。(プロジェクト推進室)	広聴広報課 秘書課
			モニター制度などで意見等の集約を行います。	・市公報モニターからの意見のほか、常時開設する広報誌等に対する意見フォームを検討する。(広聴広報課)	広聴広報課
		ワークショップ等の開催とメンバー公募	市民が参画する市の各種計画づくりにあつては、ワークショップ等を開催します。	・各種計画策定時において、市民の参画によるワークショップの手法による情報の提供、共有の機会をつくり、多くの市民ニーズの把握ができるよう努める。(まちづくり推進課)	各課等
			ワークショップは、公募などのメンバーで構成し、幅広い意見の集約に努めます。	・一般公募や団体推薦を組み合わせ、多様な観点から多くの市民意見をいただく。(プロジェクト推進室) ・まちづくりスタッフバンクの活用が進むよう人材の発掘にも取り組む。(まちづくり推進課) ・一関地区かわまちづくり協議会委員18名のうち1名をまちづくりスタッフバンクから選任(継続)し協議会を2回/年開催予定(建設部都市整備課) ・大東みらいづくり協議会各種会議を定期的(実施時期は調整)に開催予定(大東支所産業建設課)	各課等
各種審議会委員の公募等	市の各種審議会委員は、法令で定めのない限り公募や地域代表等の委員で構成します。	・各種審議会委員の選任時においては、地域や各分野からの推薦や、公募によるメンバーの選任が行われるよう、仕組みの継続に取り組む。(まちづくり推進課) ・一関市地域福祉計画推進会議の委員に公募による委員(2名)を委嘱する。 ・環境審議会委員13名のうち3名をまちづくりスタッフバンクから選任(継続)(生活環境課) ・都市計画審議会委員15名のうち1名をまちづくりスタッフバンクから選任(継続)(建設部都市整備課) ・景観審議会委員15名のうち2名をまちづくりスタッフバンクから選任(継続)(建設部都市整備課) ・藤沢情報通信センター放送番組審議会委員を、藤沢町住民自治協議会からの推薦で選定する。(藤沢支所地域振興課)	各課等		
パブリックコメントの実施	市の各種計画等の策定にあたっては、市民の意見を反映するため、パブリックコメントを実施します。	・各種計画策定時において、広く市民の意見を伺うパブリックコメントが実施されるよう、仕組みの継続に取り組む。(まちづくり推進課)	各課等		

令和6年度に協働で取り組む事業等の実施計画

協働のための仕組みづくり

小節	基本方針	内容		令和6年度	担当課等
				計画	
		個別施策に係る地域説明会の実施	市の個別施策について、市民との共通理解、意見交換等のため、地域説明会を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業に取り組む際、地域説明会、住民懇談会などを開催し、共通理解と十分な意見交換のもとに進められるよう、仕組みの継続に取り組む。(まちづくり推進課) ・先導的取り組みによる施設保有の見直しに係る関係団体等との懇談会の実施(スポーツ振興課) ・先導的取り組みによる施設保有の見直しに係る室根地域各地区会館等の譲渡について、必要に応じて意見交換会等を開催。(室根支所地域振興課) 	各課等
		まちづくり懇談会の開催	市民や市民組織の関係者などが一堂に集い、まちづくりについて話し合うまちづくり懇談会を開催します。	<ul style="list-style-type: none"> ・全地域でまちづくり懇談会を開催する。(広聴広報課、まちづくり推進課) ・協働のまちづくり会議開催(藤沢町住民自治協議会、藤沢支所地域振興課) 	各課等
		市民組織による地域課題の集約、要望取りまとめ	組織的に地域課題を集約し、解決策を考えます。	<ul style="list-style-type: none"> ・全地域でまちづくり懇談会を開催する。(広聴広報課、まちづくり推進課) ・移動市長室の実施(秘書課、まちづくり推進課、支所地域振興課) 	各課等
			行政に対し要望等を行う場合は、意見集約の方法、経過を加えて具体的に提案します。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域協働体が意見集約した地域課題解決のための提言、要望としてとりまとめ、提出する取組を継続する。(各地域協働体) 	各課等 各地域協働体

小節	基本方針	内容	令和6年度		
			計画	担当課等	
2 行政等の支援策	2-① 市民組織が行う公共的、公益的活動について、行政等は人、物、お金の支援を行います。	補助金等	自治会等の活動や地域づくり活動に対して、補助金等を交付します。	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会等活動費総合補助金、地域おこし事業費補助金、地域づくり交付金の交付(まちづくり推進課) ・生活環境の向上を図るため、自治会や行政区などの団体が主体となって行う、生活道路(私道)の整備に要する経費の一部を補助(道路管理課) 	まちづくり推進課 各支所地域振興課
				<ul style="list-style-type: none"> ・防犯灯設置等補助金(生活環境課・支所市民福祉課) ・資源リサイクル事業費(生活環境課・支所市民福祉課) 	生活環境課
				<ul style="list-style-type: none"> ・商店街にぎわい創出事業補助金(商政・労政課) ・商店街街路灯電気料補助(商政・労政課) ・商店街街路灯修繕等補助(商政・労政課) ・商店街低炭素街路灯導入促進補助(商政・労政課) 	商政・労政課
				<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織結成報奨金(2万円上限) ・自主防災組織活動助成金(15万円上限)(防災課) 	消防本部防災課
				<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の採択における優遇措置につながる「元気なコミュニティ特選団体」の推薦(まちづくり推進課、各支所地域振興課) ・コミュニティ助成事業補助金の情報提供、並びに交付(まちづくり推進課、各支所地域振興課) 	まちづくり推進課 各支所地域振興課
				<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりアドバイザーの指導助言を受ける講師等派遣費用の助成金の活用を奨励します。 	まちづくり推進課 各支所地域振興課
		各種財団のまちづくり助成金情報を提供します。	<ul style="list-style-type: none"> ・随時情報提供を実施(まちづくり推進課、各支所地域振興課) 	まちづくり推進課 各支所地域振興課	

小節	基本方針	内容	令和6年度	担当課等
			計画	
		市職員の派遣等	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体の要請に応じその都度職員を派遣して説明や情報提供を行い、行政内部でも情報共有を図る。(まちづくり推進課) ・週イチ倶楽部応援事業に保健師等を派遣(健康づくり課、東部・北部健康推進室) ・市民団体への講師派遣の実施(博物館) ・団体等が行うスポーツ関連事業にスポーツ推進委員を派遣し、ニュースポーツ等の実技指導を実施。(スポーツ振興課) ・消費生活出前講座講師派遣(生活環境課) ・老人クラブ、自治会等への交通指導員派遣(生活環境課) ・ごみ分別説明会への職員派遣(生活環境課・支所市民福祉課) ・空き家セミナーへの職員派遣(生活環境課) ・鳥獣被害対策について、地域ぐるみで捕獲の補助活動を行う集落に対して講師を派遣する。(林政推進課) ・市民団体への講師派遣の実施(芦東山記念館、一関市民俗資料館) ・大東高校大東支所出前講座講師派遣(大東支所産業建設課) ・地区担当職員を指名し、地区懇談会等がある場合に地区の課題把握に努める(藤沢支所地域振興課) 	各課等
		共催事業など協働事業の形態に応じて、支援する職員を派遣します。	<ul style="list-style-type: none"> ・共催で取り組む事業においても、職員の派遣を行い、各種団体との協働による事業展開に結びつける。(まちづくり推進課) ・小中学校での「ことばの先人」出前講座の実施(博物館) ・学校・市民センター事業への講師派遣(博物館) 	各課等
		自治会等の地域の市民組織を支援するため、職員が自主的に参画する機運を醸成します。	<ul style="list-style-type: none"> ・協働推進職員行動指針の周知で市職員の協働に対する意識付けを継続し、職員の自発的な市民組織への参画につなげる。(まちづくり推進課) 	まちづくり推進課 各支所地域振興課
		ファシリテーター、サポーター等の派遣	<ul style="list-style-type: none"> ・いちのせき市民活動センターの話し合い支援業務(ファシリテーター等の派遣)を依頼できる仕組みを継続(まちづくり推進課) 	まちづくり推進課 各支所地域振興課

令和6年度に協働で取り組む事業等の実施計画

協働のための仕組みづくり

小節	基本方針	内容		令和6年度	担当課等
				計画	
		資材等の供給	道路整備などを地域で行う場合、資材等の供給を行います。	・行政区や地域組織などからの「原材料支給」の要望により支給対応を行い、それぞれの取組を支援(道路管理課)	各課等
3	3-① いちのせき市民活動センターなどを中間支援組織として位置付け、行政との役割分担を行い、組織相互の連携促進と市民組織の活動を支援します。	市民活動センター等による支援	市民組織に対し、自主活動や地域おこし事業等の中間支援を行います。	・いちのせき市民活動センターの中間支援業務を依頼できる仕組みを継続(まちづくり推進課)	まちづくり推進課 各支所地域振興課
			市民活動の先導を担い、協働のまちづくりの支援をする市民活動センターの事業を充実します。	・市民活動推進事業を委託し、市民活動団体からの相談受付及び支援、ファンリレーター、サポーター等を派遣、市民活動講座の開催、情報発信などの各事業を実施する。(まちづくり推進課)	
4	4-① 協働による事業形態は、相乗効果が最も見込まれるものを選択して、その機能が十分に生かされるよう努めます。	共催	主催者の一員として、単に経済的な役割分担に止まらず、人的な役割分担も担いながら、円滑な事業の実施に努めることにより、信頼関係の構築に結びつけます。	<ul style="list-style-type: none"> ・共催で取り組む事業においても、職員も共に役割を担いながら円滑な事業の実施に努め、各種団体との協働による事業展開に結びつける。(まちづくり推進課) ・JR東日本、一関機関区OB会と連携し、SL清掃イベントを実施(一関図書館) ・市民団体が開催するがん撲滅に向けたチャリティーイベント(リレー・フォー・ライフ)に実行委員として参加。(健康づくり課) ・6月と10月に、巖美をきれいにする会と共催し、巖美公園清掃活動を実施(建設部都市整備課) 	各課等

小節	基本方針	内容		令和6年度	担当課等
				計画	
		後援	広報周知など後援団体として可能な支援に自発的に取り組むことにより、事業の成功と社会的信頼の確保に結びつけます。	・広報の活用や掲示物による周知など、後援団体として可能な支援を考え取り組むことにより、事業の成功に結びつける。(まちづくり推進課)	各課等
		実行委員会	より多くの協働の主体が結集し、これまで実施できなかった事業の実現に結びつけます。	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会形式では、さまざまな主体で構成する形で、多様な意見を反映することができることから、職員も共に役割を担いながら円滑な事業の実施に努め、各種団体との協働による事業展開に結びつける。(まちづくり推進課) ・一関夏まつり実行委員会(観光物産課) ・一関・平泉バルーンフェスティバル実行委員会(観光物産課) ・一関の物産と観光展実行委員会(観光物産課) ・一関の物産と観光展実行委員会一関地域プロジェクト委員会(観光物産課) ・来て・見て・発見一関おもしろ館実行委員会(観光物産課) ・全国地ビールフェスティバル一関実行委員会(観光物産課) ・一関地方物産振興協会(観光物産課) ・全国もちフェスティバル実行委員会(観光物産課) ・須川山岳遭難対策委員会(観光物産課) ・いちのせき産業まつり実行委員会(商政・労政課)→農政推進課は含めなくてよいか？ ・磐井河原いものこ会実行委員会(生産流通) ○藤沢地域 ・藤沢野焼祭実行委員会(藤沢支所産業建設課) ○千厩地域 ・夏まつり実行委員会(産業建設課) ○大東地域 ・大東フェスティバル実行委員会(大東支所産業建設課) 	各課等

小節	基本方針	内容		令和6年度	担当課等
				計画	
		委託	いわゆる「丸投げ」とならないよう協働の主体としての責任を果たしながら委託することにより、効率的できめ細やかなサービスの提供に結びつけます。	・業務を委託する中でも確認をおこない、協働の主体としての責任を果たしながら進めることにより、効率的できめ細やかなサービスの提供に結びつける。(まちづくり推進課)	各課等
		補助	単なる財政援助を目的とせず、補助事業であるからこそ実施可能な事業内容とすることにより、大きな成果の達成に結びつけます。	・自治会等活動費総合補助金、地域おこし事業費補助金、地域づくり交付金の交付(まちづくり推進課、各支所地域振興課)	まちづくり推進課 各支所地域振興課
		協定、アドプト	協定の相手方となる協働の主体が能動的に取り組むことができる約束を取り交わすことにより、確実な事業の実施に結びつけます。 アドプト制度では、道路や公園などの公共材を地域資源と捉えて、親身になって育てることにより、長期的な取組に結びつけます。	・アドプト協定による資材の供給(生活環境課)	各課等
		情報提供、意見交換	情報提供は、誰に伝えたいのか対象を的確に捉えて行き、意見交換は、相手の考えを否定する発言よりも、改善提案となるよう努めることにより、建設的で中身の濃いものに結びつけます。	・情報発信においては、常にその精度の向上を意識して行き、的確な情報提供に努め、意見交換においても傾聴で相手の考えを聞きながら中身の濃い意見を交わすことができるよう職員研修での学びを活かす。(まちづくり推進課) ・報道機関へのプレスリリース、市フェイスブック、一関ケーブルテレビ、FMあすもなどを活用し、補助金や事業に関する情報提供(生活環境課)	各課等
		政策提言	個人的な考えよりも、むしろ地域で集約された考えや具体的な代替案を示すことにより、多くの市民の共感を呼ぶことに結びつけます。	・地域協働体との話し合いなど、地域に入り数多くの意見交換を行い、話し合いの継続により地域住民の共感を得ながら進める。(まちづくり推進課)	各課等

小節	基本方針	内容		令和6年度	担当課等
				計画	
5 地域協働の仕組みづくり	5-① 地域協働体を中心とした市民主体の地域協働の仕組みづくりを促進し、地域の活性化を図ります。	元気な地域づくり	地域ごとに、市民と市職員がアイデアを出し合い、協働で取り組みます。	・いちのせき元気な地域づくり事業を実施(まちづくり推進課、各支所地域振興課) 一関 事業 花泉 事業 大東 事業 千厩 事業 東山 9事業 室根 5事業 川崎 4事業 藤沢 事業	各課等 ※とりまとめ まちづくり推進課 各支所地域振興課
				5-② 市民センターを地域づくりの拠点として位置付け、地域の活力の創出につなげます。	
	地域協働体の組織づくり	地域協働体による市民主体の地域づくりをより一層進めます。	・地域協働体が未設立の狐禅寺地区については、動向を把握しながら組織づくりについて支援を継続する。(まちづくり推進課)		
	地域協働体の運営支援	人口減少に備えた地域運営をするために、地域協働体の再編や統合を含めて支援します。	・地域づくり計画に基づく活動への支援協力(まちづくり推進課、各支所地域振興課) ・地域づくり計画見直しにかかる支援協力(まちづくり推進課、各支所地域振興課) ・市職員、地域協働体、市民活動センター3者で構成するチーム会議による支援協力(まちづくり推進課、各支所地域振興課)	まちづくり推進課 各支所地域振興課	
	市民センターの管理運営等	市民センターを、地域住民の活動の拠点とします。	・市民センター34施設の指定管理を推進する。 ・指定管理5年を経過する弥栄・油島・金沢・松川の市民センターと、3年を経過する山谷分館・達古袋分館・市野々分館について、地域協働体との指定管理を更新する。(いきがいづくり課)	まちづくり推進課 いきがいづくり課 各支所地域振興課 各市民センター	
		地域協働体は、市民センターの管理運営を担うと共に協働のまちづくりを推進します。	・地域協働体が市民センターの管理運営を行うことは、市民主体の地域づくり活動を促進するうえでより効果的であることから、段階的・年次計画的に地域管理を進める。 ・指定管理へ移行に向けた地域協働体との協議の実施 ・市民センターの指定管理の状況 一関 10施設 花泉 7施設 大東 5施設 千厩 4施設 東山 3施設 室根 1施設 川崎 1施設 藤沢 1施設	まちづくり推進課 いきがいづくり課 各支所地域振興課 各市民センター	
	行政は、施設管理に必要な費用を負担し、協働のまちづくりに必要な費用を支援します。	・市民センターの施設管理に必要な費用を負担し、協働のまちづくりを支援する。(いきがいづくり課)	いきがいづくり課 各支所地域振興課 各市民センター		

令和5年度元気な地域づくり事業の実施事業評価の報告について

1 事業の目的

地域住民と行政が相互に協力し、それぞれの創意工夫により事業を展開することにより、自立に向けた活力ある地域づくりを進め、かつ、地域特性を活かした特色ある地域づくりを推進する。

2 事業の実施状況

	予算額 (千円)	決算額 (円)	執行率 (%)	実施事業数(件)				中止 事業数 (件)	
				新規		継続			
				当初	追加	当初	追加		
一関	4,900	4,612,779	94.1	9	3	0	6	0	1
花泉	3,100	3,048,665	98.3	7	4	1	2	0	0
大東	3,100	2,659,600	85.8	12	4	2	6	0	1
千厩	3,100	2,167,422	69.9	6	1	1	4	0	1
東山	2,650	2,508,791	94.7	9	1	2	6	0	0
室根	2,650	2,620,287	98.9	8	2	1	5	0	1
川崎	2,650	2,065,155	77.9	8	3	0	5	0	0
藤沢	2,650	2,390,971	90.2	6	2	0	4	0	0
計	24,800	22,073,670	89.0	65	20	7	38	0	4

【参考】令和5年度地域おこし事業(元気な地域づくり事業)実施要領第6

本事業については、事業完了後、協働の相手となった地域住民等と評価を行うとともに、毎年度、地域ごとに地域懇談組織に評価を求め、その内容を翌年度の第1回一関市協働推進会議において報告する。

令和5年度元気な地域づくり事業 事業実績一覧

地域	No.	事業名 (担当課名)	区分	事業の状況	当初 事業費 (千円)	補正額 (千円)	決算額 (円)	【事業の目的】	実施場所	市民スタッフ人 員、関係団体等	延べ 参加者数	担当課自己評価・課題、問題
								【事業の概要】				地域懇談会における評価・意見等
一関 10事業 継6 新4	1	デジタルデータ活用促進事業 (担当課：まちづくり推進課)	継続 6	実施	300	0	299,200	【事業の目的】 各地方自治体が公開しているオープンデータをはじめとするデジタルデータやデジタルマップを活用し、地域課題の解決に寄与する。 アプリ開発や年間のイベント開催を伴う一般参加型コンテスト「アーバンデータチャレンジ」に参加し、他の地域拠点の取組から課題解決のヒント学ぶとともに、ワークショップ等を通じて、デジタルデータを活用した地域課題の解決の方法を検討し実践する。 【事業の概要】 ・キックオフ・イベント 7月14日(金) ・中間シンポジウム 11月11日(土) ・拠点ネットワーク会議 11月12日(日) ・ファイナル(最終報告・審査会) 3月9日(土) ・一関拠点イベント(真柴、滝沢、舞川市民センターほか) 6月23日(金)、7月7日(金)、10月8日(日)、15日(日)、12月5日(火)、13日(水) 拠点イベントの内容：インターネット上の既存のサービス(マップ)では見られない部分を、デジタルマップを活用して可視化し、ウォーキングなどの事業に活用した。	真柴、滝沢、舞川市民センター ほか	UDC一関拠点連絡会議メンバー ※開発技術研究所、一関高専など	約60人	(担当課自己評価・課題) ・デジタルデータを活用した取組を行うことで、オープンデータやデジタルマップが身近なものとして認知され、新たな取組の可能性が高まった。 ・取り組む地域が限定されていることから、今後の活動の周知とデジタルマップ活用の拡大を図っていく必要がある。 (地域懇談会評価・意見) ・マップを作るのが目的化してしまっていて、そこから先に進んでいないことが課題と感じる。オープンデータを活用して状況を分析し、そこから課題解決につながるような取組が必要ではないか。
	2	ウィンタースポーツを体験しよう (担当課：スポーツ振興課)	新規	中止	452	-360	69,300	【事業の目的】 当市出身の岩淵麗奈選手が、スノーボード競技でオリンピック2大会連続入賞、ワールドカップ優勝など輝かしい成績を収めており、市民のウィンタースポーツへの関心も高まっている。 当市には祭時スノーランドがあることから、これを活かし子どもたちがウィンタースポーツを体験する機会を創出し、競技人口の増加につなげるとともに施設の活用促進を図る。 ※積雪不足により開催中止となったが、準備に要した経費を支出した。				(担当課自己評価・課題) ・積雪不足を想定していなかったため、延期の対応ができず、市民の需要に応えることができなかった。 ・市内の小学3年生から6年生への募集チラシの配付により、祭時スノーランドの周知やウィンタースポーツへの関心を持ってもらうことができた。 (地域懇談会評価・意見) ・ウィンタースポーツへの入り口を準備する意味で大切な事業だとは思いますが、天候に左右され、チラシを作成して終了ではもったいないと感じる。例えば、夏場でも練習できるような環境づくりを考えることも、トップ選手を増やすことにつながるのではないか。
	3	郷土文化・地域間交流推進事業 (担当課：交流推進課)	新規	実施	527	0	527,000	【事業の目的】 福島県三春町との姉妹都市提携35周年目の年に、若い世代が一関藩田村家の歴史を学び、一関夏まつり・太鼓巡行に参加することで、郷土に対する愛着を芽生えさせるきっかけとするとともに、ゆかりのある三春町・岩沼市と交流しながら、地域文化の継承、まちづくりを担う次世代の人材の発掘、創出につなげる。 【事業の概要】 ①姉妹都市三春町旅さんぽ 実施日 6月3日(土) 内 容 ・三春町・岩沼市・一関市の3市町の歴史や観光情報のプレゼン「わがまち万歳PR」 対象者 小中学生及び保護者 ②二代目時の太鼓大巡行の参加(いちのせき夏まつり) 実施日 8月5日(土) 内 容 ・「三春町旅さんぽ」に参加した子どもが引手として参加 ・歴史的ゆかりの深い三春町・岩沼市から各青年会議所メンバーを引手として招待 ・プロジェクションマッピング等による時の太鼓PR 対象者 小中学生及び一般市民	①福島県三春町 ②一関市内	一関市、一関青年会議所、市内小中学生、福島県三春町、時の太鼓顕彰会、田村青年会議所、あぶくま青年会議所ほか	①約90人 ②約90人	(担当課自己評価・課題) ・若い世代に対して、姉妹都市三春町との歴史的なつながりを学び体験し、一関の歴史や文化に高い関心を持ってもらえる取組であったと感じている。若い世代や市民が姉妹都市・交流都市との交流を通じ学んだ地域の文化や歴史を家族や友人に伝えることで、一関市の歴史や文化が継承できるものと期待している。 (地域懇談会評価・意見) ・特になし

令和5年度元気な地域づくり事業 事業実績一覧

地域	No.	事業名 (担当課名)	区分	事業の状況	当初 事業費 (千円)	補正額 (千円)	決算額 (円)	【事業の目的】	実施場所	市民スタッフ人 員、関係団体等	延べ 参加者数	担当課自己評価・課題、問題
								【事業の概要】				地域懇談会における評価・意見等
	4	KMY(狐禅寺・みんなして・やっべし)プロジェクト (担当課: 狐禅寺市民センター)	継続 3	実施	605	-63	383,800	<p>【事業の目的】 KMYプロジェクト事業の実施により、狐禅寺地区の活力ある地域づくりを進める。</p> <p>【事業の概要】 (1)未来図会議部会 ①市民センターまつりへの出展、ジャンボカルタ制作 実施日 11月11日(土)、12日(日) 内 容 ・市民センターまつりに出展し事業紹介を行ったほか、冬の行事で使用使用するジャンボカルタの読み札の募集と綿菓子づくり体験を実施した。 ・部会員が考えた読み札と応募のあった読み札に合わせたジャンボカルタを制作した。 ②子ども自治会(ワークショップ)、わくわく子ども会「冬休みお楽しみ会」 実施日 8月3日(木)、11月18日(土)、1月6日(土) 内 容 ・真滝2区~6区の児童が、軽食をとりながらワークショップを開催した。 ・子ども達自らが、会の名称や行事の内容などを話し合って決定した。 ・わくわく子ども会「冬休みお楽しみ会」を開催した。</p> <p>(2)リバースクール狐禅寺部会 ①川遊びまつりin滝沢川 実施日 7月29日(土) 内 容 川下り、水生生物の観察、イワナのつかみ取り、イワナ塩焼き ②サケの稚魚放流in滝沢川 実施日 3月16日(土) 内 容 ・砂鉄川鮭増殖協会から譲り受けた受精卵(約300個)を市民センターで孵化・飼育し、稚魚(約3,000匹)とともに滝沢川に放流した。</p>	狐禅寺市民センター、滝沢川	KMYプロジェクト実行委員会委員、行政区長ほか	377人	<p>(担当課自己評価・課題) ・行政区を越えた子ども会の設置と行事の実施は、今後の狐禅寺地区の地域づくりを進めるきっかけとなった。 ・地域内を流れる滝沢川を活用し、川下りやサケの稚魚放流を行うことで、自然環境保護と地区への愛着心を育てることができた。</p> <p>(地域懇談会評価・意見) ・特になし</p>
	5	一ノ関駅前商店街 ミニ七夕飾り製作展示事業 (担当課: 観光物産課)	継続 4	実施	565	0	565,000	<p>【事業の目的】 市民協力のもとミニ七夕を製作し、期間中大町商店街の街路灯や店舗の軒先などに展示することで、一関の夏の風物詩である「七夕飾り」としての文化伝統を継承し、加えて新型コロナウイルス感染症の影響により活気が薄れている商店街の回復と活性化や市民の元気向上を図る。 また、3日間開催である一関夏まつりとは異なり2か月程度の長期間にわたって展示することで、一関夏まつりの七夕まつりとともに商店街を彩り、期間内に分散した来訪者の誘致を見込む。</p> <p>【事業の概要】 製作期間 6月下旬~ 展示期間 7月14日(金)~8月31日(木) (49日間) 対象者 一関市民、市外在住者 参加団体 22団体</p>	一関市大町地内ほか	一関商工会議所、(一社)一関青年会議所、一関銀座会ほか	不特定 (制限なし)	<p>(担当課自己評価・課題) ・夏まつりの七夕飾りとともに商店街を彩り、商店街の賑わいづくりに貢献した。また、一関の夏の風物詩として古い歴史のある「七夕飾り」の伝統文化の継承にもつながっており、市民意識が醸成され、地域づくりの推進に寄与している。</p> <p>(地域懇談会評価・意見) ・夏まつりだけではなく、夏の商店街の賑わいの創出、魅力の向上に寄与していただいた。</p>
	6	いちのせき雪上楽園2024 in真湯温泉 (担当課: 観光物産課)	継続 2	実施	1,152	377	1,529,000	<p>【事業の目的】 真湯・祭時地区の観光資源である雪を活用し、冬の閑散期対策の解決を図る。</p> <p>【事業の概要】 冬の遊び場 (特大スノースライダー、雪の迷路、フリースペース)の設営・運営 開催期間 1月20日(土)~2月12日(月・祝)の土日祝日(9日間) ※開催予定期間は1月6日(土)~2月25日(日)の土日祝日(19日間) ※19日間で10日間は積雪不足により開催中止となった。 対象者 市内外の親子連れ、祖父母ほか 参加者数 887人(0~2歳:53人 3歳以上:834人) その他 入場料 おひとり様800円(ただし、2歳までは無料) 入場特典 真湯温泉センター入浴半額券付き</p>	一関市真湯温泉センター ジャブジャブ広場	(一社)一関ネイチャーセンター、NPO法人須川の自然を考える会、一関温泉郷協議会、(一社)世界遺産平泉・一関DMO、ITO CREATIVE	887人	<p>(担当課自己評価・課題) ・真湯・祭時地区の特色である雪を活かした子どもの遊び場を提供することができた。 ・隣接する真湯温泉センターでは雪上楽園入場者に向けた入浴半額券の配布、一関温泉郷協議会と連携し、雪上楽園入場券付き宿泊プランを販売するなど、地域一体となって事業を盛り上げることができた。</p> <p>(地域懇談会評価・意見) ・冬の観光コンテンツとしてもっと周知してもらえればと思う。 ・積雪不足により事業の実施が難しかったと思うが、もう少し各遊びのクオリティを高めること、またそのための管理をきちんとしなければならぬのではないかと。</p>
	7	ほんでらフェスタ2023 (担当課: 骨寺荘園室)	継続 3	実施	530	0	500,648	<p>【事業の目的】 骨寺村荘園遺跡の歴史的価値や中世からの姿を残す農村景観の魅力をも市民に伝えとともに、事業を通じて地元住民と来訪者の交流を図る。</p> <p>【事業の概要】 ①音楽祭(一関第一高等学校附属中学校音楽部ほか3団体) ②マルシェ(13店舗) ③馬車で荘園遺跡周遊 ④岩手・宮城内陸地震パネル展示 実施日 11月3日(金・祝) その他 厳美中学校「ふるさと隊」ボランティア協力</p>	骨寺村荘園交流館	本寺地区地域づくり推進協議会、骨寺村ガイドダンス運営協議会ほか	1,487人	<p>(担当課自己評価・課題) ・多くの来場者があり、遺跡の歴史的価値や農村景観の魅力を発信できた。また、地元住民や中学生が運営に関わることで、地域への愛着を深めることができた。</p> <p>(地域懇談会評価・意見) ・地元中学生の活躍の場となっているため、ぜひ継続して実施いただきたい。</p>

令和5年度元気な地域づくり事業 事業実績一覧

地域	No.	事業名 (担当課名)	区分	事業の状況	当初 事業費 (千円)	補正額 (千円)	決算額 (円)	【事業の目的】	実施場所	市民スタッフ人員、関係団体等	延べ 参加者数	担当課自己評価・課題、問題
								【事業の概要】				地域懇談会における評価・意見等
	8	光のSLイルミネーション at 一関図書館 (担当課：一関図書館)	新規	実施	281	0	252,113	<p>【事業の目的】 全国でも珍しい「SLのある図書館」である特徴を活かし、この機関車に銀河鉄道イメージさせるイルミネーションを施し、来館者に感動を提供するとともに、来館者の一層の増加を図り、併せて観光や地域づくりに貢献する。</p> <p>【事業の概要】 ①一関図書館敷地内のSL（C58型蒸気機関車）へのイルミネーション装飾 ②点灯式の開催 12月9日（土） ③点灯期間 12月9日（土）～12月28日（木）</p>	一関図書館脇 蒸気機関車 C58-103号機	周辺地域行政 区長、同行政 区の児童等、 陸保保育園長、 園児、SL清掃 イベント参加 者の代表	点灯式44人	<p>(担当課自己評価・課題) ・冬季の一関駅周辺のイルミネーションスポットとしてにぎわいづくりに寄与でき、また来館者や地域の方々に改めてSLの魅力発信を行うことができた。 ・今後も当館のシンボルとして、また地域のにぎわいづくりのスポットとして引き続き活用いただけるよう、維持管理に努めたい。</p> <p>(地域懇談会評価・意見) ・特になし</p>
	9	えきえき連携促進事業 (担当課：一関市博物館)	継続 9	実施	147	9	154,791	<p>【事業の目的】 博物館を「学びの駅」ととらえ、隣接する「道の駅」厳美渓と連携し、相互利用を促進する仕組みを構築し、社会教育と地域産業の活性化の相乗効果をつくり出す。</p> <p>【事業の概要】 ①夏のえきえき連携促進事業 実施日 8月1日（火） 内容 ・餅つき体験と試食（道の駅） ・「はくぶつかんクイズ」「バスルに挑戦」（博物館） 対象者 厳美児童クラブ所属の児童と関係者 ②秋のえきえき連携促進事業 実施日 11月5日（日） 内容 ・建部清庵の業績、博物館についてのパネル等を展示 ・「清庵が紹介した飢饉を救う植物」（一覧表）配布 ・釣山公園のパンフレットを配布し、清庵野草園を周知 ・建部清庵に因んだ野草料理のレシピ集を配布（清庵の里） ・建部清庵に因んだ物品等を販売（清庵の里） ・建部清庵に因んだ摘み草料理を調理し試食提供（清庵の里） 対象者 道の駅厳美渓及び一関市博物館の来館者 協力 清庵の里 ③先進地視察 実施日 3月15日（金） 視察先 道の駅高田松原、東日本大震災津波伝承館、陸前高田市立博物館 対象者 農業組合法人美の郷会員</p>	一関市博物館、道の駅厳美 美渓、道の駅 高田松原、陸 前高田市立博 物館	道の駅厳美 美、清庵の 里、厳美児童 クラブ	不特定 (制限なし)	<p>(担当課自己評価・課題) ・関係団体と役割分担をし、連携して事業を実施することができた。「学びの駅」である博物館と「道の駅」厳美美が、隣接する特性を生かし、特色のある事業を展開し、社会教育と地域産業の活性化が図られた。</p> <p>(地域懇談会評価・意見) ・道の駅のレストランと連携し、レストランでの摘み草料理の提供を検討してはどうか。</p>
	10	ひかりの森のナイトミュージアム (担当課：一関市博物館)	新規	実施	341	-9	331,927	<p>【事業の目的】 冬期間の雪のある風景をイルミネーションで彩り、地域を活性化する取組として、厳美「ひかりの森」製作委員会が実施してきた厳美「ひかりの森」とコラボレーションし、企画展開催中の博物館を夜間開館、ライトアップし、相乗効果による集客とにぎわいの創出、地域と施設の一体感の醸成を図る。</p> <p>【事業の概要】 ①イルミネーション、博物館ライトアップ 実施日 11月1日（水）～1月26日（金） 内容 地域の児童生徒等が制作したイルミネーションで博物館を装飾した。 ②夜間開館 実施日 11月1日（水）～11月5日（日） 内容 「東北文化の日ウィーク」として期間中は入館無料とし、フォトスポットを設置した。 夜間開館（19時まで）にあわせて、次の関連行事を実施した。 ・のぞいてみよう!!学芸員の仕事 ・講演会「福井良之助 一画家の中にある鎮魂とデカダンス」 ・朗読と音楽のタペ ・スペシャルギャラリートーク・ギャラリートーク</p>	一関市博物館 及び周辺	厳美「ひかり の森」製作委 員会、厳美市 民センター、 厳美しの里 協議会、厳美 小学校、厳美 中学校、道の 駅厳美美	不特定 (制限なし)	<p>(担当課自己評価・課題) ・地域が活性化を目的として実施してきた厳美「ひかりの森」事業と連携した事業の実施により、地域と施設の一体感が醸成された。 ・夜間開館中の入館者数が想定より少なかったことから、にぎわいの創出、入館者につなげる取組の部分において見直しが必要である。</p> <p>(地域懇談会評価・意見) ・連携した事業の実施により、スケールアップした事業を展開でき、地域の方から好評を得た。今後も継続して協力しながら取り組んでいきたい。</p>
	-	緊急事業等対応分	-		0	46	0	年度途中に生じた緊急、突発的な事業を実施する。				
		計			0	4,900	0	4,612,779				

令和5年度元気な地域づくり事業 事業実績一覧

地域	No.	事業名 (担当課名)	区分	事業の状況	当初 事業費 (千円)	補正額 (千円)	決算額 (円)	【事業の目的】	実施場所	市民スタッフ人員、関係団体等	延べ 参加者数	担当課自己評価・課題、問題
								【事業の概要】				地域懇談会における評価・意見等
花泉 7事業 継2 新5	1	早稲田大学競走部 花泉合宿交流事業 (担当課：地域振興課)	継続 9	実施(変更)	430	-340	86,492	<p>【事業の目的】 花泉地域内の児童・生徒、住民がトップアスリートとのふれあい、交流事業を通じてスポーツの基本や楽しさを学ぶ。また、早稲田大学競走部の箱根駅伝での活躍を花泉地域全体で応援する。</p> <p>【事業の概要】 ①早稲田大学競走部との交流事業 ・早稲田大学競走部部員による小学生から高校生を対象としたランニング教室の開催 新型コロナウイルス感染症等の影響により、開催中止となった。 ・早稲田大学競走部の花泉合宿期間中に町内に横断幕、のぼり掲揚 JR花泉駅前市営駐車場にのぼり旗、横断幕を設置(設置期間 12月25日(月)～1月4日(木)) ②箱根駅伝の応援事業 競走部の箱根駅伝大会での活躍を応援するため、支援実行委員会と協力し、花泉の地場産品(りんご・トマトジュース)を提供した。</p>	早稲田大学競走部合宿所、JR花泉駅前市営駐車場	東京箱根間往復大学駅伝競走早稲田大学競走部支援実行委員会	6人	(担当課自己評価・課題) ・地元産の食材提供は、早稲田大学競走部のホームページで紹介され、一関市の知名度向上、特産品のPRに寄与している。 (地域懇談会評価・意見) ・特になし
	2	Hanaizumi Flower days (担当課：産業建設課)	新規	実施	1,568	-10	1,556,665	<p>【事業の目的】 ・花による市民への心の癒しを提供する。 ・花による子どもの優しさや美しさを感じる心を育む。 ・花にこだわったイベントの開催により、花に関する交流人口の増加を図る。</p> <p>【事業の概要】 ①#花と泉SNSフォトコンテスト 投稿件数 217点 ②#花と泉SNSフォトコンテスト写真展 展示期間 11月25日(土)～1月14日(日) ③花と泉のウォールアートの作成 ④植物図鑑づくりワークショップ 開催日 8月1日(火) ⑤花のクリームソーダづくり体験会 開催日 9月10日(日)</p>	花と泉の公園	花と泉の公園・花泉高等学校魅力化プロジェクト「地域課題研究」地域おこし・暮らしグループ	不特定 (制限なし)	(担当課自己評価・課題) ・SNSでの情報発信や、写真展の企画、展示など高校生の協力ももらい、若者の社会参画を図ることができた。 ・フォトコンテストの実施により、花と泉の公園のインスタグラムのフォロワー数が2倍以上に増加した。 (地域懇談会評価・意見) ・特になし
	3	ぼたん園の魅力価値向上プロジェクト (担当課：産業建設課)	新規	実施	184	14	197,700	<p>【事業の目的】 ぼたんの開花時期以外でも楽しめる要素の検討やSNS等を活用したぼたんの価値などの周知により、花と泉の公園の知名度アップ及び通年で花と泉の公園全体の活用を図り、地域の活性化を図る。</p> <p>【事業の概要】 ①花と泉の公園のデジタルマップの作製・活用 ②ぼたん園内にフォトスポットを設置 ③オリジナルハッシュタグ(#)をつけたSNS発信 ④草取れホイホイ ⑤DFL(Dance Food Lightup)～花高生×花公園～ ⑥花公園クイズラリー</p>	花と泉の公園	花と泉の公園・花泉高等学校魅力化プロジェクト「観光・名所・名産」グループ一関市民活動センター	不特定 (制限なし)	(担当課自己評価・課題) ・SNSを活用した情報発信や、若者感覚を取り入れた事業開催により若年層の集客につながり、地域の活性化に寄与した。 (地域懇談会評価・意見) ・特になし
	4	「映えスポット」創出事業 (担当課：産業建設課)	継続 3	実施	188	-4	182,975	<p>【事業の目的】 コロナ禍の沈滞ムードがある中、写真スポット(SNS映え)になるようなイルミネーションを地元高校生とともに設置する。併せて、無人駅となった花泉駅の活用にも寄与する。</p> <p>【事業の概要】 ①イルミネーション点灯式 12月12日(火) ②イルミネーションの点灯期間 12月12日(火)～1月14日(日)</p>	JR花泉駅	花泉高等学校魅力化プロジェクト「地域課題研究」地域おこし・暮らしグループ、花泉中央振興商店街協同組合	不特定 (制限なし)	(担当課自己評価・課題) ・地元の高校生が企画段階から検討に加わり、意見を出すことにより、若者の参画が図られた。また、駅前が明るくなり、SNS映えスポットとして住民に元気を提供できた。 (地域懇談会評価・意見) ・特になし
	5	地域で育む防災の輪！ 消防広場 (担当課：一関南消防署)	新規	実施	300	-60	238,346	<p>【事業の目的】 子供から高齢者までの地域住民相互で防災活動等の知識・技術を習得することにより、「自分たちの地域は自分たちで守る」という連帯感を根付かせ、防火防災意識の高揚を図る。</p> <p>【事業の概要】 ①応急手当ワークショップ ②消防広場 開催日 3月9日(土)</p>	涌津市民センター	涌津まちづくり協議会、涌津地区自主防災会、花泉町婦人消防協力隊	約50人	(担当課自己評価・課題) ・参加者の年齢層が高い傾向にある。子供や若者に参加してもらえよう若年層にも興味を引くイベント項目を取り入れるなど、見直しを検討したい。 (地域懇談会評価・意見) ・来年も涌津市民センターでの開催をお願いしたいが可能か。

令和5年度元気な地域づくり事業 事業実績一覧

地域	No.	事業名 (担当課名)	区分	事業の状況	当初 事業費 (千円)	補正額 (千円)	決算額 (円)	【事業の目的】	実施場所	市民スタッフ人員、関係団体等	延べ 参加者数	担当課自己評価・課題、問題
								【事業の概要】				地域懇談会における評価・意見等
	6	花泉図書館新館開館10周年記念事業 (担当課：花泉図書館)	新規	実施	414	0	397,487	【事業の目的】 新館開館10周年を迎える記念事業として、花泉地域の特色である植物や郷土に関する講座及び花泉図書館のシンボルマークをデザインした絵本作家のワークショップを行うことで、地域文化の継承と住民の交流の活発化を目指す。 【事業の概要】 ①「講演会 四季を通じた岩手の庭づくり」 7月15日(土) ②「ワークショップ なりきりおめんと咲かせよう！」 9月18日(月) ③「花泉図書館一箱古本市」 9月24日(日) ④「子ども和算教室」 2月11日(日)	花泉図書館	図書館サポーター、高校生ボランティア、花泉町先人顕彰会	200人	(担当課自己評価・課題) ・花泉地域の特性を生かした事業を展開でき、地域住民の交流促進に寄与した。 (地域懇談会評価・意見) ・特になし
	7	眼鏡太郎のイラスト展、演劇ワークショップ・特別企画演劇公演	新規 追加	実施	0	400	389,000	【事業の目的】 芸術教育、文化的意識の向上等、共通の目的を持つ人々が集まることで、地域コミュニティの結束の強化、地域社会の連帯感を醸成する。 【事業の概要】 ①眼鏡太郎の「イラスト展」 令和6年3月23日～令和6年4月25日 ②眼鏡太郎の「演劇ワークショップ」 令和6年3月23日 ③眼鏡太郎の「創作演劇」 令和6年3月24日	花泉図書館	眼鏡太郎イベント実行委員会(構成員：眼鏡太郎さんの学生時代の恩師、同級生等)	①不特定(制限なし) ②20名 ③60名	(担当課自己評価・課題) ・ワークショップ、創作演劇ともに、定員を超え大盛況となった。 ・地域内の交流が希薄化してきていることから、参加者の交流の輪を広げられるよう、ワークショップの際に出身、職業等に関係なくグループ分けを行う等の工夫が必要と感じた。 (地域懇談会評価・意見) ・特になし
	-	緊急等事業対応分	-		16	0	0	年度途中に生じた緊急、突発的な事業を実施する。				
		計			3,100	0	3,048,665					

令和5年度元気な地域づくり事業 事業実績一覧

地域	No.	事業名 (担当課名)	区分	事業の状況	当初 事業費 (千円)	補正額 (千円)	決算額 (円)	【事業の目的】	実施場所	市民スタッフ人 員、関係団体等	延べ 参加者数	担当課自己評価・課題、問題
								【事業の概要】				地域懇談会における評価・意見等
大東 13事業 継6 新7	1	郷土の歌人 菊池知勇をもっと知ろう！『ぬはりに生涯を捧げた人生』 (担当：地域振興課)	新規	実施	100	111	210,289	<p>【事業の目的】 大東町出身の著名な歌人である菊池知勇は、生涯をかけて短歌誌「ぬはり」の創刊に尽力され、昭和42年に郷里の大東町を訪問された際、大東町役場庁舎の前庭に植えられていた仙台萩の歌を詠み揮毫した標柱を建立した。その仙台萩が植えられている旧庁舎は、令和7年度に解体を予定していることから、仙台萩を現庁舎敷地に移植するとともに、菊池知勇の功績を紹介した看板を設置する。併せて関係者を招待し、お披露目式を開催して地域の歴史や良さを知るきっかけとする。</p> <p>【事業の概要】 菊池氏ゆかりの仙台萩を旧庁舎前から現庁舎前へ移植した。 菊池氏の功績を紹介した看板を設置し、関連セレモニー（看板お披露目式）を開催した。 ・仙台萩移植 12月14日（木） ・看板設置 3月8日（金） ・看板お披露目式 3月15日（金）</p>	大東支所敷地内	ぬはり社短歌会会員、仙台萩提供者	11人	<p>(担当課自己評価・課題) ・仙台萩のいわれや菊池知勇の業績を紹介した解説看板を整備したことにより、後世に地域の歴史を伝えることができた。 お披露目式が新聞報道されたことで一定の認知は広がったと思うが、一過性の事業で終わらせることなく、HPなどのネット媒体に掲載して常時検索できる状態をつくり、認知を広げていきたい。</p> <p>(地域懇談会評価・意見) ・菊池氏は全国にファンがいるが、顕彰会や史談会も無く、顕彰が十分できていないところであった。今回、ぬはり社短歌会と連携し、素晴らしい事業を企画、実施いただいたと思う。一過性のイベントもよいが、このように形に残すことで後世に伝えていくことができると感じた。</p>
	2	試してわかる体験！デマンド型交通 (担当：地域振興課)	新規	実施	154	0	100,480	<p>【事業の目的】 デマンド型乗合タクシーを実際に体験してもらい、メリット及びデメリットを洗い出し、大東地域の実態に即したデマンド方式の導入を目指す。</p> <p>【事業の概要】 タクシー車両を借上げ、各地区から大東図書館までを乗合タクシーとして運行した。民生委員に参加協力いただき、実際のデマンド型乗合タクシーの疑似体験として、利用登録票の提出や電話予約、アンケートを実施した。 運行日 10月12日（木）、13日（金）、17日（火）、18日（水）、19日（木）、20日（金） 運行区間 次の行政区 ⇄ 大東図書館 ①上内野・中内野・下内野 ②天狗田・上天狗田 ③市之通 ④京津畑 ⑤洪民1区・洪民2区 ⑥洪民3区（洪民13区）</p>	大東地域内	大東地域内タクシー業者（大原タクシー、摺沢タクシー）、民生委員、長寿社会課生活支援コーディネーター	19人	<p>(担当課自己評価・課題) ・市民が実際に乗合タクシーを体験することで、体験に基づいた利用者の声を聴くことができ、導入に向けた検討材料となるとともに、啓発につながるものと思われる。 ・大東地域は大原小学校及び大東中学校の通学支援を市営バスで行っており、乗合タクシーを導入する際には他地域のようにコストの削減には直結しないことから、市におけるデマンド導入の基準及び方針整理が必要であると考えられる。</p> <p>(地域懇談会評価・意見) ・特になし</p>
	3	特定外来生物・オオハongoンソウぜんぶ抜く大作戦 (担当課：市民福祉課)	新規	実施	120	0	83,810	<p>【事業の目的】 特定外来生物として駆除対象とされているオオハongoンソウの繁茂が大東地域内でも多数確認されていることから、公衆衛生組合長などの地域のリーダーを対象に、駆除方法を学ぶ研修会を開催し、研修成果をもとに地域住民の協働により駆除を実施してもらうことで、オオハongoンソウの繁殖を食い止める大東地域の景観を守る。</p> <p>【事業の概要】 ①オオハongoンソウの特徴と駆除方法について学ぶ研修会（座学研修） 開催日 6月14日（水） 対象者 大東地域内の各公衆衛生組合長 ②オオハongoンソウの繁殖地で実際に駆除を行う研修会（現地研修） 開催日 8月7日（月） 対象者 大東地域内の各公衆衛生組合長及び自治会長</p>	①大原市民センター ②大東町中川字根岸地内の休耕田	大東地域公衆衛生組合連合会	①31人 ②36人	<p>(担当課自己評価・課題) ・地域内において駆除の先導が見込まれる公衆衛生組合長や自治会長に、駆除の必要性や実際の駆除方法を学んでもらえたことで、今後、多くの地域で駆除が進むことが期待される。 しかしながら、多くの市民は、まだ特定外来生物について十分理解していないと思われることから、今後は、市全体を対象とした周知を進めるための事業を展開する必要があると考えられる。</p> <p>(地域懇談会評価・意見) ・本事業と連動し、自治会等活動費総合補助金の上乗せ（特定外来生物駆除分）をしてももらったのはよかった。これを機に、来年度も地域全体で取り組むことができればよいと思った。</p>
	4	地域が元気になる親子ふれあい広場 (担当課：市民福祉課)	新規	実施	80	1	80,777	<p>【事業の目的】 大東地域の未就学児とその保護者を対象に相互の交流を行う場を提供し、仲間づくりの一役を担い、子育て世代の支援を行う。</p> <p>【事業の概要】 ①「親子ふれあい遊び ファンタジスタショー」 開催日 11月26日（日） 講師 盛岡男性保育士連 チーム・ファンタジスタ 代表 高嶋 純 氏（盛岡市）他6名 対象者 大東地域の保育園・幼稚園に在籍する園児とその保護者（園児の小学校のきょうだいの参加可） ②「親子ふれあい緑日遊び」 開催日 11月26日（日） 協力 大東地域保育施設保護者連合会、摺沢地区児童保育施設閉園事業実行委員会 対象者 大東地域の保育園・幼稚園に在籍する園児とその保護者（園児の小学校のきょうだいの参加可）</p>	大東コミュニティセンター	盛岡男性保育士連「チーム・ファンタジスタ」、大東地域保育施設保護者連合会役員、摺沢地区児童保育施設閉園事業実行委員会、大東岩手ライオンズクラブ	100人	<p>(担当課自己評価・課題) ・大東地域保育施設保護者連合会の活動支援として、大東岩手ライオンズクラブが地元企業から親子広場の参加賞を用意するなど、地域経済の活性化に貢献した。 ・事業の立ち上げ段階に保護者が参画し、当日スタッフを担っていただくことで保護者同士の仲間づくりの場の一助となり、地域協働の意味がある事業になったと考える。 ・今年度は摺沢地区の保育施設の閉園もあり、閉園事業実行委員会記念事業としての意味合いを込めて、事業実施の機運も高まっていたため実施できた。</p> <p>(地域懇談会評価・意見) ・特になし</p>

令和5年度元気な地域づくり事業 事業実績一覧

地域	No.	事業名 (担当課名)	区分	事業の状況	当初 事業費 (千円)	補正額 (千円)	決算額 (円)	【事業の目的】	実施場所	市民スタッフ人員、 関係団体等	延べ 参加者数	担当課自己評価・課題、問題
								【事業の概要】				地域懇談会における評価・意見等
	5	室根高原牧場まつり (担当課：産業建設課)	継続 7	実施	452	0	387,600	<p>【事業の目的】 室根高原でイベントを行うことにより、来訪者に自然や動物とのふれあいの場を提供し、観光地としての魅力を発信し、集客を図る。</p> <p>【事業の概要】 ・みこしスターズと写真会&じゃんけん大会、お絵描き牧草ラップ&重量当てクイズ ・ふれあい動物園、磐井太鼓同志会の太鼓演奏、よさこい演舞（菅原組他） ・引馬&乗馬ショー、キッチンカー&屋台村 実施日 9月17日（日）</p>	室根高原ふれあい牧場	室根高原牧場まつり実行委員（室根総合開発、JAいわて平泉、角蔵クラブ、ICN、一関コミュニティFM、（株）ラヂオ気仙沼）	約800人	<p>(担当課自己評価・課題) ・子どもとその家族の集客があり、室根高原の認知度の向上につながった。地域住民との協働を起こしにくいエリアでの事業だが、参加した市民と出演団体は大いに満足していた。 ・祭り会場であるふれあい牧場は、室根山の中腹にあり、目的のない人が通過する場所ではないことから、より多くの関係者と連携を図り、室根山域全域をエリアとしたPR、集客につなげる必要がある。</p> <p>(地域懇談会評価・意見) ・特になし</p>
	6	砂鉄川川床まつり (担当課：産業建設課)	継続 7	実施	443	0	442,191	<p>【事業の目的】 砂鉄川河川敷を会場に、子供から高齢者まで楽しめるイベントを開催し、砂鉄川を活用したにぎわいの創出と大原地区の活性化を図る。</p> <p>【事業概要】 ①ステージイベント（ミニコンサート4組） ②遊び場イベント（さいころゲーム、牛乳早飲み大会、鮎のつかみ取り） ③ビアガーデン（お祭り屋台） 開催日 7月30日（日）</p>	大明神親水公園	大原商業会、一関商工会議所、砂鉄川漁業協同組合大原支部、岩手日日新聞社、一関コミュニティFM	約1,000人	<p>(担当課自己評価・課題) ・大原地区のみならず市内からの集客があり、会場は大いに賑わっていた。 ・大原商業会が主体となって事業展開しつつ地域の若者層の参画も顕著で地域の活性化に非常に効果的であった。今回で最後と謳っていたこともあり、復活を望む声が多かった。 ・商業会の会員も高齢化が進み、構成メンバーの若返りが必要である。</p> <p>(地域懇談会評価・意見) ・大明神親水公園は災害時のヘリポートに指定されているが、ヘリポートの代替場所は確保したうえで開催だったのか。</p>
	7	大東グルメ祭 (担当課：産業建設課)	継続 7	実施	444	0	422,401	<p>【事業の目的】 市内外の人気グルメ等を一堂に会し、地元企業や地元の高等学校と協力し賑わいを創出することにより、当地域の購買力向上につなげ、商店街と地域住民との親睦を深め、元気な地域づくりを目指す。</p> <p>【事業の概要】 ①グルメ販売 出店数22店舗 うち市内15店舗（招待2店舗）、市外7店舗（招待2店舗） ②グルメコンクール 実施日 10月15日（日）</p>	四ツ角商店街	四ツ角商店会、一関商工会議所、大東高校生ほか	967人	<p>(担当課自己評価・課題) ・SNSで話題のグルメを取り入れたことで、地域内外からの来訪があり、会場は大いに賑わっていた。 ・四ツ角商店会の会員が中心となって事業を展開し、商店会エリアの賑わいに非常に効果があった。今回で最後と謳っていたこともあり、復活を望む声が多かった。 ・商店会の会員も高齢化が進み、構成メンバーの若返りが必要である。</p> <p>(地域懇談会評価・意見) ・特になし</p>
	8	秋の伊勢館公園 紅葉ライトアップ (担当課：産業建設課)	新規	中止	50	0	0	<p>【事業の目的】 紅葉時期に伊勢館公園内の木々をライトアップし、訪れた人々に癒しと感動を与え、当公園の自然の豊かさ、美しさなどの魅力を市内外に発信し、地域の活性化につなげる。</p> <p>※支所内の予算調整により、事業中止が決定した。</p>				
	9	一関市消防団大東第3分団第5部消防屯所シャッターペイント事業 (担当課：一関北消防署)	継続 2	実施	380	0	379,500	<p>【事業の目的】 消防屯所のシャッターに、子供たちの考えた防災イラストを描くことで防災への意識向上を図り、安全な地域づくりを目指す。また、地域の子供たちと住民及び消防団員が共同でペイント作業を行うことで、世代間の交流をさらに深め、元気な地域づくりに寄与する。</p> <p>【事業の概要】 ・地元子供会にイラスト原画を募集し、デザインを決定した。 ・決定したデザインをもとに、業者に対し原画加工及びシャッターへの下地塗りと下絵割付作業を依頼した。 ・子供会と消防団員の協力のもと消防屯所シャッターに色付け作業実施した。 実施日 9月3日（日） 対象者 洪民10区子供会</p>	一関市消防団大東第3分団第5部消防屯所	洪民10区子供会、一関市消防団大東第3分団第5部	23人	<p>(担当課自己評価・課題) ・日頃関わりが少ない地域住民と消防団員との交流の場となった。 ・シャッターペイントを行ったことで、消防屯所や付近一帯の風景が明るくなり、また地域活動や防災を身近に感じただけの貴重な機会となった。</p> <p>(地域懇談会評価・意見) ・特になし</p>

令和5年度元気な地域づくり事業 事業実績一覧

地域	No.	事業名 (担当課名)	区分	事業の状況	当初 事業費 (千円)	補正額 (千円)	決算額 (円)	【事業の目的】	実施場所	市民スタッフ 人員、関係団体等	延べ 参加者数	担当課自己評価・課題、問題	
								【事業の概要】				地域懇談会における評価・意見等	
	10	古文書が紐解く郷土の歴史 (担当課：大東図書館)	継続 2	実施	200	0	199,650	<p>【事業の目的】 地域に伝わる古文書を解説し、広く市民が利用できる状態にすることで、郷土の歴史や文化に親しむ機会となり、郷土愛を醸成する。</p> <p>【事業の概要】 ・大東町古文書同好会が解説した、大原大肝入鳥畑家文書を冊子として100部発刊した。 ・冊子は各図書館をはじめ、関係機関に配付した。</p>	大東図書館	大東町古文書同好会、大東図書館運営協議会	274人	<p>(担当課自己評価・課題) ・地域に伝わる貴重な資料を保存、広く市民の利用に供することが可能となり、後世に残すことができた。 ・大原肝入鳥畑家文書は、90冊程現存しており、今後継続して冊子を発刊するためには予算が伴い、費用面で事業の継続に課題が残る。</p> <p>(地域懇談会評価・意見) ・特になし</p>	
	11	帯コン〜読書をかたちに〜 (担当課：大東図書館)	継続 2	実施	212	0	209,264	<p>【事業の目的】 読書体験をいかして本の帯を作ること、読書の成果をかたちに表すことができ、帯を通して本と利用者をつなぐことでより一層の読書推進を図るとともに図書館の利用促進に寄与する。</p> <p>【事業の概要】 ・図書館利用者を対象に「これがわたしのイチオシ！」の本としておすすめの本や自分の好きな1冊を紹介する「本の帯」を募集した。 ・審査委員（市民スタッフ）による審査、表彰。10月下旬の読書週間に合わせ、本とともに応募作品を展示、また本の貸出を行った。 ・館内での展示後は、移動図書館車の利用者に向けた巡回展示・貸出を実施した。</p>	大東図書館、移動図書館車なぎさ号	大東図書館運営協議会、一関市書店組合、市内在住デザイナー	260人	<p>(担当課自己評価・課題) ・本事業は、前年度の応募点数を大きく上回り、また、応募範囲も大東町内に留まらず市内各地域から作品が寄せられるなど事業への関心の高さをうかがわせる結果となった。 ・全ての応募作品を館内に展示したことにより、他地域から当館への来場者の増加につながるなど多面的な効果も生まれた。</p> <p>(地域懇談会評価・意見) ・特になし</p>	
	12	興田の歴史探訪、文化財保存継承事業 (担当：地域振興課)	新規 追加	実施	0	128	127,600	<p>【事業の目的】 興田地区の文化財、遺跡を地区民に再認識してもらい、子どもたちや後世に伝えていくため、興田の歴史や遺跡に関する講演会等を検討し、併せて標柱等を整備する。</p> <p>【事業の概要】 ・興田史談会会員を講師に、興田地区の文化財に関する講習会開催を検討した。 ・興田地区の遺跡等に関する標柱（主に城跡）を整備した。</p>	大東町興田地区内	興田地区振興会、興田史談会	20人	<p>(担当課自己評価・課題) ・興田地区の遺跡等に関する標柱等を整備したことで、地区民の方に郷土の文化財・遺跡を再認識してもらえる機会につながった。</p> <p>(地域懇談会評価・意見) ・特になし</p>	
	13	一関市・大東大原水かけ祭り無料休憩所開設事業 (担当：地域振興課)	新規 追加	実施	0	17	16,038	<p>【事業の目的】 寒い中、開催される祭りで、観光客が屋内で休める場所が欲しいという要望が多いことから、市街地の空き家を無料休憩所として活用し、観光客が快適に祭りを楽しめるようにするとともに、一関市の情報発信を行う。</p> <p>【事業の概要】 ・市街地の空き家（空き店舗）を有効利用し、観光客や一般市民の休憩所を確保した。 ・休憩所内に祭りのチラシ、観光パンフレット等を設置し、一関市（大東町）のPRを行った。</p>	大東地域内（旧丸玉家具店舗）	一関市・大東大原水かけ祭り保存会	150人	<p>(担当課自己評価・課題) ・休憩所内に観光案内を兼ねてパンフレット等を設置した結果、近辺の観光スポット等について観光客から尋ねられたりと、当市の情報を発信できる機会につながった。</p> <p>(地域懇談会評価・意見) ・特になし</p>	
	—	緊急等事業対応分	—		465	-257	0	年度途中に生じた緊急、突発的な事業を実施する。					
		計			3,100	0	2,659,600						

令和5年度元気な地域づくり事業 事業実績一覧

地域	No.	事業名 (担当課名)	区分	事業の状況	当初 事業費 (千円)	補正額 (千円)	決算額 (円)	【事業の目的】	実施場所	市民スタッフ人員、関係団体等	延べ 参加者数	担当課自己評価・課題、問題	
								【事業の概要】				地域懇談会における評価・意見等	
千厩 7事業 継5 新2	1	せんまやグルメ スタンプラリー事業 (担当課：産業建設課)	継続 3	実施	646	0	489,734	<p>【事業の目的】</p> <p>千厩地域内の飲食店の集客と情報発信を目的に令和3年度に制作した「せんまやグルメガイドマップ」を活用してスタンプラリーを実施する。近年、少子高齢化や人口減少により市場が縮小し、飲食店や商店等の集客が大きく減少している。さらに、長引くコロナ禍で祭りやイベントが軒並み中止され、遠方から千厩を訪れる人も激減している。そこで、地元や近場の内需を掘り起こすマイクロショッピングが再生のカギとなっており、地元商店街での買い物を楽しみと思える仕掛けとしてスタンプラリーを実施する。参加店はもちろん商店街全体の活性化に寄与する。</p> <p>【事業の概要】</p> <p>①スタンプラリーの実施（参加店の募集、ポスター等による周知、抽選会の実施） ②食べ歩きまっぷの更新 ③広報宣伝（新聞やFMあすもによる事業周知、ポスターの掲示・配布、WEBやSNSによる情報発信など）</p>	千厩地域内	千厩まちづくり株式会社、一関商工会議所千厩支所、千厩地域内の飲食店や菓子店	約900人	<p>(担当課自己評価・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年と比較して募集期間は短かったが、はがきでの応募に加え、新たにSNSを活用した「ハッシュタグキャンペーン」を行った。その結果、応募総数は872通（うちハッシュタグは39通）となり、掲載店の更なる知名度や売上の向上につながった ・店舗にとってリーダーの獲得や新規顧客の発掘につながられた。 <p>(地域懇談会評価・意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店舗側からアンケートを取り、その集計結果を提供すれば、店側もどうしたらリーダーを増やせるかを考える材料になる。 	
	2	せんまやベジタブル産地直送 プロジェクト (担当課：産業建設課)	継続 2	実施	530	0	280,000	<p>【事業の目的】</p> <p>千厩産の採れたて野菜を、ふるさと納税の返礼品や古里の特産品として市外へ販売する「外商」と産直やマルシェなどを通じて市内で消費する「地消」を同時に進める。また、季節の野菜を年中直送できる「せんまやベジタブル」のブランド化を目指す。</p> <p>【事業の概要】</p> <p>①農産物の生産活動 5月～11月 ②農産物の販売活動（販路開拓） 8月～11月 ③デザイン製作作業 9月～10月 ④販路開拓活動（ひまわり油をふるさと納税返礼品登録） 令和6年1月～3月 ⑤広報宣伝活動 随時</p>	千厩地域内	せんまや馬ごころの会、農産物生産者、商店街関係者、地元有志スタッフ、購買者ほか	約500人	<p>(担当課自己評価・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひまわり油をふるさと納税返礼品に登録できるようデザイン製作などにも取り組み、特産品として提供できる体制が整備された。 <p>(地域懇談会評価・意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	
	3	岩手せんまや福よせ雛プロ ジェクト (担当課：産業建設課)	継続 2	中止	483	-483	0	<p>【事業の目的】</p> <p>家庭で眠っているひな人形を再生利用し、誰もが楽しめるひな人形として商店街や公共施設等に飾ることで、千厩地区の賑わいを創造していく。SDGsの活動精神に賛同し、地域文化の継承とひな人形を大切にする活動にも寄与する。</p> <p>※協働の相手方との協議により、事業中止が決定した。</p>					
	4	せんまやシャトル馬車運行事 業 (担当課：産業建設課)	継続 2	実施	580	0	487,000	<p>【事業の目的】</p> <p>「せんまや馬車資料館」や「大夫黒」の馬像など、これら馬産地千厩のシンボルとともに、千厩の歴史・文化を今に伝え、馬を生かした観光振興を図る。「地元商店街は楽しい」と思える仕掛けをつくり、商店街全体の活性化に寄与する。</p> <p>【事業の概要】</p> <p>①馬車運行業務 運行日 2月12日（月）、17日（土）、18日（日）、3月5日（火） 時間 10時から16時まで 往復計4回 ルート 新町まちの駅Jaja馬プラザからJR千厩駅前上まで（駐車場4か所） ②情報発信 チラシによる周知、WEBやSNSによる情報発信、報道機関への情報提供</p>	千厩商店街	一関市観光協会千厩、千厩ひなまつり実行委員会、千厩まちづくり株式会社、千厩・大夫黒、馬っここの会、一関商工会議所千厩支所、千厩地域内の商店	840人	<p>(担当課自己評価・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「せんまやひなまつり」の開催に合わせて観光馬車を運行し、千厩商店街や観光スポットを巡る企画として、好評を博した。 ・馬車に乗っている乗客に地域住民が手を振る姿も見られ、地域住民のみならず、千厩を訪れるお客さんにも喜ばれ、ひなまつりの盛り上げになるとともに馬を生かした観光振興にもつながった。 <p>(地域懇談会評価・意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「せんまやひなまつり」の誘客にも貢献しており、3年目以降においても引き続き継続していく方法を考えてほしい。 	
	5	健康福祉結いこまつりin せんまや (担当課：市民福祉課)	継続 2	実施	515	0	497,997	<p>【事業の目的】</p> <p>障がい者・高齢者の支援グループ、子育てを支援する各種団体が協働開催し、各団体の地域支援と社会参加活動を周知・普及する機会とする。また、イベント運営の過程を通して、さらなる社会貢献活動の活発化を図る。</p> <p>【事業の概要】</p> <p>①体験、展示 野菜計量体験、健康チェック、参加団体の活動紹介、里親制度普及啓発パネル展示 ②ミニ講座（災害時の食事づくり、キャップハンディ体験、医師講演ほか） 開催日 10月14日（土）、15日（日）</p>	千厩ショッピングモールエスピア	一関市社会福祉協議会千厩支部、千厩地域保健推進委員協議会、一関市食生活改善推進員協議会千厩支部、千厩町民生児童委員協議会ほか	約420人	<p>(担当課自己評価・課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントの中で各種団体等の活動紹介や医師等による講演を行い、来場者に健康や福祉への関心、興味を持っていただき、理解を深めていただくことができた。 <p>(地域懇談会評価・意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	

令和5年度元気な地域づくり事業 事業実績一覧

地域	No.	事業名 (担当課名)	区分	事業の状況	当初 事業費 (千円)	補正額 (千円)	決算額 (円)	【事業の目的】	実施場所	市民スタッフ人 員、関係団体等	延べ 参加者数	担当課自己評価・課題、問題
								【事業の概要】				地域懇談会における評価・意見等
	6	コロナに負けない！ 地域づくり事業 (担当課：地域振興課)	新規	実施	234	0	56,121	<p>【事業の目的】 新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、これまで制約を受けてきた様々な活動が再開し始めている。これからの活動を進めるうえで、他地域の視察や、自治会関係者が情報共有、意見交換を行い、千厩地域の地域づくりの推進に資する。</p> <p>【事業の概要】 ①先進地視察 実施日 8月8日(火) 場 所 陸前高田市方面 内 容 (一社)トナリノ、陸前高田市立博物館の視察・見学 ②千厩町地域づくりサミット 実施日 9月28日(木) 内 容 実践事例紹介(川崎・所萱自治会)、ワークショップ(意見交換) ③事業報告及び講演会 実施日 11月27日(月) 内 容 事業報告、講演会(地伏亭金目さんによる講談)</p>	陸前高田市方面、千厩支所2階大会議室ほか	千厩町まちづくり団体連合会、いちのせき市民活動センター	約90人	<p>(担当課自己評価・課題) ・実践事例紹介や町内の他自治会の取組を共有できたことで、持ち帰って実践してみたいなど、今後の活動の参考になる部分が多く、モチベーションアップにもつながった。</p> <p>(地域懇談会評価・意見) ・参加者数が少ない。より多くの方に参加してもらえるよう工夫すること。</p>
	7	デマンド型乗合タクシー 周知広報プロジェクト事業 (担当課：地域振興課)	新規 追加	実施	0	357	356,570	<p>【事業の目的】 令和3年度から運行を開始したデマンド型乗合タクシーは、地域の重要な交通手段である。しかしながら、利用者は横ばいで伸び悩んでいる。そこで、「地域がこれからも守り育てていく」という観点から、多様な広報活動を展開し、改めて高齢者等利用者にその内容を理解してもらい、認知度の向上と利用促進を図る。</p> <p>【事業の概要】 ①千厩高校生徒に対する運行内容や本プロジェクトの趣旨説明、意見交換など 実施日 12月19日(火)、1月16日(火) ②乗り方動画の作成、発信 ③リーフレット作成、配架 公共施設や商業施設、福祉施設等に配架し、周知の依頼</p>	千厩高校など、千厩町内	町内タクシー運行事業者、千厩高校、町内デザイナー	約50人	<p>(担当課自己評価・課題) ・デマンドタクシーは他地域でも運行しているが、元気事業を活用した周知活動の展開は初めての試みで、他地域への波及効果があると感じている。 ・動画作成時には、利用者が動画に出演し、利用している感想をお話いただくなど、視聴者の関心を高める工夫を行った。</p> <p>(地域懇談会評価・意見) ・動画やリーフレットは制作して終わりではなく、それらを活用した展開が重要であることから、引き続き周知広報活動を行うこと。</p>
	—	緊急事業等対応分	—		112	126	0	年度途中に生じた緊急、突発的な事業を実施する。				
		計			3,100	0	2,167,422					

令和5年度元気な地域づくり事業 事業実績一覧

地域	No.	事業名 (担当課名)	区分	事業の状況	当初 事業費 (千円)	補正額 (千円)	決算額 (円)	【事業の目的】	実施場所	市民スタッフ人 員、関係団体等	延べ 参加者数	担当課自己評価・課題、問題
								【事業の概要】				地域懇談会における評価・意見等
東山 9事業 継6 新3	1	不法投棄防止啓発事業 (担当課：市民福祉課)	継続 2	実施	253	-64	187,132	【事業の目的】 不法投棄看板の設置により、不法投棄の減少を目指す。 【事業の概要】 不法投棄防止看板の購入及び設置、ダミーカメラの購入、不法投棄防止パトロール 実施期間 令和5年11月～令和6年3月	東山地域内	東山地域公衆 衛生組合	28人	(担当課自己評価・課題) ・「不法投棄パトロール中」のマグネット シートを公衆衛生組合長の車両に貼ることで 日頃から活動を周囲に周知、喚起することが できた。また、不法投棄防止パトロールで不 法投棄防止看板を効果的な場所に設置でき、 一定の抑止力を発揮できたと思われる。 (地域懇談会評価・意見) ・これからも継続して取り組んでもらいた い。
	2	新・魅力あふれる東山特産品 PR事業 (担当課：産業建設課)	継続 4	実施	460	0	442,136	【事業の目的】 多くの人に特産品をPRして新たな販売ルートを確認することにより、消費の拡大と地場産業の振興を図 る。 【事業の概要】 ・東山町産の農産物や工芸品などの「東山町の魅力」を集めた東山町ふるさと便の販売 注文者数 89人、注文個数 270個 ・パンフレット配布やSNS等を活用した東山町ふるさと便のPR	東山支所、産 直センターひ がしやま「季 節館」ほか	一関市の物産 と観光展東山 地域プロジェ クト委員会構 成員、一関市 観光協会東山	89人	(担当課自己評価・課題) ・パンフレットへの事業者や商品の特集ペー ジ、公式オンラインショップ、SNSなどの幅 広いツールを活用し、商品だけではなく事業者 や東山地域の魅力も併せてPRすることがで きた。 (地域懇談会評価・意見) ・武蔵小山商店街でも販売を行ったと思う が、今年度の成果はどうだったのか。
	3	東山地域商店街 賑わい復活事業 (担当課：産業建設課)	新規	実施	550	0	542,424	【事業の目的】 イベント開催により集客力を高め、賑わいの創出と一体感の高揚を図り、商店街の活性化を図る。 【事業の概要】 ①東山うれし市2023×唐梅oh!天気祭り 実施日 9月23日(土) 場 所 長坂商店街 内 容 マルシェイベント、唐梅館絵巻前夜祭 ②東山うれし市～2024春～ 実施日 3月10日(日) 場 所 東山地域交流センター、長坂商店街 内 容 マルシェイベント	長坂商店街、 東山地域交流 センター	東山地域商店 街賑わいづく り実行委員 会、一関商工 会議所青年部 東山支部	5,400人	(担当課自己評価・課題) ・唐梅館絵巻前夜祭とマルシェイベントを合 わせて開催したことで、相乗効果があり商店 街の賑わいにつながった。 (地域懇談会評価・意見) ・特になし
	4	ひがしやま型山守育成事業 (里山の恵み体験講座) (担当課：産業建設課)	継続 2	実施(変更)	360	-40	299,206	【事業の目的】 「山を守る」大切さを再認識し、自分たちで地域の山林を管理する「ひがしやま型山守」を育成するため の講座を開催することで、適正な森林管理を目指す。 【事業の概要】 ①里山の恵み体験講座 実施日 1月14日(日) 対象者 東山小学校及び東山中学校の生徒とその保護者 内 容 木材を活用し、親子で体験可能なプログラムを実施した。 ・薪割り体験、スウェーデントーチ作り、ピザ焼き体験、薪ストーブ二次煙突のデモンスト レーション ②山守育成講座 協働の相手方との協議により、事業の実施が困難となり中止を決定した。	田河津市民セ ンター	合同会社茅葺 き民家オフィ ス庄屋	親子11組 36人	(担当課自己評価・課題) ・イベントの体験を通して身近にある森林の 恵みに触れ、山や木に関心を持ってもらうこ うができた。 (地域懇談会評価・意見) ・特になし
	5	消防・防災フェスタ ひがしやま2023 (担当課：一関北消防署東山 分署)	継続 4	実施	149	0	143,910	【事業の目的】 災害時における避難行動や防災対策を啓発し、住民の防災意識の向上を図る。 【事業の概要】 ・防災物品展示コーナー、防災メール・アプリ紹介コーナー ・消火・煙体験コーナー、災害応急処置コーナー 実施日 11月4日(土)	東山地域交流 センター	東山地域交流 センター、東 山町婦人消防 協力隊、AID (一関防災指 導員)	約80人	(担当課自己評価・課題) ・集客の多い「一関市東山文化祭」に合わせ て開催することで、より多くの人に防災対策 の啓発と防災意識の高揚を図ることができ た。 一方、20代の若い年齢層の来場者が少なく、 今後全年齢層を対象とした普及啓発の工 夫が必要である。 (地域懇談会評価・意見) ・特になし

令和5年度元気な地域づくり事業 事業実績一覧

地域	No.	事業名 (担当課名)	区分	事業の状況	当初 事業費 (千円)	補正額 (千円)	決算額 (円)	【事業の目的】	実施場所	市民スタッフ人 員、関係団体等	延べ 参加者数	担当課自己評価・課題、問題
								【事業の概要】				地域懇談会における評価・意見等
	6	石と賢治のミュージアム アートギャラリー (担当課：石と賢治のミュージアム)	継続 4	実施	300	0	300,000	<p>【事業の目的】 宮沢賢治と東山とのかかわり、石と賢治のミュージアムを多くの方に周知する。</p> <p>【事業の概要】 ①大下邦弘ガラス展 期間 7月22日(土)～8月27日(日) 場所 石と賢治のミュージアム鑑物展示室ほか 内容 ・大下邦弘氏と同じくガラス作家である妻の作品展 ・宮沢賢治作品をモチーフにしたガラス作品等の展示 ②戸田さちえアート展&音楽イベント 期間 11月2日(木)～11月23日(木) 場所 旧東北砕石工場 内容 ・東山和紙の作品を展示 ・工場の工具を打楽器のように陳列し音色を楽しむ体験コーナーの設置 ・工具ミュージックコンサートを開催</p>	石と賢治のミュージアム、旧東北砕石工場	宮沢賢治ガイドボランティアの会	①668人 ②319人	<p>(担当課自己評価・課題) ・作品展でミュージアムを知り、再度家族と来館するなど、入館者の増加につながった。 ・東山にゆかりのある人や、宮沢賢治に関する作品展を開催するとなると人材に限られる。引き続き情報収集に心がけ、さまざまな分野の方との連携を模索していく。</p> <p>(地域懇談会評価・意見) ・特になし</p>
	7	石と賢治のミュージアム ハートフルステージ (担当課：石と賢治のミュージアム)	継続 4	実施	340	0	340,000	<p>【事業の目的】 宮沢賢治と東山とのかかわり、石と賢治のミュージアムを多くの方に周知する。</p> <p>【事業の概要】 ①ものがたりグループボランの会公演 実施日 7月23日(日) 場所 東山地域交流センター 内容 ・朗読とバイオリンのライブセッション ・ものがたりグループ☆ボランの会&白井崇陽氏 ②宮沢賢治童話劇 実施日 11月5日(日) 場所 東山地域交流センター 内容 ・劇団黒猫舎「東山文化祭」宮沢賢治童話劇</p>	東山地域交流センター	宮沢賢治ガイドボランティアの会	①98人 ②47人	<p>(担当課自己評価・課題) ・ものがたりグループボランの会の公演は、当館の自主事業であるグスコフドリの大学校と同時に開催したことで、より多くの人に鑑賞してもらった。</p> <p>(地域懇談会評価・意見) ・特になし</p>
	8	ボールでフレイル予防 (担当課：市民福祉課)	新規 追加	実施	0	64	63,620	<p>【事業の目的】 地域の保健推進委員による健康教室や週イチ倶楽部の代表者等がボール運動を習得し、地域に普及することで、手軽にフレイル予防に取り組むきっかけづくりとなり、健康長寿のまちづくりにつなげる。</p> <p>【事業の概要】 ①いわて東山音頭に合わせたボール運動DVDの作成・普及 ②「ひがしやま健康セミナー」や週イチ倶楽部開催時に普及講習 ③東山地域保健推進委員・食生活改善推進員を対象に研修会の開催 実施期間 令和5年12月～令和6年3月</p>	東山地域交流センター、東山地域内	東山地域保健推進委員協議会、東山地域週イチ倶楽部団体	333人	<p>(担当課自己評価・課題) ・地域の方々に親しまれている「いわて東山音頭」に合わせた体操を体験してもらい、多くの方々から好評を得た。 ・フレイル予防の運動メニューとして、地区健康教室やサロン等で普及されることが期待できる。</p> <p>(地域懇談会評価・意見) ・100歳体操をしているが、新たにボールでフレイル予防などに取り組めば補助金がもらえるのか。</p>
	9	市道松川駅館下線開通式 開催事業 (担当課：産業建設課)	新規 追加	実施	0	200	190,363	<p>【事業の目的】 市道松川駅館下線の完成を地元の方々が祝う場を提供し、かつ、路線切替の周知が図られることにより交通事故防止につなげる。</p> <p>【事業の概要】 ・関係者によるテープカット、親子三代による渡初め、婦人会による踊り等、記念品(紅白大福)の配布 実施日 7月8日(土)</p>	松川字館地内(館西風橋上)	いわて松川やぐにたつ会	約130人	<p>(担当課自己評価・課題) ・開通式の実施により、事業の完成と交通切替を地域住民に広く周知することができた。</p> <p>(地域懇談会評価・意見) ・特になし</p>
		緊急等事業対応分	—		238	-160	0	年度途中に生じた緊急、突発的な事業を実施する。				
		計			2,650	0	2,508,791					

令和5年度元気な地域づくり事業 事業実績一覧

地域	No.	事業名 (担当課名)	区分	事業の状況	当初 事業費 (千円)	補正額 (千円)	決算額 (円)	【事業の目的】	実施場所	市民スタッフ人員、 関係団体等	延べ 参加者数	担当課自己評価・課題、問題
								【事業の概要】				地域懇談会における評価・意見等
室根 9事業 継6 新3	1	マツリバ行事イベント (担当課：地域振興課)	新規	実施	400	0	400,000	【事業の目的】 令和6年に室根大祭が行われるにあたり、マツリバ行事に対する気運を前年から盛り上げるために、室根大祭のゆかりのある和歌山県田辺市・新宮市等から関係者をお招きし、マツリバ行事に関する寄席の開催や関係団体等出演によるイベントを開催する。 【事業の概要】 ①室根南流太鼓による太鼓演奏 ②気仙沼鮎立大漁唄込保存会による唄込披露 ③新宮市出身の熊野家三九郎氏及び室根町出身の紫亭菊助氏、壺家両名による落語寄席の実施 ④岩見淳三&YAYOIジャズライブ マツリバ行事をイメージして作詞・作曲された「MATSURIBA」を披露 実施日 9月23日(土)	室根曲ろくふれあいセンター	室根・熊野交流の会、一関市室根友好交流推進協議会、室根まちづくり協議会、室根神社祭保存会等	約130人	(担当課自己評価・課題) ・大祭を通じて田辺市・新宮市をはじめ関係都市との交流人口増が見込まれ、都市間交流の活発化につながると考えられる。 (地域懇談会評価・意見) ・特になし
	2	交流の輪拡大事業 (担当課：地域振興課)	継続 4	実施	550	0	550,000	【事業の目的】 室根大祭が縁で姉妹都市となっている和歌山県田辺市等を太鼓団体が訪問し、イベントを通じて交流を深めるとともに、令和6年に行う室根大祭のPRも併せて行う。 【事業の概要】 ①田辺市で開催された「こだま祭」に室根南流太鼓が出演 ②新宮市への表敬訪問 ③熊野三山協議会との懇談 実施期間 11月25日(土)～27日(日)	和歌山県田辺市・新宮市	室根・熊野交流の会、一関市室根友好交流推進協議会、室根まちづくり協議会、室根南流太鼓	11人	(担当課自己評価・課題) ・これまで直接の交流が薄かった那智勝浦町を含む熊野三山協議会と懇談することができたことから、今後相互に行き来する交流が見込め、交流人口の拡大が期待できる。 (地域懇談会評価・意見) ・特になし
	3	風薫る室根の丘から 元気発信事業 (担当課：産業建設課)	継続 7	実施	450	-11	438,800	【事業の目的】 室根高原の施設を活用したイベント、牧場体験や施設周遊企画等を展開し、室根山観光の周知と利用集客増を図る。 【事業の概要】 ①体験イベント みこシスターズと写真会&じゃんけん大会 牧草ラップ落書きコーナー 牧草ラップ重量当てクイズ、ふれあい動物園、乗馬体験 ②ステージイベント等 磐井太鼓同志会の太鼓演奏 よさこい演奏 乗馬ショー ③飲食店 キッチンカー、屋台村 実施日 9月17日(日)	室根高原ふれあい牧場	室根総合開発株式会社、風薫る丘みちのく乗馬クラブ、JAIいわて平泉、株式会社角蔵、大東高校、千歳高校	約800人	(担当課自己評価・課題) ・室根高原牧場の利用や室根山の景観を見直してもらった機会として有益で、室根山の施設利用の促進が図られた。 ・一時的な集客ではなく、シーズン中続けて集客が見込める取組が課題である。 (地域懇談会評価・意見) ・特になし
	4	今こそ野菜で健康習慣inむろね ～おいしい地場産野菜をもっと食べよう～ (担当課：市民福祉課)	継続 4	実施	200	-5	194,839	【事業の目的】 住民の野菜摂取量の増加に向け、食生活改善推進員と地域の協力店舗・関係機関と協働した普及啓発活動を行い、減塩や肥満解消など健康増進と地場産野菜の生産維持を目指す。 【事業の概要】 ①地場産野菜を使った健康レシピの作成・配付 ②地場産野菜生産の理解を深める研修会 9月28日(木) ③室根図書館企画展「おいしい たのしい仲間たち」、「ココロとカラダの健康スタンプラリー」 9月1日(金)～10月26日(木) ④道の駅むろね収穫祭での普及啓発活動 10月22日(日) 野菜の計量体験、レシピ配布、販売野菜への普及啓発シール貼付	道の駅むろね、地場産野菜生産園圃、保育施設、室根図書館	一関市食生活改善推進員協議会室根支部、すずまーと、道の駅むろね、室根市民センター、室根図書館、室根こども園、こまどり保育園、地場産野菜生産者	1,361人	(担当課自己評価・課題) ・関係機関との連携により、市広報や市facebook、図書館だよりなど、さまざまな場面で広く普及啓発を行うことができた。 ・事業の実施に当たり、地場産野菜生産者の協力が大きく、健康づくりにつながるとともに、地場産野菜の消費拡大に努めることができた。 (地域懇談会評価・意見) ・特になし
	5	室根の魅力発信事業 (担当課：産業建設課)	継続 5	実施	200	0	200,000	【事業の目的】 魅力的で地域の特色のあるイルミネーションを設置することで住民が集う場と市内外の集客、交流人口の増加による賑わいを創出し、室根地域の活性化を図る。 【事業の概要】 室根山や室根山の観光など、地域の特色あるデザインを取り入れた観光PRを兼ねたイルミネーションを設置した。 実施期間 12月14日(木)～1月14日(日)	室根総合開発株式会社	室根総合開発株式会社、道の駅むろね、一関商工会議所室根支所	約1,000人	(担当課自己評価・課題) ・本事業の取組については、さまざまな取組事例があり地域の理解を得られている。 ・周辺地域からの来客もあり、地域を元気づける効果が見受けられた。 (地域懇談会評価・意見) ・特になし
	6	消防屯所シャッターペイント 事業 (担当課：一関東消防署室根分署)	新規	実施	345	0	319,550	【事業の目的】 地域の消防防災拠点施設である消防屯所のシャッターへ、地元地域の子供たちが考えた防災イラストを描くことで、防災への意識向上を図り安全で安心な地域づくりを目指し、また地域の子供たちと住民及び消防団員が共同でペイント作業を行うことにより、世代間の交流をさらに深め元気な地域づくりに寄与する。 【事業の概要】 ・地元子供会にイラスト原画を募集しデザインを決定 ・決定したデザインをもとに、業者に対し原画加工及びシャッターへの下絵等の作業を依頼 ・子供会と消防団員の協力のもと消防屯所シャッターに色付け作業の実施 実施日 11月5日(日)	一関市消防団室根第1分団第5部消防屯所	一関市消防団室根地域、室根第9区行政区、西の沢自治会、西の沢地区子供会、看板屋・なんでも企画	31人	(担当課自己評価・課題) ・地域の子供たちがデザインを考案し、地域住民及び消防団員が協力しながらペイント作業を実施することで、安全で安心な地域づくりとして「自分達の町は自分達で守る」という主体性を醸成し、防災意識の高揚を図ることができた。 (地域懇談会評価・意見) ・特になし

令和5年度元気な地域づくり事業 事業実績一覧

地域	No.	事業名 (担当課名)	区分	事業の状況	当初 事業費 (千円)	補正額 (千円)	決算額 (円)	【事業の目的】	実施場所	市民スタッフ人 員、関係団体等	延べ 参加者数	担当課自己評価・課題、問題
								【事業の概要】				地域懇談会における評価・意見等
	7	明るい未来セーフティむろね (担当課：市民福祉課)	継続 3	実施	180	8	187,098	<p>【事業の目的】 交通安全や地域防犯等の「安全」に関する意識を高めるために、次代を担う児童・生徒等による啓発活動を通じて、自らも地域を構成する人間としての自覚を認識するとともに、地域住民一丸となった安全で安心な地域づくりに資する。</p> <p>【事業の概要】 ・交通安全ポスターコンクール・防犯標語作品展示、交通安全教育体験機材の設置 ・人権・行政相談コーナー、e-TAX普及啓発コーナーの開設 ・交通安全及び防犯に係る啓発物品の配布 実施期間 11月11日(土)～12日(日)</p>	室根きらめき パーク(室根 体育館)	一関市室根地 域交通安全対 策協議会、室 根地域防犯協 会員、一関市 交通指導隊室 根地域隊員	約500人	<p>(担当課自己評価・課題) ・交通安全体験機材による体験や、子どもたちが作成したポスターや標語を見ることで、交通安全や防犯に対する意識を改めて高めることができた。</p> <p>(地域懇談会評価・意見) ・特になし</p>
	8	室根まちなか賑わい創出事業 (担当課：産業建設課)	継続 3	中止	200	-200	0	<p>【事業の目的】 室根地域の人口減少や近隣郊外型店舗の進出により商店街の来客の減少が続いており、さらにバイパスの開通と道の駅のオープンで車両や人の流れが変わったことから、商店街に賑わいを創出し地域の活性化を図る。</p> <p>※本事業としてむろね七夕まつりの開催を予定していたが、むろね夏まつりと統合して実施したため、中止を決定した。</p>				
	9	室根山のツツジ環境整備事業 (担当課：産業建設課)	新規 追加	実施	0	330	330,000	<p>【目的】 県内外の観光客から愛されている室根山のツツジを、宮城県気仙沼市の徳仙丈山と並び称されるようにツツジ環境を整え、観光資源として磨くことを目的とする。</p> <p>【事業の概要】 室根山山頂付近のツツジ群落の環境整備(蔓の除去や笹の刈り払い等) 実施期間 令和6年2月～3月</p>	室根山地内	一関市観光協 会室根、室根 山の観光を考 える懇談会	— (一関地方森 林組合への 業務委託)	<p>(担当課自己評価・課題) ・環境整備を実施したことで、山頂一帯にツツジが真っ赤な絨毯のように咲き、事業による効果が明確にあらわれた。 これを例として原資確保の活動につなげていきたい。</p> <p>(地域懇談会評価・意見) ・特になし</p>
	—	緊急事業等対応分	—		125	-122	0	年度途中で生じた緊急、突発的な事業を実施する。				
		計			2,650	0	2,620,287					

令和5年度元気な地域づくり事業 事業実績一覧

地域	No.	事業名 (担当課名)	区分	事業の状況	当初 事業費 (千円)	補正額 (千円)	決算額 (円)	【事業の目的】	実施場所	市民スタッフ人員、 関係団体等	延べ 参加者数	担当課自己評価・課題、問題
								【事業の概要】				地域懇談会における評価・意見等
川崎 8事業 継5 新3	1	川崎あじさい公園まつり (担当課：産業建設課)	継続 8	実施	608	-66	541,442	<p>【事業の目的】 川崎あじさい公園に、地域内外の方々に親しんで頂き、「あじさい」の魅力を知って頂くと同時に交流人口の拡大に寄与し、もって地域の活性化を図る。</p> <p>【事業の概要】 ①川崎あじさい公園まつり 実施日 7月9日(日) 内 容 ステージイベント(川崎こども園児リズムダンス、よさこいー関夢限大) 体験イベント、出店、直売 対象者 一般市民等 ②川崎あじさい公園のあじさい補植作業 実施日 9月28日(木) 内 容 あじさい補植100株 対象者 川崎中学校3学生</p>	川崎あじさい公園	川崎あじさい公園まつり実行委員会 川崎あじさい公園管理組合 川崎中学校	①約400名 ②生徒25名 先生2名	<p>(担当課自己評価・課題) ・市が実行委員会の事務局を担っていることから、地域主導で事業(イベント)を行えるようになることが望ましい。 ・門崎地域のイベントではなく、川崎地域を代表するイベントとなるような展開が必要と考える。</p> <p>(地域懇談会評価・意見) ・事業継続は原則3年までだったと記憶している。産業建設課で事業費を確保して事業を実施するべきではないか。</p>
	2	食べよう!かわさき食べ歩きスタンプラリー事業 (担当課：産業建設課)	継続 2	実施	570	55	624,780	<p>【事業の目的】 川崎地域の飲食店を対象としたスタンプラリーを実施し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている飲食店を支援するとともに、スタンプラリー応募者に抽選で地域の特産品を贈り、特産品のPRを図る。</p> <p>【事業の概要】 スタンプラリー実施期間 5月1日(月)~12月31日(日) ・参加飲食店 14店 ・スタンプラリー応募者の中から抽選で40人に特産品セットを贈呈</p>	川崎地域の飲食店	一関商工会議所川崎支所、 川崎地域の飲食店	応募者796人	<p>(担当課自己評価・課題) ・スタンプラリー応募者数は前年度を大きく上回り、誘客が図られたものと考えられ、地域の活性化に寄与する効果があった。継続実施することにより、さらなる地域内飲食店等の誘客と特産品のPRを図りたい。</p> <p>(地域懇談会評価・意見) ・特になし</p>
	3	伝えよう!かわさきの食文化、思い出の味 (担当課：産業建設課)	継続 3	実施	235	-79	155,500	<p>【事業の目的】 川崎地域に昔から伝わっている食文化を後世に残すため、川崎地域で「食の匠」に認定されている方々の料理や川崎地域で生産されている食材を広くPRする取組を行う。</p> <p>【事業の概要】 ・手づくり豆腐料理講習会を実施した。 ・「手づくり豆腐・おからのお菓子」レシピカードを作成し、川崎地域内の各世帯及び主要施設に配布し、料理のPRを図った。 実施日 10月15日(日)</p>	川崎市民センター	食の匠、赤柴生活研究グループ員	8組14人	<p>(担当課自己評価・課題) ・継続実施することにより、1人でも多く川崎地域の郷土料理を知っていただけるよう、さらなるPRを図っていきたい。</p> <p>(地域懇談会評価・意見) ・特になし</p>
	4	家族や地域 笑顔でつながる食育の環 (楽チンげんきレシピ紹介) (担当課：市民福祉課)	継続 2	実施	50	36	85,998	<p>【事業の目的】 地域の健康づくりボランティアである食生活改善推進員が考案したレシピや、郷土料理のレシピを普及することにより、食に関心を持つ市民を増やすことを目的とする。</p> <p>【事業の概要】 ①レシピ冊子の作成、配布・配架、川崎まちづくり協議会ホームページへの掲載 配布・配架先 7か所 ②レシピ冊子を活用した料理教室の開催 開催日 2月3日(土) 講 師 食生活改善推進員4人</p>	川崎市民センター、川崎こども園、家庭的保育ルームどんぐり、川崎小学校、川崎中学校、道の駅かわさき、川崎支所	一関市食生活改善推進員協議会川崎支部、川崎市民センター	22人	<p>(担当課自己評価・課題) ・「健康」と「食文化の継承」を意識しつつ、調理に関心を持ってもらえるよう「楽チン度」を記載するほか、若い人が好むようデザインを工夫したことで、子育て世代のレシピの活用が見込まれる。</p> <p>(地域懇談会評価・意見) ・完成した料理の写真を市民センターや広報等で紹介できれば次の参加につながるのではないか。</p>
	5	未来の灯り (担当課：地域振興課)	継続 4	実施	100	4	103,730	<p>【事業の目的】 新型コロナウイルス感染症の影響により各種行事が中止となったことから、地域を元気づけ、元気な川崎地域をアピールすることを目的に、若者らが作成した竹灯りを川崎市民センターに設置し、冬期間ならではの心温まるイルミネーションによる演出を行う。</p> <p>【事業の概要】 ・竹灯りワークショップ 3月2日(土) ・川崎市民センターへの竹灯り点灯期間 3月8日(金)~17日(日)</p>	川崎防災センター、川崎市民センター	NPO法人北上川サポート協会	30人	<p>(担当課自己評価・課題) ・竹灯りを活用したイルミネーションの作成、設置により地域に対して温かさを提供できた。</p> <p>(地域懇談会評価・意見) ・特になし</p>
	6	布佐神楽鑑賞会 (担当課：地域振興課)	新規	実施	300	-96	203,945	<p>【事業の目的】 カグラのミカタ(R2~R4)の事業で作った冊子などを活用して、地域の伝統文化である布佐神楽を觀賞する機会を作り、布佐神楽への興味を持ってもらう。40演目あるうちの現在も継承されている20演目を觀賞してもらうことで、布佐神楽の奥深さを知り、伝統文化の継承につなげる。</p> <p>【事業の概要】 ①鑑賞会開催チラシの作成 ②神楽体験イベントの開催(道具や衣装の試着) 開催日 12月3日(日) ③鑑賞会の開催(三番叟、御神楽、三宝荒神、岩戸開、所望分神話、玉織姫 子捨ての場 の上演) 開催日 12月3日(日) ④布佐神楽の觀賞の手引きの配布、印刷</p>	川崎防災センター特設ステージ	布佐神楽保存会	約50人	<p>(担当課自己評価・課題) ・布佐神楽の觀賞の手引き(冊子)の活用や後継者育成事業の成果を発表する機会として実施し、その結果、若手が加入したことは大きな成果であった。 ・本事業終了後も、布佐神楽保存会と連携し民俗芸能の伝承、後継者育成を図ることが必要である。</p> <p>(地域懇談会評価・意見) ・見ていただいた高校生が興味を持ち、布佐神楽を始めるきっかけとなった。</p>

令和5年度元気な地域づくり事業 事業実績一覧

地域	No.	事業名 (担当課名)	区分	事業の状況	当初 事業費 (千円)	補正額 (千円)	決算額 (円)	【事業の目的】	実施場所	市民スタッフ人員、関係団体等	延べ 参加者数	担当課自己評価・課題、問題
								【事業の概要】				地域懇談会における評価・意見等
	7	水辺の楽校 (Kids★わくわく探検隊) (担当課：地域振興課)	新規	実施	271	0	271,000	【事業の目的】 川崎地域の未就学児や小・中学生を対象に相互の交流を行う場と自然体験や食育・アート活動の場を提供し、子供らの「心」や「人間力」を伸ばすことを目的に、体験学習交流会を開催する。 【事業の概要】 ①オリエンテーション、ゆはず乗船、防災クッキング、イカダ設計図作成 6月25日(日) ②水生生物調査、防災クッキング 7月1日(土) ③イカダ作り・川下り体験、流しそうめん 8月9日(水) ④食育講座、ピザ作り体験 8月27日(日) ⑤ストーンアート作り、ゆはず乗船(保護者)、調理体験 9月18日(月・祝) ⑥ゴミアート作品作り、お別れ会 9月23日(土・祝)	川崎防災センター、川崎町内(北上川、風呂川、加妻川)	NPO法人北上川サポート協会	小学生25名 (延べ93人) 幼児11名 大人19名	(担当課自己評価・課題) ・身近にある川などの地域資源を活用することにより、子どもたちに地域の魅力を再発見する場を提供することができた。また、交流会を通して学校や年齢の壁を越えた仲間づくりができ、一つの楽しい居場所につながった。 (地域懇談会評価・意見) ・この事業に参加した子供3～4名がサポート協会のごみ拾い活動に参加いただいた。4月のごみ拾い活動にも5人の参加申込みがきている。
	8	「かわさきにあつマルシェ」 で地域を盛り上げようプロジェクト (担当課：地域振興課)	新規	実施	110	-31	78,760	【事業の目的】 川崎町内で活動もしくは縁のある作家が、マルシェを通して「地域を盛り上げたい」「若い人たちが集まる場所を作りたい」という思いで『かわさきにあつマルシェ』を結成する。今後、他団体との交流を通して自主活動の参考にすることにより、マルシェの定期的な開催に取り組み、地域のお店を巻き込みながら川崎をより元気にする。 【事業の概要】 ・マルシェ開催 6月25日(日)、9月3日(日)、12月17日(日) ・チラシとポスターの作成 ・パンフレットとのぼり旗の作成	かわさき道の駅	かわさきにあつマルシェ	来場者数 約540人 出店者数 延べ24店舗	(担当課自己評価・課題) ・今回の事業をきっかけに、道の駅での定期開催につなげることができ、知名度アップを図ることができた。 ・若者主体でマルシェを開催できた。 (地域懇談会評価・意見) ・メンバーが固定しているので新しいメンバーの加入が課題と感じる。
	—	緊急事業等対応分	—		406	177	0	年度途中に生じた緊急、突発的な事業を実施する。				
		計			2,650	0	2,065,155					

令和5年度元気な地域づくり事業 事業実績一覧

地域	No.	事業名 (担当課名)	区分	事業の状況	当初 事業費 (千円)	補正額 (千円)	決算額 (円)	【事業の目的】	実施場所	市民スタッフ人員、 関係団体等	延べ 参加者数	担当課自己評価・課題、問題
								【事業の概要】				地域懇談会における評価・意見等
藤沢 6事業 継4 新2	1	あっぶるロード in藤沢スタンプラリー (担当課：産業建設課)	新規	実施	421	0	390,065	<p>【事業の目的】 藤沢地域の特産品の1つであるりんごや数多くあるりんご園を観光資源とし、りんご園や飲食店を巡るスタンプラリーの実施によって、それぞれの味覚を楽しんでもらうとともに、特に館ヶ森エリアに来た観光客が街中の観光施設や飲食店へ訪れるよう継続的な人流を創出し、藤沢町りんご協会及び一関市観光協会藤沢、一関商工会議所藤沢支所と共同での事業実施により、特産品の情報発信並びに地域を上げた観光振興に資する。</p> <p>【事業の概要】 「町内りんご園&飲食店巡りスタンプガイドブック・応募用台紙」を主要観光施設等に設置し、参加者がガイドブックをもとに町内のりんご園と飲食店を1店舗ずつ計2店舗以上を巡り、応募用台紙に2店舗分以上3店舗までのスタンプを押し、応募するスタンプラリーを実施した。当選者には地元特産品を送付した。 藤沢の特産品の1つであるりんごのPRを行った。 ・スタンプラリーガイドマップ、ポスター、応募用紙、のぼり旗などの作成 ・新聞、ポスター、チラシ、いち旅、FMあすもによる周知 ・抽選会の実施 実施期間 令和5年10月6日～令和6年1月31日（抽選日：令和6年2月14日）</p>	藤沢町内29か所（りんご園：9園、飲食店：20店舗）	藤沢町りんご協会、一関市観光協会藤沢、一関商工会議所藤沢支所など38人	219人	<p>(担当課自己評価・課題) ・応募用紙を当初700枚配置し、途中でさらに700枚配置したことを踏まえれば応募者数が219通は少ない。応募状況の分析や参加事業所から状況を伺うなどし、本事業の目的である人流の拡大に向けて、改善策を探る必要がある。</p> <p>(地域懇談会評価・意見) ・若い世代向けにSNSなども活用し、広く宣伝するよう工夫した方がよい。 ・宮城県（県外）の新聞にも掲載してはどうか。 ・実施時期は、8月からPRし9月からスタートしてはどうか。 ・日曜日休みの飲食店が多く残念である。</p>
	2	きっくぱいレースふじさわ (担当課：地域振興課)	継続2	実施	320	-38	272,399	<p>【事業の目的】 モータースポーツが盛んである藤沢地域の特色を生かし、子ども用ペダルなし自転車「キックバイク」のイベントを通じて、親子で楽しめる時間、親子で遊べる時間を提供し、子育て世代の地域行事への参加を促すとともに親子の健康増進を図る。</p> <p>【事業の概要】 キックバイクイベントを、ふじさわ盆DANフェス、藤沢町スポーツレクリエーション祭とそれぞれ同時開催し、2歳児から5歳児までの子ども及びその家族を対象に、キッズ用キックバイクの年齢別レースを実施した。 開催日 7月21日（土）、10月8日（日）</p>	藤沢文化センター前庭、ニコニコパーク芝生広場	藤沢町住民自治協議会、FEST、一関商工会議所青年部藤沢支部、一関市体育協会、いちのせき市民活動センター	盆DANフェス約70人（うち選手19人） レクリエーション祭約80人（うち選手17人、乗車体験21人） 合計150人	<p>(担当課自己評価・課題) ・アンケートでは参加者の半数以上が藤沢地域のイベントに初めての参加であり、多くの親子世代の地域行事参加を促し、地域の活性化につながった。他イベントとの同時開催としたことで、集客に相乗効果が生まれ幅広い年代から参加いただけた。地域内外の行事でキックバイクを用いた催しが行われ、きっくぱいレースが徐々に広がりを見せている。一方で、参加者を増やしていく工夫が必要である。</p> <p>(地域懇談会評価・意見等) ・藤沢地域ならではのレースになるよう工夫してほしい。</p>
	3	一関藤沢市民劇場PR事業 (担当課：藤沢文化センター)	継続12	実施	150	0	147,840	<p>【事業の目的】 藤沢地域に伝わる史実や物語を題材とし、地域住民の手づくり演劇という総合芸術で表現することによって地域に対する愛着を育み、地域の文化活動の活性化に資することを目的として開催される一関藤沢市民劇場を広く市民に周知する。</p> <p>【事業の概要】 ①朗読劇『鬼または獣と呼ばれし人々』～津梨兵衛奥州切支丹語り～ 実施日 2月25日（日） ②第25回一関藤沢市民劇場のポスター、チラシ及びチケットを製作し、市民劇場のPRを行った。 実施期間 令和5年12月～令和6年2月</p>	藤沢文化センター	市民スタッフ100人 一関藤沢市民劇場実行委員会委員18人	150人	<p>(担当課自己評価・課題) ・ポスターやチラシによって十分な情報発信ができた。地域住民の手づくり演劇の認知度を上げるとともに、藤沢地域の文化や歴史を再認識させるきっかけを提供できた。</p> <p>(地域懇談会評価・意見) ・特になし</p>
	4	開館25周年事業 西村由紀江ピアノコンサート (担当課：藤沢文化センター)	新規	実施	500	-21	478,220	<p>【事業の目的】 平成10年4月に開館した藤沢文化センターが、令和5年度に25周年を迎えることから、これを記念して、開館記念コンサートで公演いただいたピアニスト西村由紀江氏を再びお招きし、質の高い音楽を地域の方々に届けることにより、芸術文化の振興を図る。</p> <p>【事業の概要】 ・西村由紀江ピアノコンサートを開催した。 ・藤沢小学校全校児童との交流（体育館での演奏及びクイズ形式による交流等）を行った。 ・地元住民（町芸術文化協会員、Jスタッフ会員等）との交流会を開催した。 開催日 10月6日（金）、7日（土）</p>	藤沢文化センター、藤沢小学校	市民スタッフ10人（Jスタッフ）、藤沢町芸術文化協会	コンサート410人 児童190人	<p>(担当課自己評価・課題) ・市民でありながら、初めて藤沢文化センターを訪れた方や、演奏に感動して多くの市民の皆さんから感激の声をいただき、盛會に事業を開催できた。 今後、同様な取組として継続的に開催できるかが課題であり、費用対効果を鑑みながらイベント等の開催を検討する必要がある。</p> <p>(地域懇談会評価・意見) ・町内からの参加が少なかったと感じた。</p>

令和5年度元気な地域づくり事業 事業実績一覧

地域	No.	事業名 (担当課名)	区分	事業の状況	当初 事業費 (千円)	補正額 (千円)	決算額 (円)	【事業の目的】	実施場所	市民スタッフ人 員、関係団体等	延べ 参加者数	担当課自己評価・課題、問題
								【事業の概要】				地域懇談会における評価・意見等
	5	藤沢町の素敵を発信!!～縄文を知る、郷土作家を知る～ (担当課：藤沢図書館)	継続 2	実施	482	294	772,940	【事業の目的】 コロナ禍にあってもより地域を元気にするため、改めて藤沢町にゆかりのある「人物」「行事」「出来事」「建造物」「景勝」などに目を向けることで、地域の人たちが「暮らしを豊かに楽しむ」ためのキッカケを提供するとともに、その中から新たな魅力の発見や展開につながるような支援を行う。 【事業の概要】 ①縄文体験型イベント「ワドキ★縄文」 開催日 10月8日(日)、9日(月・祝) 内 容 ・「勾玉」「消しゴムはんこ」「子ども向け」のワークショップ ・縄文関連のマルシェ開催 ②郷土作家文学講座「楡 周平編」(全3回) 開催日 11月11日(土)、18日(土)、26日(日) 内 容 ・藤沢町出身の郷土作家である楡周平氏の3作品「サンセット・サンライズ」「介護退職」「再生巨流」に関する講座 ③「かんたん★ワクワクインスタ講座」 開催日 2月18日(日) 内 容 ・インスタグラムの開設から投稿のコツ、写真撮影の仕方に関する講座 ④「グッズ制作・体験WS」 開催日 3月3日(日) 内 容 ・グッズ制作の工程に関する講話 ・シルクスクリーンを活用したトートバッグ等の制作ワークショップ	藤沢市民センター、藤沢文化センター	図書館ボランティア、藤沢町史談会、高橋東昇顕彰会、東磐史学会、藤沢町PTA、一関市観光協会藤沢、藤沢町住民自治協議会(FEST)、ふじさわ朝市事務局、藤沢町内りんご園	①約2,600人 ②50人 ③22人 ④18人	(担当課自己評価・課題) ・参加者及び関係団体等のイベントを体験する前と後の考えや気持ちなどの様子が格段に変化したため、事業効果があったと考える。 ・また、当日参加できなかった方への事業の成果も対応可能な環境にあるため、潜在的な利用者の獲得にもつながるとともに、来年度に向けて講師や市民スタッフとの連携もより深めることができた。 (地域懇談会評価・意見) ・創意工夫しながらさまざまなイベントを開催しているが、もっと参加者があってもよいと感じる。どのようなPR方法が効果的なのかを検証しながら、引き続き頑張ってもらいたい。 ・昨年度から郷土作家・楡周平の作品鑑賞をしているので、来年度はご本人をお呼びして、ぜひ縄文ホールで講演会を開催してほしい。
	6	地域をつなぐ ふれあい一皿運動 (担当課：市民福祉課)	継続 12	実施	495	0	329,507	【事業の目的】 高齢者の健康に配慮した料理等を届けながら、会話を通したふれあいを行うことにより、高齢者及びスタッフのこころの元気づくりや一人暮らし高齢者の見守りを目的として実施する。 【事業の概要】 ・市民スタッフを対象とした事前説明会の実施 4月 ・食生活改善推進員による手作り料理を市民スタッフが届け、会話によるふれあいを行った。 実施時期 令和5年5月～令和6年3月まで(8月、1月、2月を除く) 実施回数 8回(各月1回)、各月2日間(概ね第1木曜日、第1金曜日) 対象者 4月1日時点で70歳以上の1人暮らし高齢者 調理 9時～ 訪問 11時30分～正午まで 木曜日：藤沢、大龍地区 金曜日：黄海、八沢、保呂羽地区	藤沢地域内	一関市食生活改善推進員協議会藤沢支部、藤沢町住民自治協議会、藤沢町行政区長連絡協議会、藤沢町民生児童委員協議会、藤沢地域保健推進委員協議会	訪問者数 延べ968人 調理 延べ154人 訪問担当 延べ687人	(担当課自己評価・課題) ・対象者、訪問スタッフともに訪問の日を楽しみにしており、こころの元気づくり、高齢者の見守りにつながった。また、各団体の協力を得ながら実施することで、各自治会単位の地域づくりにもつながった。 ・長年続けてきた事業ではあるが、実際に携わって初めて理解する人もおり、地域全体への事業の周知がまだ不足している状況である。継続していきたい事業であるため、広く周知し、地域全体での高齢者の見守りを醸成する。 (地域懇談会評価・意見等) ・若い人にも声をかけて参加してもらおうような工夫が必要である。全てボランティアでは大変だと思う。対象者から100円負担してもらってはどうか。 ・食生活改善推進員やボランティアの中には、やらされていると考えている人はいないか。
	-	緊急事業等対応分	-		282	-235	0	年度途中に生じた緊急、突発的な事業を実施する。				
		計			2,650	0	2,390,971					